

平成 2 2 年
情報通信技術を活用した
防災システム検証等調査研究業務委託

報 告 書

平成 2 3 年 3 月

国立大学法人 静岡大学

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| 本業務の目的 | 1 |
| 実施概要 | 1 |
| 1. ICT を活用した防災システム研修・検証 I | 1 |
| 2. ICT を活用した防災システム検証 II | 1 |
| 3. ICT を活用した防災システム操作演習・職員に対する指導 | 2 |
| 実施結果と考察 | 2 |
| 1. 研修・検証 I | 3 |
| 2. 検証 II | 7 |
| 3. 操作演習・職員に対する指導 | 9 |
| まとめ | 12 |

添付資料

| | |
|--------|--------------------------|
| 表 1 : | 研修・検証 I テーマ 1 の全アイデア |
| 表 2 : | 研修・検証 I テーマ 2 の全アイデア |
| 表 3 : | 検証 II 全アイデア |
| 表 4 : | 操作演習・職員に対する指導のレポート 全アイデア |
| 資料 1 : | 検証時配付資料 |
| 資料 2 : | 検証時の写真 |

業務の目的

本業務は、総務省「平成 22 年度地域 ICT 利活用広域連携事業」において、本県の「情報通信技術を活用した災害時等広域連携強化事業」が選定されたことに伴う業務委託である。

本業務は、県内で、大災害発生時において、迅速に情報を収集・共有し、的確な災害対応を行うための新たな防災情報システムを構築するにあたり、本システムの評価・検証を行い、併せて、ICT 人材の育成・活用を行うことを目的とする。

実施概要

1. ICT を活用した防災システム研修・検証 I

実施日時：

平成 23 年 2 月 18 日（金） 9：30～16：30

参加人数：

17 名（静岡大学学生）

実施場所：

静岡大学大谷キャンパス 情報基盤センター 演習室 5，
共通教育 L 棟 3 階 301 教室

実施内容：

- ・事前説明（防災に関する知識）
- ・防災システム操作説明・演習
- ・防災システム検証（グループワーク・まとめ）

2. ICT を活用した防災システム検証 II

実施日時：

平成 23 年 3 月 9 日（水） 13：00～16：30

参加人数：

10 名（静岡大学学生）

実施場所：

静岡大学大谷キャンパス 情報基盤センター 演習室 5，
共通教育 L 棟 3 階 301 教室

実施内容：

- ・防災システム操作演習
- ・防災システム検証（グループワーク及びまとめ）

3. ICT を活用した防災システム操作演習・職員に対する指導

実施日時：

平成23年3月25日（金）13：30～16：00

参加人数：

4名（静岡大学学生）

実施場所：

静岡県庁別館5階 危機管理センター西側

実施内容：

- ・趣旨説明
- ・操作説明
- ・操作検証
- ・職員等への指導
- ・まとめ

実施結果と考察

それぞれのテーマで提案された全てのアイデアは、重複している内容を除き、表 1-4 にまとめる。

1. 研修・検証 I

参加した学部 2 年生から修士 2 年生までの 17 名の学生を 3 つのグループに分けた。

グループ①：6 名（男 2 名、女 4 名）、

グループ②：6 名（男 3 名、女 3 名）、

グループ③：5 名（男 4 名、女 1 名）

(1) 議論のテーマ 1：防災に使えるもの、こと

議論を円滑にするため、10 分程度の各自の自己紹介の時間を取った。

その後、一人あたり 15 個のアイデアの提案を目標として設定し、アイデアの書き出しを行った。

多くの学生が 10 個以上のアイデアを提案し、最大で 23 個のアイデアを提案した学生（2 名）もいた。また、目標値の半数（7 個）以下の者はいなかった。

グループ①

本グループは、静岡を地震から守ろうをコンセプトにそれぞれのアイデアを分類し、以下の 6 つに分けた。

1. ICT システムの改良

画面が煩雑、単色で直感的ではないという指摘の他に、音声認識やタッチパネル操作などキーボード以外の入力手段の必要性を指摘した。コンピュータの扱いに慣れている若い世代にはキーボード入力は苦痛ではないが、高齢者や障害者への配慮も必要である。

2. 電子ネットワーク

電子掲示板やソーシャルネットワークサービスを利用した電子上での情報伝達の活用や、携帯電話にも搭載されている GPS 機能を位置確認に利用することが提案された。複数の情報ツールがあるのならば、それらをできるだけ活用する方が良い。

3. 住民を助ける

住民の自助・共助を促すとともに、身体障害者など弱い立場の人への配慮の必要性も挙げられた。システムの改良点の部分でも触れられているが、本グループは健常者だけでなく身体障害者や高齢者といった弱い立場の人への配慮がより必要であると主張している。

4. 防災

耐震工事などのハード面での補強と、ハード面での強化の限界から市民の意識の向上の必要性も挙げられた。

5. 紙

災害の前、最中を問わず、必要となる情報（応急手当や避難所の場所など）の資料配布を望む意見が多く見られた。ネットワーク上だけでなく、形に残る、保管しておける資料も望まれている。

6. その他

先に挙げられた意識の向上と関連するが、正しい知識の普及の必要性も挙げられた。意識が高い状態でも、適切な知識がなければ正しい行動に結びつかないといえる。

グループ②

本グループはそれぞれのアイデアを、ハイテクとローテクの観点から分類した。

インターネットや携帯電話、テレビ、ラジオなどの先端機器を用いる場合をハイテクとして定義した。情報システム間の相互リンク、YouTube や電子掲示板の活用、171 の利用、広報無線や公共放送の活用、あるいはモールス信号を使うなどの提案がなされた。ハイテクに分類された内容は、素早い情報伝達が特徴的で、また距離の離れている人や多くの人にも詳しく情報を伝えることができることも特徴である。

また、ハイテク機器が苦手な人や手元に使える機器がない場合として、外にいれば情報が得られる空からのビラ、のろし、電子版ではない実物の掲示板、人づてや誰かが走り回ることでの口頭による情報伝達などが挙げられた。このローテクによる方法は、電子機器が使用不能の場合の補助的な役割の意見が多い。正確性や速度では電子機器に勝てないが、対応能力には勝る。

グループ③

本グループは、携帯電話関係とマスメディアの利用を主軸に考え、分類を行った。

災害前の準備段階としては、防災訓練の義務化、他の県や自治体との訓練方法のリンクを行う。災害直後としては、ボランティアとの連携、物見櫓の設置、実物の掲示板を設置するということが挙げられた。

インターネット技術の利用としては、会社側からの機能として、インターネットやモバイルツールに自動的に情報が入ることを、個人ではメーリングリストやツイッターを用いてコミュニケーションを図ることが挙げられた。

また、携帯電話の GPS 機能を居場所の確認に用いることや、正確な災害情報を定期的にマスメディアに公表することで情報のフィードバックが図れることが提案された。マスメディアへの積極的な情報公開を推奨していることが本グループの最大の特徴である。災害時に行政機関の行える広報には限界があるため、マスメディアに情報伝達の役割を担わせ、行政側は災害対応に全力を上げることが最善と主張している。また、何も無くても情報を定期的に公表する方が不安が和らぐ。

システムの改良点としては大きく分けて3点挙げられた。

1. ページ更新時に最新情報が画面の上位に表示されるようにする
2. 選択した項目がカラー表示されるようにする（画面が横に長く目で追いつらい）
3. 無線 LAN のスポットを増設することで、様々な場所からスムーズに情報を入力、閲覧できるようにする

(2) 議論のテーマ2：システムを活かすにはどうすれば良いか

システムをより良く使いやすくするためにはどうすればよいかを議論した。

こちらも一人あたり15個のアイデアの提案を目標として設定した。

10個以下の提案数の学生は2名、半数以上の学生が15-20個のアイデアを提案した。また、最大で29個ものアイデアを出した学生がいた。

グループ①

- ・重要度と緊急度ともに高いもの

色の少なさや文字が多いことによる画面の見にくさを訴える意見が多く見

られた。また、自動更新機能や、情報の表示される順番、更新が行われたことを音や色で通知する機能の必要性が挙げられた。

- ・重要度が高く、緊急度の低いもの

この項は入力に関する意見が見られた。書き込み回数の減少や、タッチパネル形式、音声入力など煩雑さを軽減するための意見が挙げられた。また、一覧ページが必要であるとの意見もあった

- ・重要度が低く、緊急度の高いもの

この項でも画面の見にくさの改善への意見が目立った。カテゴリの改善や、情報の並べ替え機能の追加を望む意見や、被害の重大さ・情報の優先度による順位付けの必要性もあげられた。

- ・重要度が低く、緊急度も低いもの

この項は様々な内容の意見が見られた。説明資料がわかりにくいといった導入時の問題から、コンピュータ以外（携帯電話用の簡易ページ）からの接続方法の必要性や情報の更新履歴を閲覧可能にする必要などが挙げられた。また、支援要請の伝達作業の煩雑さから、市から県本部への直通回線の必要性や方面本部の必要性の議論もあった。

グループ②

- ・重要度と緊急度ともに高いもの

一つのページの中でボタン入力する項目が多い（操作ボタンを少なくシンプルファイズ）、権限の制限が挙げられた。

また、誤情報の更新は目立つようにする必要性が挙げられた。

- ・重要度が高く、緊急度の低いもの

画面の切り替えに関する意見が多く見られた。ページ間のリンクや「戻る」ボタンの必要性、画面をスクロールすることは見にくいとの意見もあった。

- ・重要度が低く、緊急度の高いもの

更新や編集中であることがわからないことが問題であるとの意見が挙げられた。

- ・重要度が低く、緊急度も低いもの

このグループでも支援要請の経路に関する意見が挙げられた。市町と県本部の間に方面本部を置くことはタイムロスにつながる、市町から県への直接要請

ができる方がよいとの意見があった。また、災害時にインターネット環境が機能するののかといった問題や、運用時のサーバの負荷に関する意見も挙げられた。

グループ③

- ・重要度と緊急度ともに高いもの

このグループでも画面の見にくさが最大の改善点であるとされた。文字が多すぎることや入力項目、表示の位置を工夫することで見やすくすることを求める意見が多く挙げられた。また、対応や確認「済み」の項目がなければ、要請が忘れられてしまっているのか対応中であるのかわからないとの意見もあった。また、方面本部で入力する内容を市町で入力した場合伝わらなかったというエラーの報告もあった。

- ・重要度が高く、緊急度の低いもの

この項目では言葉の難しさを指摘する意見が多く見られた。システム検証の対象が大学生であるので行政機関が用いる言葉に慣れておらず、言葉が難しい、似ているといった意見が挙げられた。また、一つの支援要請を同時に編集する場合先に「保存」した内容は、他方の編集者のページには反映されず、より後に「保存」した情報が残るといったエラーが報告された。

- ・重要度が低く、緊急度の高いもの

一つのページに多くの支援要請がまとまりなく表示されることを改善するよう求める意見が多く挙げられた。また、入力した内容が一覧画面に反映される前に、入力内容を確認する画面が必要であるとの意見も挙げられた。

- ・重要度が低く、緊急度も低いもの

「確認」を行うタイミングがわかりづらかったという意見や、入力者をわかるように名前の登録やID化が必要であるという意見が挙げられた。また、人口密度など地域の特性に合わせて、分類をする方がよいとの意見も挙げられた。

2. 検証Ⅱ

参加した学部3年生から修士2年生までの10名の学生を以下の2つのグループに分けた。

グループ④：5名（男3名、女2名）、

グループ⑤：5名（男3名、女2名）、

議論のテーマ：災害情報の報告と共有はうまくできたか？

グループ④

・うまくいった点

(1) 報告の伝達スピードが速く、スムーズに行うことができた

入力画面の改善による効果がみられた。カラーが使われ、項目も視覚的になったことで、入力する際の見にくさが改善された。各方面で市町が分割され、報告が見やすく、入力時にも選択しやすくなった。これらのことから、入力・確認する場所や項目を探す作業が少なくなり、時間の短縮につながった。

(2) 情報が多角的に見られた

短時間で多くの情報が得られた。これは入力の形式が単純であるため、災害や被害の種類を問わず、入力しやすいためである。また、単純化は伝達スピードの上昇にもつながった。

・うまくいかなかった点

(1) 報告に時間がかかる

報告の伝達がスムーズな反面、一つ一つの報告を入力する作業には時間がかかった。これは、似通った表示名への戸惑いや、報告書の体裁が決められており、入力量が多いためである。しかし、報告書の体裁を整えることは、報告を受ける側の理解をスムーズにする効果があり、それは支援要請等への対応への迅速化へもつながる。そのため、体裁の統一は一概には悪いとは言えず、報告者の慣れで解決する部分もある。

(2) 求められている入力内容が不明瞭

自由記入の形式は入力が簡単で、システムへの習熟度に関係なく報告を行うことができる。しかし、入力内容をどこまで詳細に記載すれば良いのか判断しにくい。入力者によって報告の質に大きな差が出てしまった。多くの情報を収集するために、長所である自由記入形式を残しつつ、被

害の起きている場所や推定される被害者数など必要最低限の情報を、選択入力形式で入力させ、情報の質を保つ必要がある。

(3) 人為的なミス

報告の編集や確認作業で誤って報告を削除してしまうことがあった。削除を行う際に、「削除しますがよろしいですか」のような警告メッセージが表示されることでこれらのミスは防ぐことができる。一方、警告メッセージが多すぎる場合、確認作業が繁雑になり、緊急時の迅速な対応ができないというデメリットも生み出す。

グループ⑤

・うまくいった点

(1) 情報の共有化

今回の災害情報の報告では、方面本部と県本部が共通の情報を同時に見ることができた。これは前回の支援要請の際の方面本部を通す伝達よりもシンプルで、時間的にも速やかに行われていた。このことから、情報伝達において煩雑になるため方面本部の不要論が一部学生から唱えられた。

(2) 操作の簡略化

入力内容に、報告のみ・対応要請ありの別があり、対応の必要性が一目でわかるようになった。また、確認済みの報告は別の枠に表示されるようになり、確認の有無も一目でわかるようになった。このため、対応要請への漏れがなくなった。

・うまくいかなかった点

(1) 情報の重要度がわからない

様々な種類の情報が収集できた反面、全ての情報が同列に記述・表示されるため、大量の報告がなされた場合、人命に関わるような最重要事項を見落とす可能性がある。入力者には報告の重要度を入力できないため、対応要請ありならば、さらに「重要度」「緊急度」という項目を選択形式で追加すると良い。

(2) どのような対応が必要かわからない

対応要請が必要と入力してあるにもかかわらず、具体的に必要な要請内

容が記述されていない報告が見られた。これは、入力すべき内容や場所がわからなかったためである。そのため、被害情報と対応要請の入力欄を別々にし、県に向けて報告者が入力することで解決する。

3. 操作演習・職員に対する指導

(1) 職員に対する指導

モニタ画面と資料を用いた操作説明の後、西部、中部、東部、賀茂の4つの地域を想定したテーブルにわかれた。それぞれ一人ずつ学生を配置し、システム操作の指導を行った。入力場所や入力内容などについて学生によるアドバイスが行われたため、大学生のみで行った研修・検証Ⅰと比較して非常にスムーズに入力作業が行われた。また、写真の添付機能や携帯電話の災害報告用アプリの操作など学生にとってもはじめて扱う機能が盛り込まれていたが柔軟に対応し、使用方法に関するトラブルはほとんど見られなかった。

(2) レポート

学生には、職員に対する指導の後、これまでの演習と違いをレポートとして提出させた。

レポートのテーマ： これまでのシステムと比べて改良されている点、さらに改良が必要な点

1) 現場被害報告

GISによる情報の把握しやすさの向上や、ログイン時の地域による分類で入力しやすくなっているなどの改善点が挙げられた。

一方、GISや地図のシステムを入力時にも活用し、地図上から被害現場を選択できるようになれば、より正確な住所の入力が可能になることが挙げられた。また、死者、負傷者の入力値から自動的に死傷者数が演算されるようになれば入力は簡潔になり、入力ミスによる誤情報も減らすことができるとの意見も挙がった。検証Ⅱでも挙がった、自由記述であるため内容の判断が難しいとの意見も挙がった。これに対する解決策として、システムの改良だけでなく職員の判断力を向上させるや入力項目ごとに入力内容の例を示すなどが挙げられた。

2) 添付写真

写真が見られることは一目で状況を把握できて良いという意見が多く見られた。

写真を添付する際に、ファイルの中身を確認できない。デジタルカメラなどで大量の写真を撮影した場合を考えると、ファイル名が数字で表示されるの

で添付ミスが起こりうる。そのため、写真ファイルを添付する際にプレビュー機能があると良いとの意見が挙げられた。また、写真はわかりやすいので、添付可能な枚数を増やした方が良いとの意見が挙げられた。

3) 携帯電話 災害報告用アプリ

携帯電話の操作に関しては全体での説明は行われず、説明書を見ながらの使用であったが、おおむね扱いやすいとの意見であった。

しかし、docomo 以外の会社の携帯電話を使用している場合には、アプリの起動や添付作業で戸惑う箇所があるとの指摘もなされた。また、扱いやすいとした意見の中でも、メール作成時に写真を自信で添付することは添付忘れにつながる、自動で添付される機能が欲しいといった意見が出された。

4) 現場被害報告一覧画面

一覧画面は改良もなされているが、やはり見にくいという意見が多く見られた。より明るい色を表示に用いる、報告を横一列ではなく二列、三列で表示するといった改善策が提案された。報告の並びも新着順ではなく、救援要請の有無で並べるべきとの意見もあった。また、レポートには記述されていなかったが、演習時に文字が小さいとの声も挙げられている。このことから、任意の順番に報告を並び替えるソート機能や、「大・中・小」程度でも良いので文字の大きさを変更できる機能が必要であるといえる。

言葉の問題も指摘された。被害報告の送信を行う際、「確認」ボタンをクリックすると「報告済み」と表示が変更になる。これは直感的ではないので、「確認」を「報告」へと変更するほうが良いとの意見が出た。また、入力時に全角で数字入力を行ったところエラーが表示され、認識されなかったという問題も指摘された。

5) 被害即報

被害報告から直接引用できる機能は入力が簡略でよいという意見が多かった。

ここでも言葉の意味に関する指摘がなされ、「報告者名称」や「確定報フラグ」など入力内容がわからない項目が存在した。また、被害報告が表示されているウィンドウが小さく作業しづらいとの意見もあった。

また、現場被害報告の画面から4号様式での入力画面へメインメニューを介さず移行できると良いとの意見も挙げられた。しかし、現場被害報告から必ずしも被害即報を入力するわけではないので、一括で被害即報入力画面へ切り

替えてしまうと、かえって煩雑になる。「メイン画面へ戻る」と「被害即報入力画面」の2つのリンクを用意すれば解決できる。

6) 避難所

システムの改良で入力ミスを防ぐアイデアがいくつか出された。

「世帯数>人数」や「世帯数0、避難者3」など明らかに矛盾しているデータをエラー表示することや、避難所を「開設不可」に設定した場合、収容人数などを入力できないようにすることがあげられた。収容可能人数は試算された値があるはずなので、規定値として表示されている方がよいとの意見も挙げた。また、避難所からの要請は、事前にある程度予想が可能であるので、必要であるのは物的支援か人的支援かや、必要な物資のリストを選択項目として用意しておくという意見が挙げた。

7) その他

非常にユニークなシステムであるので、その存在を全国にアピールすべきであるとの意見があった。

まとめ

表1～4に全ての意見を載せているが、全般的に批判的なコメントが多い。これは本研究の目的がICTシステムの評価・検証であり、また、未だ改善が可能であるという観点から、今後の改善につながる意見をより積極的に挙げるよう求めたためである。一方で、あまり表記はされていないが、提案した多くの意見が反映され、システムが着実に改善されている。例えば、研修・検証Ⅰで提案された、「未確認」と「確認済み」を分離表示することや、検証Ⅱで提案された「入力内容確認画面」が用意されていることなどであり、大小様々な仕様の変更が見られる。これらの変更で学生も使いやすくなったことを感じており、コンピュータ室での検証時には使いやすくなったという声も聞かれた。

改善点について見ていくと、全ての演習で共通して見られる意見は入力量を減らす・簡素化することである。これは、平常心を失ったなかで大量の情報を扱わなければならない災害時には、なるべく直感的で見やすい表示をし、複雑な入力操作を行わないことが人為的なミスを最小限に食い止める方法だからである。表示の改善に関する指摘が多く見られるのも同じ理由からである。

また、演習を通じて散見されるのが、システムを使用する側の人間の問題である。開発途上のシステムであってシステム上の欠陥、不便な部分も見られる

が、システムを使う側の習熟度によって補うことができる部分もある。例を挙げると、三度目となる操作演習・職員に対する指導では、写真の添付や避難所入力、携帯電話の操作などそれまでの演習で操作したことのない項目の入力、操作を行った。学生たちは過去2回の演習の知識からそれほど苦にすることもなく、職員に入力方法を指導していた。一方、明らかにシステムは改善されているにも関わらず、職員には初回の研修時に学生が見せた戸惑いや不安が見られた。このことから、システムの改良だけでなく、システムを扱う人間の習熟度を上げることも必要であるとわかる。また、学生はシステムを良く理解しているが、それでもシステムの運用時の想定などに認識にばらつきが見られる。今後は、システムの改良だけでなく、いかに習熟させるかということも考えなければならない。マニュアルの改善や演習時に設定する災害の細かいシチュエーションなどを用意する必要がある。

人材教育という観点については、今回演習に参加した学生には明瞭な成長が見られた。初回の研修・検証Ⅰではシステムの扱いに戸惑う学生も多く、頼りなげな印象を受けた。その後のディスカッションは多くの意見が出され、驚かされたが、初対面の学生たちと言うこともあって今一步踏む込んだ議論はなされなかったように思う。二度目の検証Ⅱでは、入力場所や操作方法といった基本的な質問はなくなり、「入力時の自分の立場(市の職員なのか、県本部なのか)」や「事前に用意された入力内容の不足部分を確認する」など質問の質が変化していた。操作後のディスカッションでも会話が弾み、楽しみながらも、意見が対立する場合には積極的に議論を繰り返すなどコミュニケーションもよくとれ、自己表現も良く行われていた。三度目の職員への指導では、学生4人全員が責任をもち、職員にアドバイスや指導を行った。少人数で頼る者が無く、なおかつ自分が教える立場という状況が彼らの責任感を引き出したと言える。また、学生が提案する意見も演習回数を経るごとに、抽象的なものから具体的な者へ、批判だけから解決策を示すように変化している。システムの操作に関しては先に述べているとおり、他の人間に使用方法を教えられる程度に習熟しており人材教育は大成功であったと言える。

システムの評価としては

1) システム開発方針の妥当性

電話や FAX、電子メールなどの個別の報告では、東海地震のような大規模災害時にはどうも対応できない。災害発生時には報告を行う側・受ける側双方ともが混乱状態であるので、これらの方法では必ず報告漏れが生まれ、報告の紛失も起こり得る。非常事態であるが故に、報告の体裁を整えることも難しくなると思われるが、形式の一定ではない大量の情報は、情報の整理を行う際に多大な努力を要する。また、文字、口頭での報告は空間的情報に欠けており、適切な情報把握・判断ができない可能性がある。

本システムは、静岡県内全ての市町で同じ形式による入力・報告となるため、大量の情報を裁く作業を従来よりも容易にし、報告どうしの比較も行いやすい。また、同じ形式で出力されるため、入力漏れなどのミスに気づきやすく誤情報の報告防止にも役立つと考えられる。GIS システムや現場の写真は、文章での報告にはない空間的・視覚的情報であり、言葉を重ねることなく一目で状況を把握可能となる。これらのことから考えて、本システムの開発方針・方向は妥当であると言える。

また、本システムが真価を発揮すると考えられる大規模災害時には、職員自身が被災者となっていることも考えられる。そのため専門的知識を要する少数の職員のみが操作可能な堅牢・複雑なシステムよりも、より多くの職員が操作できる汎用のシステムを構築することがリスクの分散という点から考えても妥当である。

2) ICT 人材の活用・育成

汎用性の高いシステムの構築には行政機関の職員以外からの意見を取り入れることも重要な点である。しかし、コンピュータを扱うことに不慣れな相手や、難解な言語に慣れていない中高生などでは開発・改良に対する有効な意見を得にくい。そのため、コンピュータの扱いに慣れ、柔軟な発想を持つ大学生や、防災意識の高い防災士を対象としてシステムの骨組みを構築することは効率的であり、妥当であると言える。実際、大学生の演習によりシステムエラーなども見つかっており効果を上げていると言える。

育成人数は一次育成の数十人は妥当、もしくは限界値であると言える。出身学部や学年、防災に関する知識レベルの異なる学生を学部教育の外で育成する

ことは難しい。各学生に目が行き届き、責任感や主体性も生まれやすいことから少人数の育成が最も効果を上げられると思われる。

3) システムの先進性や汎用性・モデル性

県単位で情報の即時共有や支援、対応の調整が可能であることは非常に興味深い。他のシステムとの連携を想定し汎用的な技術を積極的に導入したことは今後の拡張性を感じさせる。携帯電話や GIS との連携はすでに可能になっており、これまでとは異なる角度からの情報を得ることができる。携帯電話の利用は、職員が行政機関への通勤が不可能になった場合でも居住地や避難地の情報を発信することができ、情報収集に有用である。データセンターを分散化し損傷を免れる確立を高めたことはリスクを減らすうえで評価できる。本システムは従来の災害情報システムの幅を拡張するものであり、他県へのモデルとなり得ると考えられる。

最大の問題点は大規模災害時のネットワークや電子機器の停止である。壊れない設備の建設には限界があり、絶対は存在しない。局所的であっても本システムが稼働することは有効であると考えられるので、今後は迅速な復旧ができる体制作りも必要である。

添付資料

表

表 1. 研修・検証I テーマ1の全アイデア

グループ①

ICTシステムの改良

- ・ 文字が多い
- ・ 簡単にする
- ・ 操作が多い
- ・ 普通の人（急に）理解できない
- ・ 緊急時に取り扱いの文章は読まない
- ・ タッチパネルで使いやすくする
- ・ 音声認識の導入
- ・ 新規情報順に自動的に並べる機能が必要
- ・ 色によって被害の規模がわかるようにする
- ・ 被災地だけでなく、避難できる場所を示す
- ・ 緊急性の大小を示す
- ・ 災害状況を一覧にして選択できるようにする
- ・ 高齢者向けに・・・携帯電話もパソコンも上手く使えないはず
- ・ インターネットが使えない状況であるかもしれない
- ・ 「要請」と「回答」を別項目にする

電子ネットワーク

- ・ 携帯電話で使えるSNSを活用
- ・ ソーシャルネットワークのトップに速報を出す
- ・ ネット検索で最上位に表示されるようにする
- ・ ネット掲示板（パソコン）の活用
- ・ 個人の居場所が特定できるもの（GPS機能のようなもの）の活用
- ・ ラジオ放送の活用
- ・ 他県の援助もスムーズに行える
- ・ パソコン以外からの入力方法の用意
- ・ 街角にパネルを設置する
- ・ 携帯電話からも容易にみられるようにする
- ・ Twitterで強制的にリツイート機能を追加する
- ・ mixiなどにログインしたら自動的にマイミクに被害に関するメッセージを送信する

住民を助ける

- ・ どこでも情報を知られるようにする
- ・ 子供に頑張ってもらおう（笑顔で）
- ・ 視覚だけでなく聴覚情報の充実
- ・ 町内で地震があったらお隣さんを見に行く（地域住民のネットワーク）
- ・ 身体障害者向けサービス
- ・ 二次災害の連絡（余震、津波など）
- ・ お年寄り、子供の避難を優先
- ・ 被災者は受け身でたくさん来る
- ・ シェルターの設置

- ・ 会社、組織ごとに責任者を置く

防災

- ・ イベントを企画する
- ・ 防災グッズ配布
- ・ 避難訓練を月一回行う
- ・ 津波対策
- ・ すべてを強くする（補強）
- ・ 防災映画の製作
- ・ 市民で作る
- ・ 耐震工事の義務化
- ・ 住民の交流&つながり
- ・ 携帯にメールが届く
- ・ 避難場所の明確化
- ・ ブロック塀など細かい危険地帯の情報の共有
- ・ 防災マップの普及
- ・ 地域ネットワークの充実
- ・ 避難場所を増やす
- ・ 避難訓練のシナリオの多彩化、自分の周辺の地盤状況の把握
- ・ 防災メールがくるようにする
- ・ 現場の写真や動画を地図上に表示できる
- ・ 避難ビルの常時開放
- ・ 道路や電車の状況 物資の情報
- ・ 携帯電話各社で地域にかかわらずメールを送る
- ・ 災害時にメールが送られてくるシステムの普及

紙

- ・ 正しい応急手当の図の作成・配布
- ・ 勝手に来て欲しい（自主的な避難行動の促進）
- ・ 駅や交番などに案内
- ・ 新聞（号外）を出す
- ・ 絵で知らせる（文字以外での案内表示）
- ・ 地域内で連絡網を作る

その他

- ・ トイレ、食料の確保（貯蔵庫の確保）
- ・ 誰もが知っている、知らない人がいない（防災教育）
- ・ ふじのくに防災マイスター（防災教育）
- ・ 富士山は活火山（防災教育）
- ・ 町の放送の活用
- ・ 義務化しても絶対無理（規制だけでなく自主的な行動をとるように促す）
- ・ 人手が足りないところへ人を集める
- ・ メール情報を市の放送で伝える（ラジオなど）

インターネット・PC

- ・ 人工衛星の画像で被害状況を把握
- ・ 文字を大きくして、誰でも見やすいように
- ・ 他の防災システムとの共同運用を行う
- ・ どの情報が正しいかわからない
- ・ 被害が多いかわかるような表示方法が必要
- ・ USTREAMの活用
- ・ インターネット上での動画機能の添加
- ・ マップ上で優先順位を示す
- ・ 午前中のシステムを使いやすいように（各担当以外はロック）
- ・ ネット掲示板の活用
- ・ 一般の人も書き込むことができるようにする

携帯電話

- ・ 携帯の位置情報の機能を利用
- ・ 携帯電話の活用
- ・ iphoneの活用
- ・ web 171の活用
- ・ 電話による報告
- ・ 個人補単位で報告
- ・ 携帯電話の活用（被害状況の確認）

固定電話

- ・ 緊急ダイヤルの活用

空から

- ・ 航空機から見る
- ・ 見晴らしの良いところから見る
- ・ 空からビラを散布
- ・ 危ない場所を特定する
- ・ 手旗信号
- ・ のろし
- ・ 大きな旗
- ・ 飛行機の煙で字を書く

公共放送

- ・ ラジオ
- ・ 情報をいち早くテロップで流す
- ・ テレビ

ローカルな放送

- ・ 有線放送への割り込み
- ・ コンビニから欲しい支援内容を発信する
- ・ 病院施設の用意
- ・ 店内放送の活用

- ・ サイレンの活用
- ・ 号砲の用意
- ・ タクシーとかの無線を連絡手段に活用
- ・ 町中の放送の活用
- ・ 防災無線の活用

掲示板

- ・ バスの中のテロップに情報
- ・ 掲示板（電子でない）
- ・ 情報を掲示する

人づて

- ・ 人と人（連絡網）
- ・ 走って伝える
- ・ 隣組のような制度の創設
- ・ 車（宣伝車）の活用
- ・ バイクの活用

グループ③

システム

- ・ カーナビゲーションシステムの利用
- ・ 無線LANスポットの増設
- ・ 支援要請の画面で横長の表示は見づらい、クリックすると色がつくと良い
- ・ 支援要請の項目で新しいものから上位に来ると良い
- ・ 支援要請で編集集中のものがわかると良い
- ・ 大学にも設置して欲しい

集合

- ・ 花火の使用（集合場所を知らせる）
- ・ 物見櫓の設置
- ・ 点呼
- ・ 学校に集まる
- ・ 公民館に集まる
- ・ 掲示板（ホワイトボード）の設置

防災

- ・ 各災害の対策を事前に把握できるようにする
- ・ 防災訓練の義務化
- ・ いつ、どんな形で他の地域が防災訓練をしているのか、わかるようにする
- ・ 緊急時にガスや火などを停止させる

被災時

- ・ 学生のボランティアを募集するための項目を作る
- ・ どれだけの学生がボランティアに出向けるのか、はっきりさせておく
- ・ ボランティア、具体的に何が必要なのか わかるようにする
- ・ 飲み水の配布

GPS

- ・ GPS携帯電話の活用
- ・ 携帯電話のGPSから安否確認を行うようにする
- ・

インターネット（個人）

- ・ 写メールの活用
- ・ 171サービスを携帯でも使用できるようにする
- ・ 連絡網（メール）
- ・ メッセンジャーのインスタントメッセージ
- ・ skypeの活用
- ・ メールングリストの活用
- ・ Twitterの活用
- ・ インターネット掲示板の活用
- ・ PHSの活用
- ・ i Padの活用
- ・ i Phoneの活用

- ・ ウルトラモバイルPCの活用
- ・ 無線LAN（どこでも使える）の活用
- ・ 緊急地震速報の装置にシステムを導入
- ・ 災害発生時に知事が何をしているか常に確認できるようにする
- ・ 避難所を検索できるようにする
- ・ 携帯電話の画面でリアルタイムに情報送信
- ・ 災害発生時携帯電話メールでお知らせ
- ・ 速報が送られてくるようにする（携帯電話）
- ・ 携帯にマップをメールする
- ・ マンションなどの集合住宅に一括して連絡をする
- ・ メールに近くの避難所などの情報が送られるようにする
- ・ iPadなどのラジオに放送が入るようにする

公共メディア

- ・ 街の視覚化
- ・ ラジオの活用
- ・ GISの活用
- ・ テレビ中継の活用
- ・ 地上デジタル放送の活用

表2. 研修・検証I テーマ2の全アイデア

グループ①

重要度 高・緊急性 高

- ・ 支援や一覧を同一のページに示す
- ・ 一般人が閲覧できるページの開設
- ・ データが頻繁に更新され、対応が後手後手に回る
- ・ 更新情報がわかりにくい
- ・ リンクボタンが欲しい
- ・ 視覚化の活用
- ・ 表示される順番をわかりやすく
- ・ 地域の選択時に地図上から選択できるようにする
- ・ 自動更新されるようにする
- ・ グーグルマップも利用してわかりやすく
- ・ 数値をグラフ化する

重要度 高・緊急性 低

- ・ i Pad形式（タッチパネル）で情報を入力できるようにする
- ・ 書き込む回数を減らす
- ・ 音声で情報を読み込む機能の追加
- ・ 市町用、本部用のページをつくる
- ・ 市町別に一覧を作る

重要度 低・緊急性 高

- ・ カテゴリーがわかりにくい
- ・ 並べ替えができるようにする
- ・ 情報の更新された地域の欄を、色で表示する
- ・ カラーを使ってわかりやすく表示
- ・ 文字が小さい
- ・ 被害の重い順に色づけをする
- ・ 被害が集中しているところを優先的に並べる
- ・ 被害の集中しているところを分類してわかりやすく表示する

重要度 低・緊急性 低

- ・ ページを横に長くしない（ページスクロールは見にくい）
- ・ 必要なことだけ書けば良い
- ・ 毎回パスワードから入力するのは煩雑である
- ・ 市町村の役所だけでなく大学などに情報を発信するところを設ける
- ・ 市町から直接県本部に連絡できるようにする
- ・ 図など文字以外の情報も示す
- ・ パソコン以外の入力方法（携帯用簡易番など）
- ・ 二次災害の起こりそうな場所の情報
- ・ 更新前の過去の履歴がみられるようにする
- ・ 説明資料の不備（マニュアルがわかりにくかった）
- ・ 被害件数の欄をもっとわかりやすく

グループ②

重要度 高・緊急性 高

- ・ 入力量が多い、操作を単純にする
- ・ 他の管轄の入力できないようにする
- ・ リロード時間の設定がうまくいかなかった
- ・ 情報が伝わっているのかの確認ができない（忘れられている不安がある）
- ・ 重要度別の色分け
- ・ 情報の修正作業が繁雑、もっと簡単に、一目で入力項目がわかるように

重要度 高・緊急性 低

- ・ ページごとにリンクをはる
（毎回メインページに戻って入力を繰り返すことは非常に煩雑）
- ・ 「戻る」機能をつけて欲しい
- ・ 画面スクロールの形式だと全体を把握しにくい
- ・ 入力内容のダブルチェック
- ・ 情報量が多く、同時に多数処理するとミスが起こりうる
- ・ 電話回線の場合読み込みが遅く、裁ききれないかもしれない
- ・ 野外からの情報の入力

重要度 低・緊急性 高

- ・ 更新の有無がわかりにくい
- ・ 地図上で新しい情報を表示（点滅させる）
- ・ 編集集中であるならば、そのことがわかるように

重要度 低・緊急性 低

- ・ 市から県への直接要請をできるように
- ・ 県から方面本部、市町への回答はタイムロスである
- ・ 誰が入力したのかわかるように
- ・ 他県との連携が考えられていない
- ・ 入力作業をタッチパネルにした方が楽になる
- ・ インターネットの環境が災害時に利用できるのか疑問がある
- ・ 実際の運用時、サーバへの負荷がかかりすぎて「落ちる」かもしれない

グループ③

重要度 高・緊急性 高

- ・ 支援要請項目を分割、箇条書きにするなど見やすく
- ・ ある程度、入力項目を作る
- ・ ページの更新がわかりにくい
- ・ ブラウザの戻るボタンを押したくなる
- ・ 被害監視モニターのような映像を本部へワンクリックで送れるように
- ・ 方面本部の作業を“流れ作業”にする
(「次へ」ボタンのワンクリックで本部へ送信できるようにするなど)
- ・ 2台のモニタを使いたい
- ・ 各方面本部で見られる市町の制限する
(管轄の市町以外の情報は見られないようにする)
- ・ 一つのページで様々な作業を行えるようにする
- ・ 被害と支援の項目は分けた方がよい
- ・ 市町の名称は選択式にする
- ・ 地図をすぐに表示できるようにする
- ・ 項目を色別に表示する
- ・ 「確認」欄をチェックした項目は別の画面へ移し、確認前のものと分ける
- ・ 「対応済み」の欄を作り、対応がなされたことを示す
- ・ 方面本部が入力すべき項目を、市町の入力画面で入力した場合
県本部には伝わらなかった

重要度 高・緊急性 低

- ・ 一つの要請を、同時に変更すると先に更新した情報が消える
(2台のコンピュータで同じ支援要請を同時に編集する場合、
先に「保存」した編集内容は、編集作業中のもう一台のコンピュータの画面に
反映されない)
- ・ 音声入力の導入
- ・ メインメニューで入力する区分をわけると
(市町ならば市町の、県本部ならば県本部のページを作る)
- ・ 専門の人間には説明しやすいが、予備知識のない人間には説明が難しい
- ・ 言葉が難しい
- ・ 総括と報告の違いがわかりにくい
- ・ 県本部から市町へ直接対応できるようにする

重要度 低・緊急性 高

- ・ 支援要請の「確認済み」欄をページの一番下に置く
- ・ 入力内容確認画面が必要
- ・ 更新された情報をページ最上部に表示する
- ・ 新着情報を知らせる機能(音など)が必要
- ・ 支援要請は方面ごとでまとめた方がよい
- ・ 方面本部、市町、県本部で一覧のページをわけると必要はない
- ・ 方面本部、市町、県本部用に入力画面を分割する

重要度 低・緊急性 低

- ・ チェック(確認済み)をいつ行えば良いのかわからなかった

- ・ 市町の支援要請の画面で更新ができなかった
- ・ 画面のスクロールを少なくする
- ・ 発信者のID化
- ・ 支援回答者の名前の登録
- ・ 細分化可能な地域は、より細分化する（地域特性にあったカテゴライズ）

表 3. 検証II 全アイデア

グループ④

うまくいった点

地域や市町村ごとでまとまっている

- ・報告資料作成データを即報から元データをもってくる事が出来る
- ・各々の情報が1つに見える
- ・方面本部と県は同じ情報を持つ
- ・市町村が一度まとめるため見やすい
- 市町村のみで見やすい
- 4つの支部で分けられている

視覚的

- ・色がつけられて見やすい
- ・写真はわかりやすい
- ・写真の貼り付けが出来る

報告のスピードが速い

- ・書く項目が少ない
- ・時間内に出来た

情報を多くの人から得ることができる

- ・情報を多角的に見れる
- ・状況確認
- ・様々な人からの情報を得られる

うまくいかなかった点

システムの操作の問題

- ・写真を張り付けることが出来ない(市→県するとき)
- ・総覧の確認に手間取った
- ・地図を探しにくい
- ・報告書形式にまとめる際、「戻る」機能がない
- ・被害状況をまとめる際に時間がかかった
- ・確認チェックが上でなく下をチェックしてしまい、見えなくなってしまった

情報の質がバラつく

- ・被害の具体性が入力者によってバラつく
- ・即報の重複
- ・即報が一部の地域に集中した
- ・要請が送られる場所はどこなのか？ 県に？ 自衛隊に？
- ・入力内容の質の差がある
- ・死者数の概算しかわからないときもあるのではないかと(被害者数の入力で推測なのか確定値なのかわからず戸惑った)
- ・現存している住所はどこまで正確に書く必要があるのかわからない
- ・場所の入力に時間がかかった
- ・確認作業の場所を確認するのに時間がかかった

- ・場所(住所)が不明瞭
- ・被害報告の部分にもっと詳しく項目を付けた方がいい(一行しか書いてない報告もあった)

項目が少ない

- ・被害内容に津波が選択出来ない
- ・被害内容の選択が少ない
- ・被害項目を複数選択出来るが良い(住宅倒壊と火災が同時発生してる場合等)
- ・被害内容はどれがあてはまるかわからない(重複する)
- ・報告を受ける立場の場合、報告数が多いと把握しづらい

その他

- ・未記入で誤って保存してしまった
- ・記入しなくても保存出来る(必須項目を書かないと保存出来ないように)
- ・被害人数を打ち忘れた
- ・市町村の入力者が大切な情報を入力し忘れた場合、それは報告されなくなってしまう

うまくいった点

情報の共有化

- ・県本部や方面本部が情報を共有出来て良い
- ・多くの場所から多くの情報を得られる
- ・被害の大きい所や人口の多い所は報告も多くなる
- ・小さな被害をもらしにくい

操作が簡単になった

- ・要請の有無が見やすい
- ・どの地域、市町村で被害があるか一目でわかる
- ・写真をアップ出来て被害の状況がわかりやすい
- ・確認済みが移動してわかりやすい
- ・項目別に入力出来て前回よりも容易に入力できた
- ・操作が簡単になった
- ・コピー&ペーストによって素早く報告出来る
- ・システム管理者の方々お疲れ様でした

うまくいかなかった点

システム上の問題

入力の問題

- ・携帯電話は本当に有効か
- ・携帯電話からの情報の信憑性の判断方法
- ・情報が錯綜する危険性
- ・場所がどこなのかわからない(地図はどこで見られるかわからない)
- ・誰が使えるのか
- ・誰でも携帯から報告出来るのか
- ・市民でも使用出来るのか
- ・そもそも、携帯やパソコンから市民が見れるのか
- ・個人レベルでは被害報告が出来ない(権限の範囲はどこまでか)
- ・公民館レベルで1台報告出来る権限があると良い
- ・他県とのネットワーク
- ・同様のシステムが他の県にもあれば良い(全国で統一)

確認の問題

- ・対応要請は重要なはずだが、報告のみと変わらない(対応要請の情報を目立たせる)
- ・要請されている対応の中身を優先的に表示出来るようにすべき
- ・何をもって確認済みとなるのか
- ・何が必要なかわからない
- ・被害の分類にあてはめられなかった
- ・一覧のリストでは何による被害なのかわかりにくい
- ・情報に型がないのでまとめづらい

対応の問題

- ・要請のあった場所に対策しに行ける状態なのか(交通網)
- ・インターネットは使える状態なのか

入力する側の問題

確認や重要度の項目分けなどの改良が必要なこと

- ・報告書で様々な被害をまとめて一枚にすると、逆にわかりにくい
- ・死者数がわからないときにどうすれば良いのか
- ・未確認のもの・確認したもの・対応が完了したものが一度に見える場所が欲しい
- ・被害の深刻さ・重要度が不明である
- ・「人的被害が多い」場所なのに、被害者無しで報告してある件があった
- ・「火災発生+建物の下敷き」なのに、報告のみはお気楽ではないか？

見にくい

- ・まだ改良は可能なのか
- ・被害情報の入力画面から一覧へのリンクがない
- ・相変わらずどこのボタンクリックすればいいかわからない

入力に関するエラーや間違いが発生したこと

- ・市町の名前を打ち込むのが面倒(プルダウン式に)
- ・複数の被害をまとめられなかった
- ・被害人数を入れ忘れた
- ・ボタンを何度も押し間違えた
- ・どこのボタンを押せば良いのかわからない
- ・一覧(全体)のリストで市町村名がわからない
- ・みんなが一度に入力したらダウンする危険はないのか(サーバ負荷への不安)

システム上のエラー

- ・一覧⇔詳細の切り替えがスムーズでない
- ・うっかり「戻る」して、何度も市町選択になってしまった
- ・被害報告の確認画面で「熱海市」が最上位に来るように設定されていて選択が煩雑(市を固定または「次へ」ボタンの導入)
- ・エラーが出た場合、焦る
- ・エラーが出た
- ・市町村名を間違えるとエラー表示される
- ・町名が大量に並んでいてわかりにくい

その他

- ・更新された情報は赤字で表記されると良い
- ・若手職員がいない市町村では、誰がどのように情報を入力するのか(コンピュータの扱いへの慣れが必要)
- ・報告書を書くのが大変
- ・誤字脱字が見られた
- ・報告してもらいたいののに報告しなかった情報が存在した
- ・文章入力でとまどう
- ・情報を入れ忘れて送信した

表 4. 操作演習・職員に対する指導のレポート 全アイデア

現場被害報告

- ・携帯電話、コンピュータ、GISの連携が可能になったことでわかりやすさが増した
- ・中部、東部、西部でログイン後の画面が分かれており、入力しやすくなっている
- ・報告住所を入力する際、地図を示し、選択すると住所が入力されるようにすると良い
- ・死者、負傷者数に「不明」の項目が必要
- ・死者、負傷者数を入力後、自動で死傷者数が演算されるように改善
- ・記述式では報告する内容の判断に困る
実例. 仙台空港が浸水している写真を添付した場合、
支援要請の有無、内容の判断が難しかった
- ・ICTシステムの改良だけでなく、使用者の判断力をもっと養うべきだと思う
- ・入力項目ごとに、入力する内容の短い説明、例を示すと良い
- ・隣接している市町の被害入力もできると、隣接地域と連携できて良い
隣接していない市町は入力できない方がシンプルで良い

添付写真

- ・写真が見られることはわかりやすくて良い
- ・写真ファイルを添付する際、プレビューが表示されると良い
- ・2枚以上写真を添付できる機能が必要

携帯電話

- ・災害報告用アプリは比較的容易に操作でき、
ほとんど説明書を見ることなく感覚的に操作できた
- ・アプリは一度覚えれば使いやすい ケータイ世代ならばだれでも利用可能であると思われる
- ・docomo以外の会社の携帯電話を使用している人には(若くても)アプリの扱いや
写真の添付に戸惑う
そのため写真の添付は自動的に行われる方が良い
- ・メール作成時にもう一度写真の添付を行うことを忘れそうになった

現場被害報告一覧

- ・各報告の左側にチェックボックスがあるが、何のためにあるかわからない
- ・やはり、見にくい 赤、青、黄などを用いてグループ分けを行うと見やすくなる
- ・横一文字に情報が並ぶと見にくい
枠で囲い、適当な項目で改行する(一つの報告を2行、3行で表記する)方が見やすい
- ・報告を閲覧する場合、新着順ではなく救援の有無で並ぶようにした方が良い
- ・チェックを入れる場所を増やした方がミスを見つけやすくなる
- ・全角数字で入力を行うとエラー表示がされた
- ・チェックボックスにチェックをつけた後、「確認」をクリックすると「報告済み」となった
「確認」ではなく「報告」と表記した方が直感的である
- ・文字だけでなく、GISによって視覚的にまとめられたデータもプレスリリースすると良い

被害即報

- ・チェックを入れた内容が入力画面に表示されるのは、入力しやすく良い
- ・コピー&ペーストにより報告書を作成することは簡略でよい

- ・被害状況の入力時に、死亡者数などがわからないことが多いので「推定〇〇人」などの選択項目が必要
- ・「報告者名称」や「確定報フラグ」など言葉の意味がわからず、入力する内容がわからなかった
- ・件名ごとにアスタリスク(*)が並ぶのは不要(削除に手間がかかる)
- ・コピー&ペーストにより報告書を作成する際に画面を何度もスクロールする作業は繁雑である
- ・被害報告を行った後、4号様式での入力を行う際、メイン画面に戻ることは煩雑である

避難所

- ・「世帯数>人数」、「世帯数0, 避難者3」など矛盾を含むデータが見られた
明らかなミスに対してはエラー表示が必要
- ・避難所を「開設不可」と設定しても収容人数の入力が可能であった
「開設不可」であれば収容人数は入力できないようにすべき
- ・避難所の収容可能人数はすでに想定されている数値があると思われるので、
表示されていると良い
- ・避難所からの要請では、物資が必要か、人的支援が必要かの選択をつけると良い
必要な物資も、水・毛布・食料など基本的なものを選択できるようにすると良い

その他

- ・システムの存在を全国にアピールすると良い

資料 1 : 検証時配付資料

I C Tを活用した防災システム研修・検証 I

日 時：平成 23 年 2 月 18 日（金）
場 所：静岡大学大谷キャンパス内
午前）共通教育L棟 1階情報端末室実習室5
午後）共通教育L棟 3階301教室

次 第

○ 主旨説明

1 事前説明（防災に関する知識） (9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0)

休 憩（10分）

2 防災システム操作説明・演習 (1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 3 0)

休 憩（60分）

3 防災システム検証 (1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0)

グループワーク

まとめ（結果発表）

（適宜休憩を入れる。）

静岡県の災害時対応と それに関わるシステムについて

地域ICT利活用広域連携事業の
概要と運用モデル説明

静岡県危機管理部



事業概要

- 8月19日に総務省の「平成22年地域ICT活用広域連携事業」において正式に選定
- 今年度約1億5,900万円で委託契約(発注済み)
- 広域連携、ICT(情報通信技術)の利活用が目的

(参考)

- クラウドコンピューティングとは

ハードウェア、ソフトウェアなどをサービスとして、インターネットやWAN等に接続して利用する概念。この概念を図示するのに雲状の絵を使うところから来た表現。

- エリアメールとは

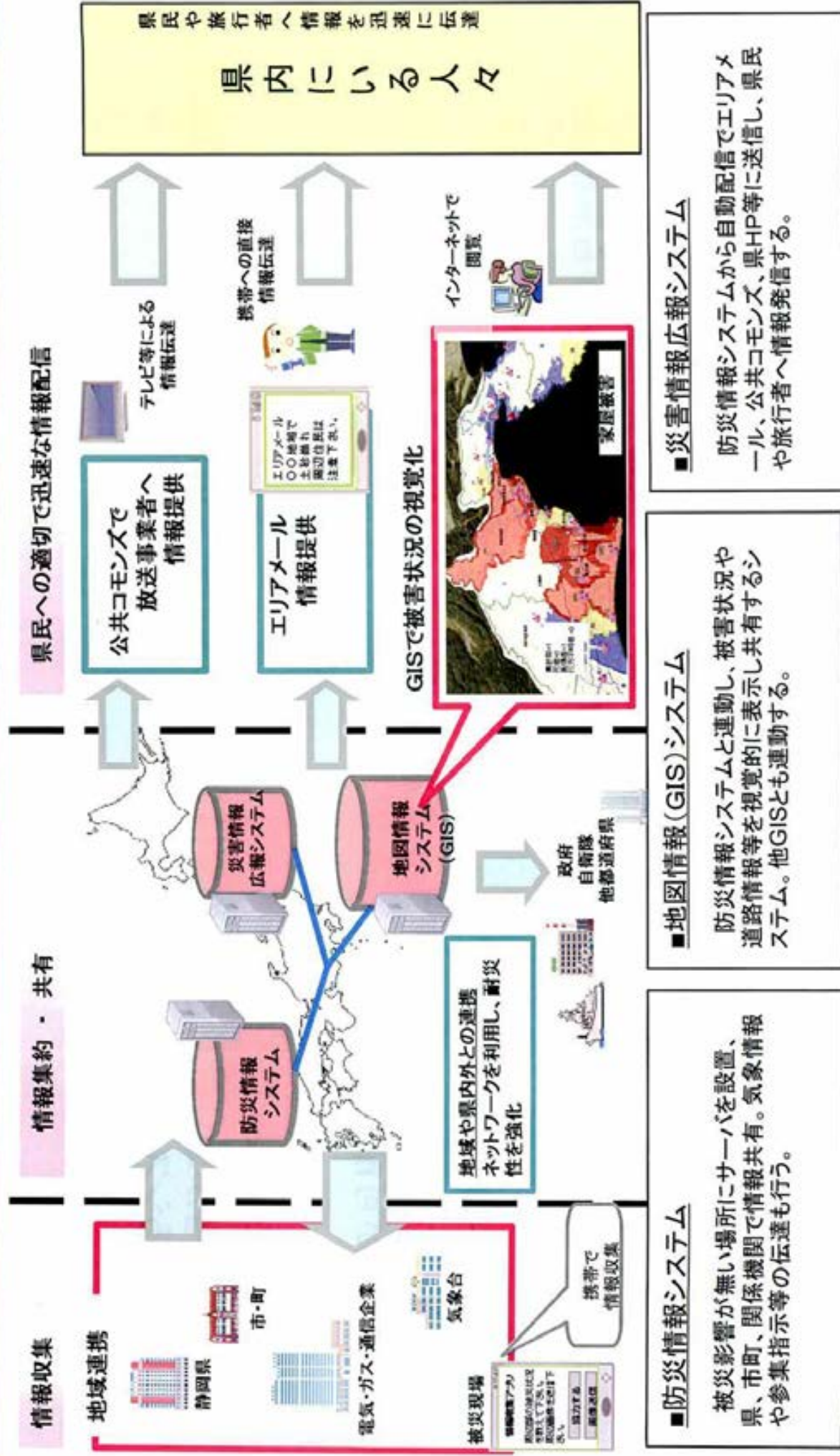
NTTドコモのサービス。緊急地震速報と同じ方式で行えるためauやソフトバンクも対応が可能。

- 公共コモンズとは

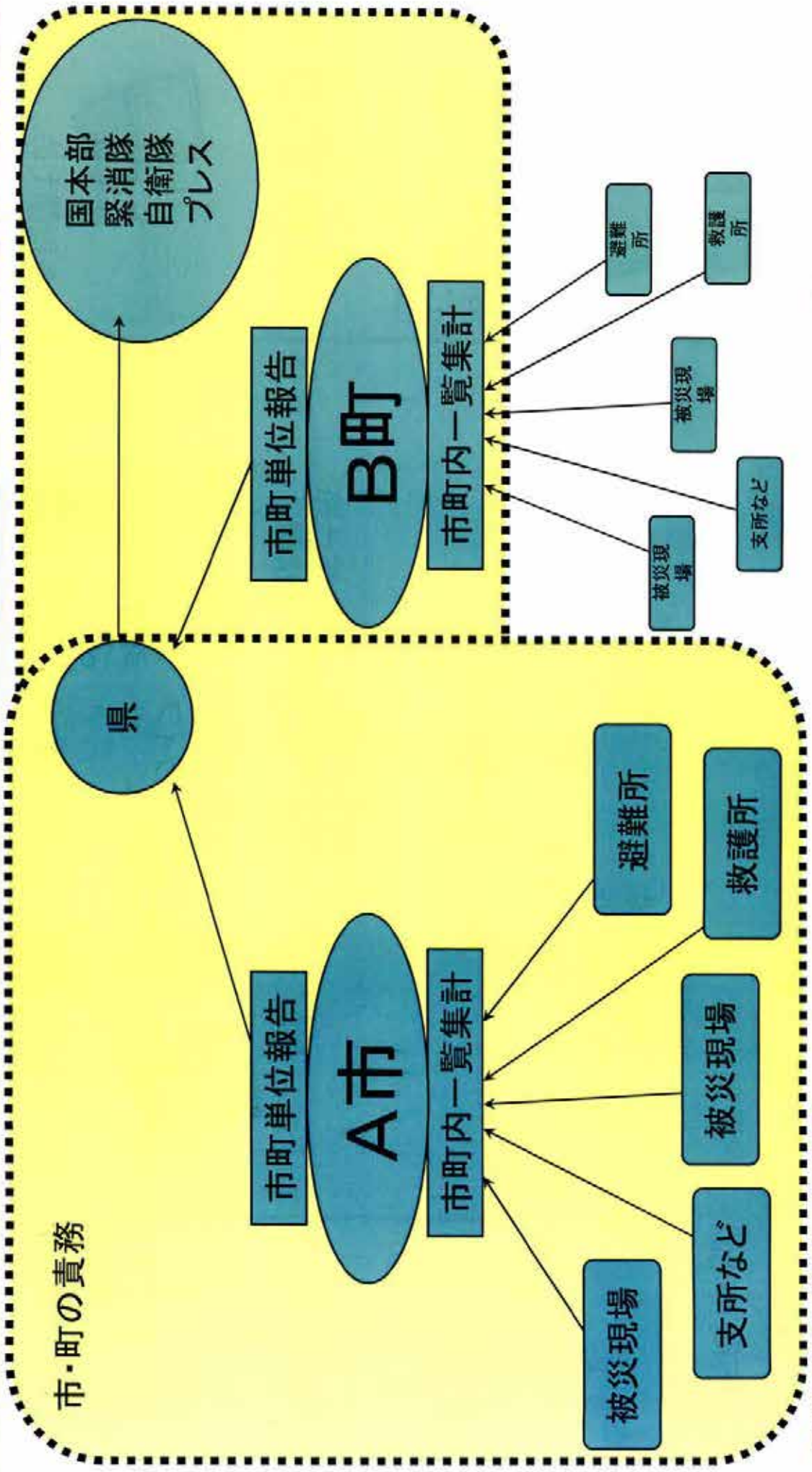
総務省が取り組んでいる災害情報などの安心安全情報をマスコミ等に一括して提供するシステム



災害情報システムのイメージ



情報の流れ

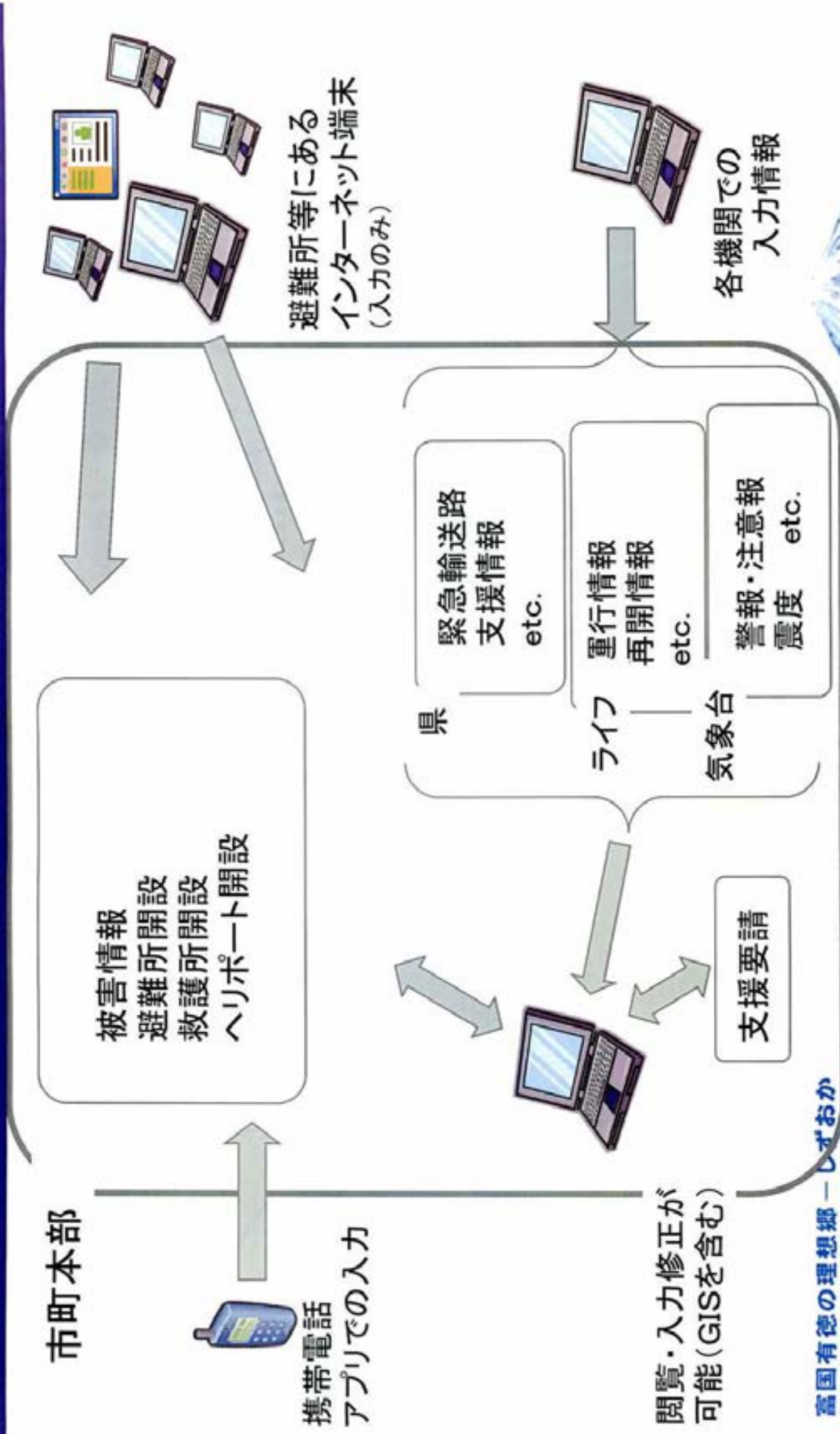


富国有徳の理想郷—しずおか

ふじのくに



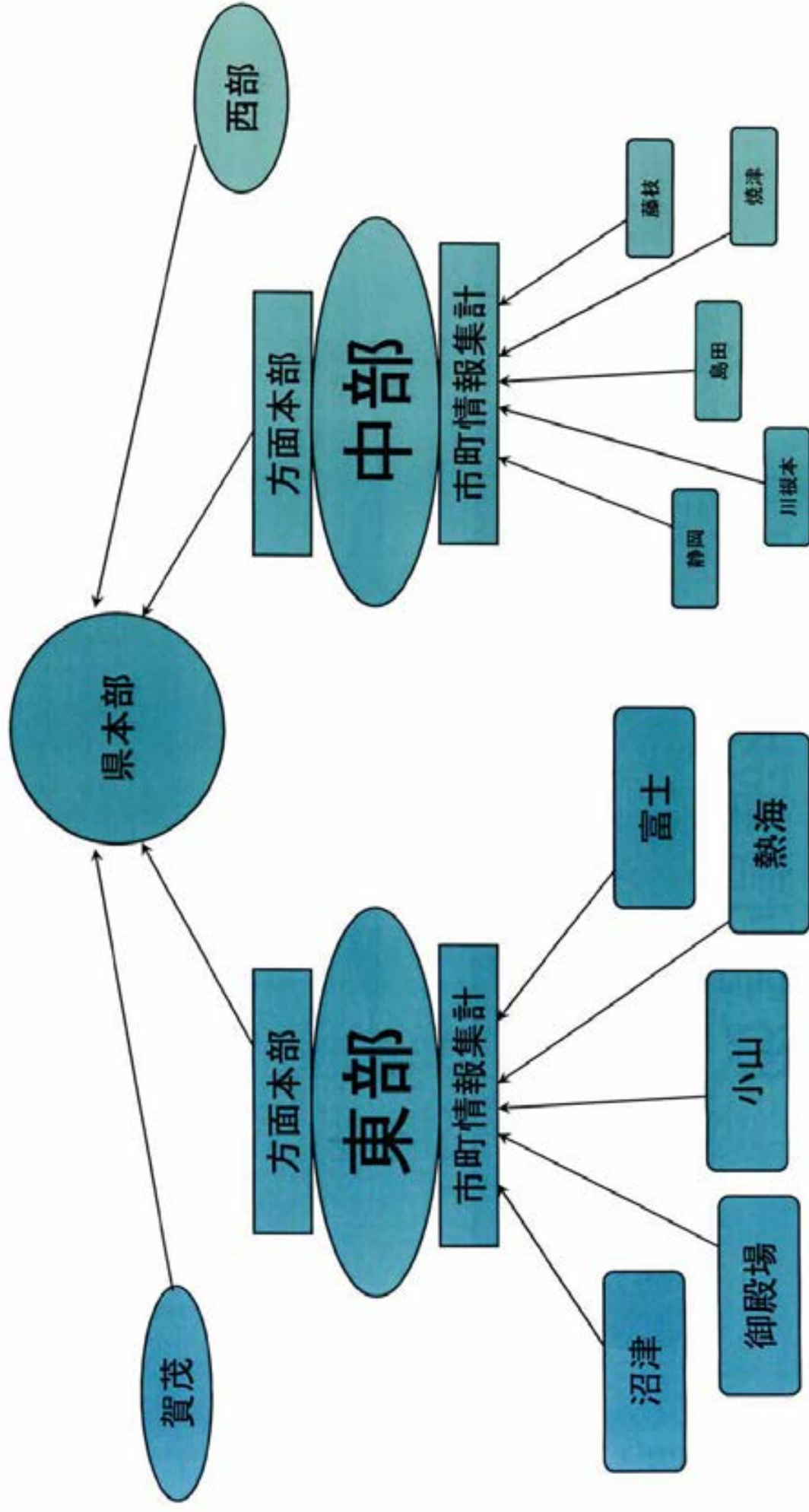
情報のイメージ



富国有徳の理想郷—しずおか

ふじのくに

方面本部から県本部への情報の流れ



災害情報を可視化へ

東海地震等の大災害発生時において迅速に情報
報を収集・共有し、的確な災害対応

72時間

GIS化

富国有徳の理想郷—しずおか

ふじのくに



有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに





©JAPAN SPACE IMAGING / powered by Digital Earth.(Approval Number SOU-SHI No.87 2007).

49 キロメートル

ポインツ 緯度 34.928950° 経度 138.470273° 高度 0 m ストリーミング 100%

上空 160.34 km



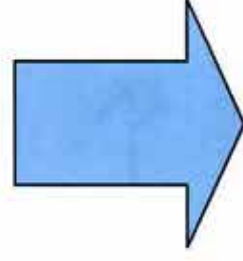
災害情報の情報共有

- 関係機関がリアルタイムで情報共有
- 開設有無など「**動的情報**」の充実
- 被災現場からのデータ入力の実



災害情報を共有するための鍵

常日頃から そして発災時に
災害や被害をどこまで具体的にイメージできるか



的確にイメージするためのサポートが
防災情報システム

主眼は「情報の共有化」・「見える化」

技術の進歩を享受するためには

物や技術はどんどん進化一方で
意識する 理解する 実行するための

「力」の不足

そのためには解説、翻訳、教育できる

「人づくり」と「環境づくり」

が重要になる



備える習慣、めざそう減災。静岡県危機管理部

平成23年2月18日（金）

静岡県の防災体制

静岡県 危機管理部 危機情報課

地方公共団体(県・市町村)の役割

- 「地方自治法」第1条の2第1項

地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割
→災害対策、防災対策はこの責務の一部である

- 「災害対策基本法」第4条、第5条

都道府県は、住民の生命身体及び財産を災害から保護するため、防災計画の策定と**実施並びに総合調整**を行う責務

市町村は、**基礎的な地方公共団体**として住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、防災計画の策定とそれを**実施する責務**

災害応急活動の実施主体

災害応急活動の実施責任の多くは地方自治体の長に委ねられてきている（災害対策基本法）

（市町村長） 住民の生命の安全に係る多くの措置は市町村長に委ねられる

住民と最も密接な関係にある市町村が第一次的な対応を行う。

- ①情報の収集及び伝達（§51）
- ②避難状況等の報告（§53）
- ③警報の伝達等（住民等に対し、災害に関する警報等を伝達）（§56）
- ④応急措置等（消防機関や水防団の出動命令など）（§58）
- ⑤事前措置等（危険物撤去など災害の拡大を未然に防ぐための対策）（§58）
- ⑥避難の指示等（住民の避難のための立退きを勧告・指示など）（§58）

災害応急活動の実施主体

災害応急活動の実施責任の多くは地方自治体の長に委ねられてきている（災害対策基本法）

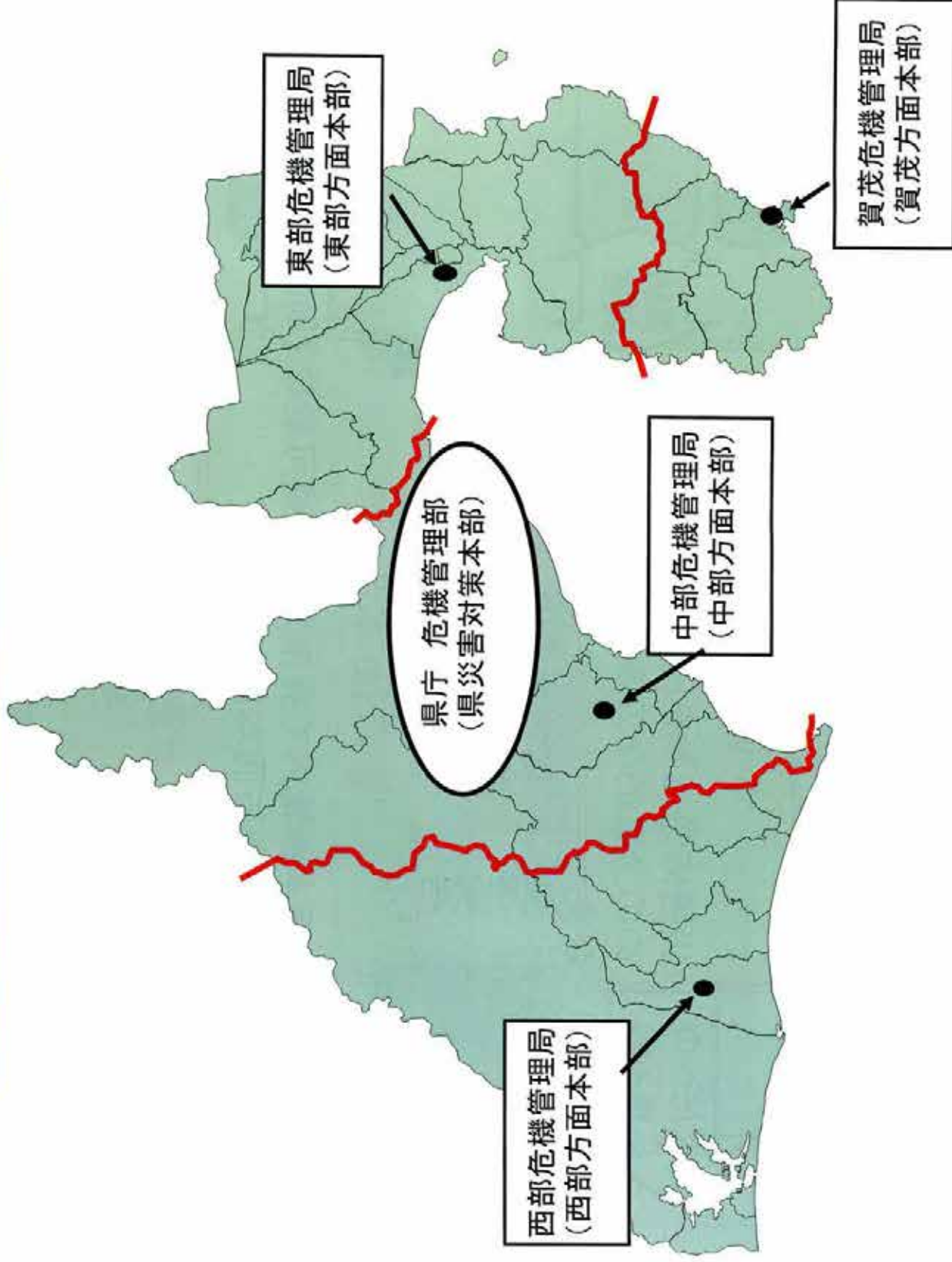
（都道府県知事）

関係機関との調整機能が主となる

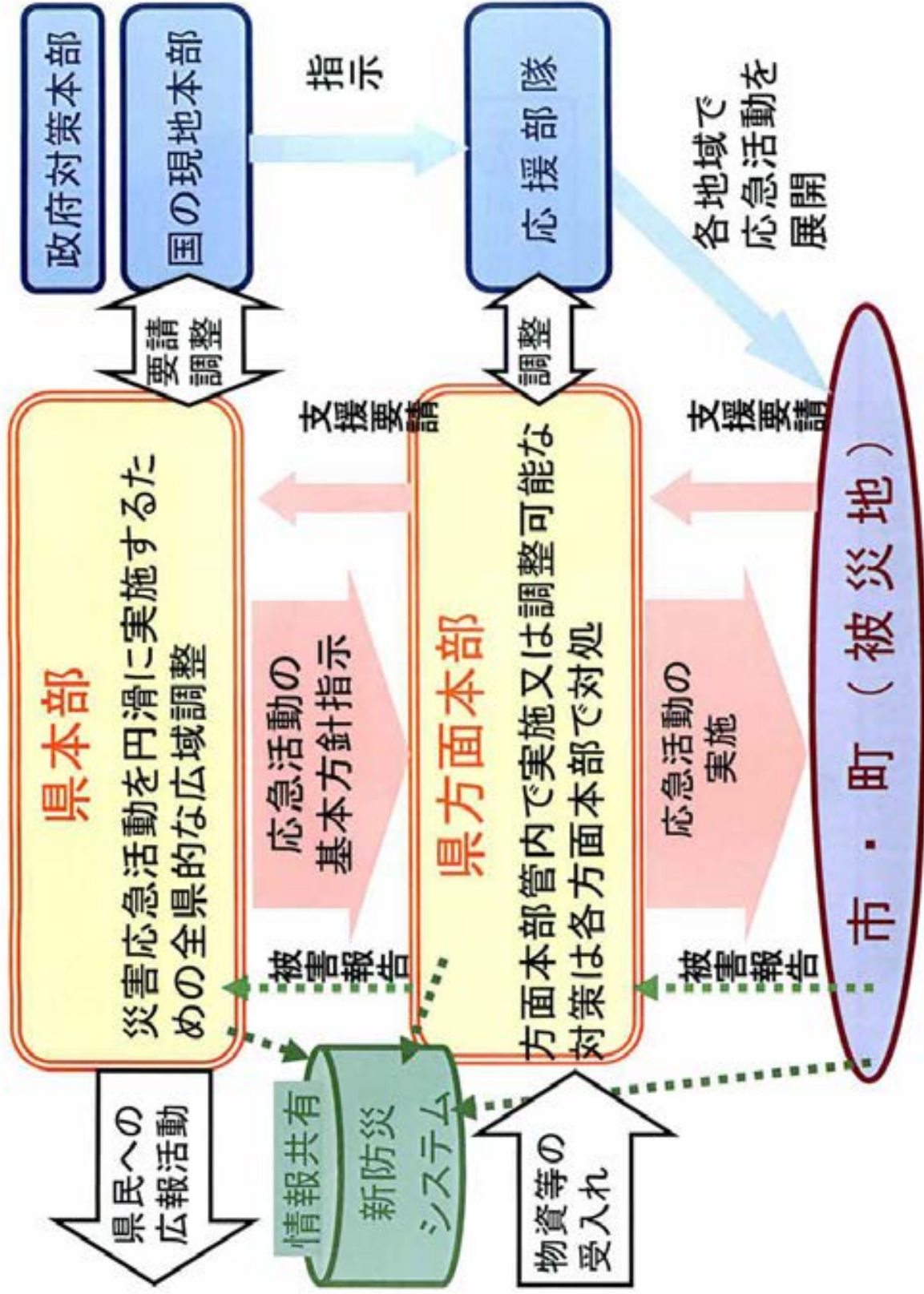
広域的、総合的な防災業務を行うとともに、市町村等の防災業務の実施を助け、その総合調整を行う。

- ①情報の収集及び伝達（§51）
- ②避難状況等の報告（§53）
- ③警報の伝達等（市町村、関係行政機関等に対し、災害に関する警報等を伝達）（§56）
- ④応急措置等（自衛隊の災害派遣要請、災害救助法に基づく救助等）（§70）

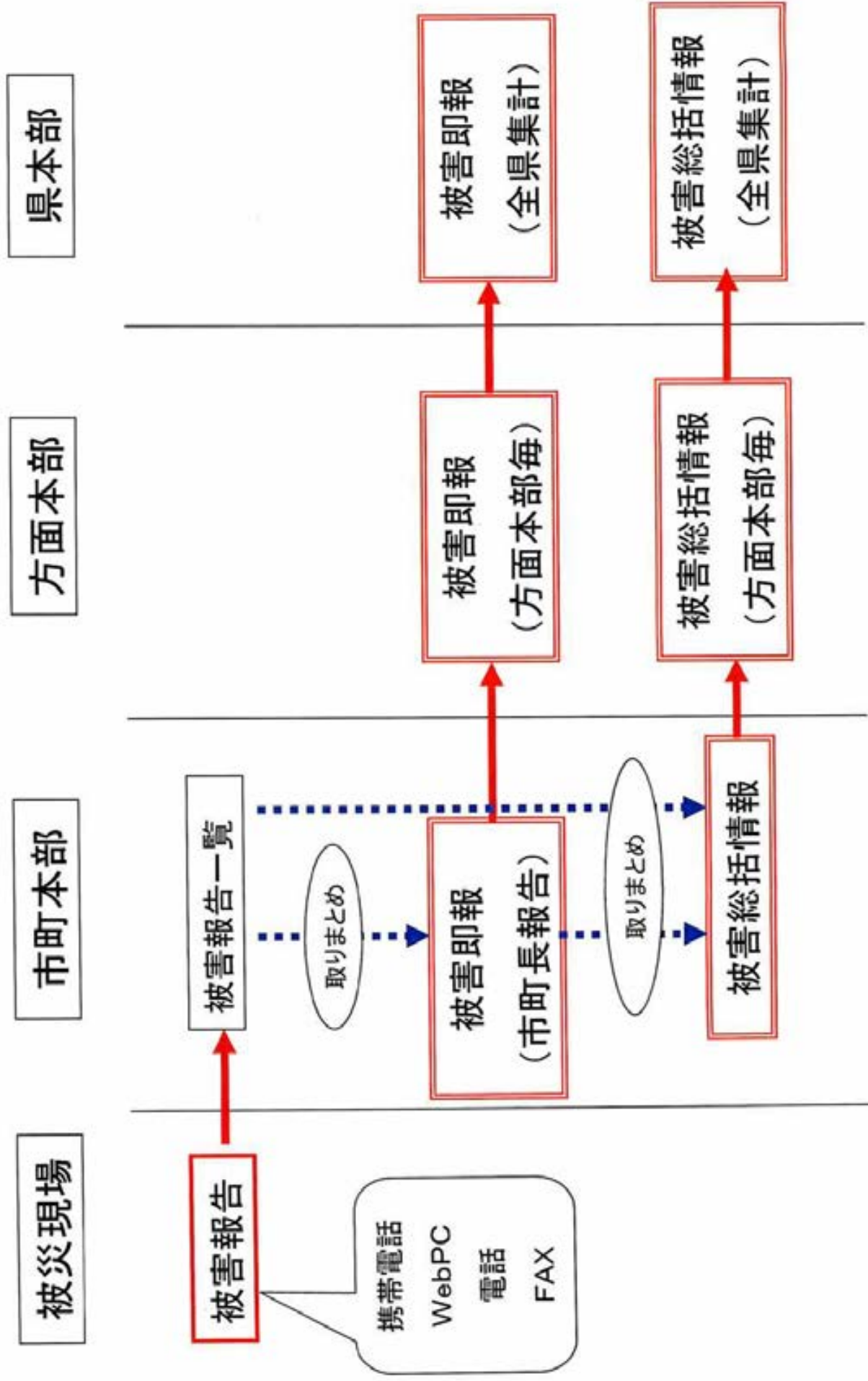
静岡県防災管内図



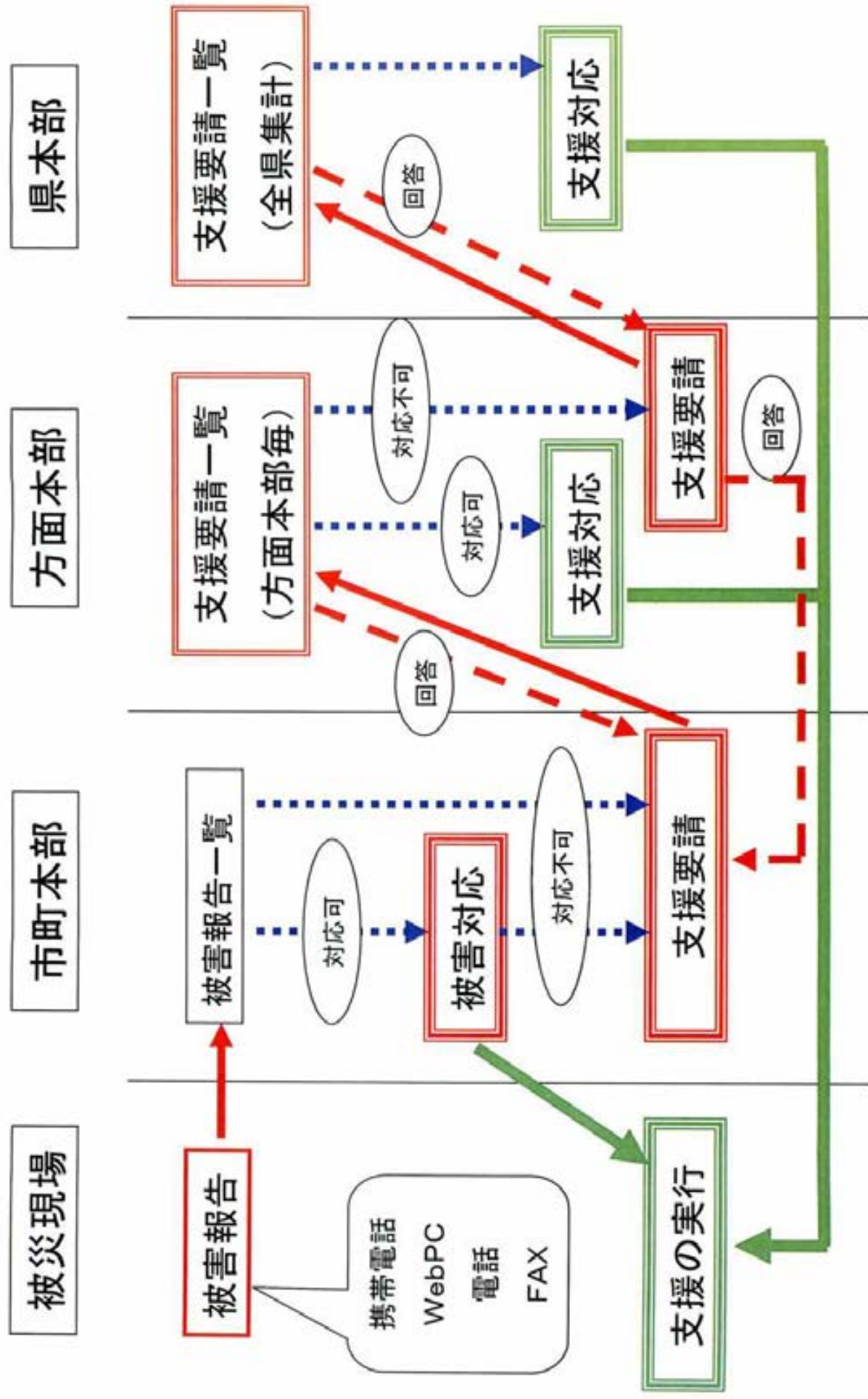
静岡県防災体制の概要



被害報告 情報フロー



支援要請 情報フロー



備える習慣、めざそう滅災。静岡県危機管理部

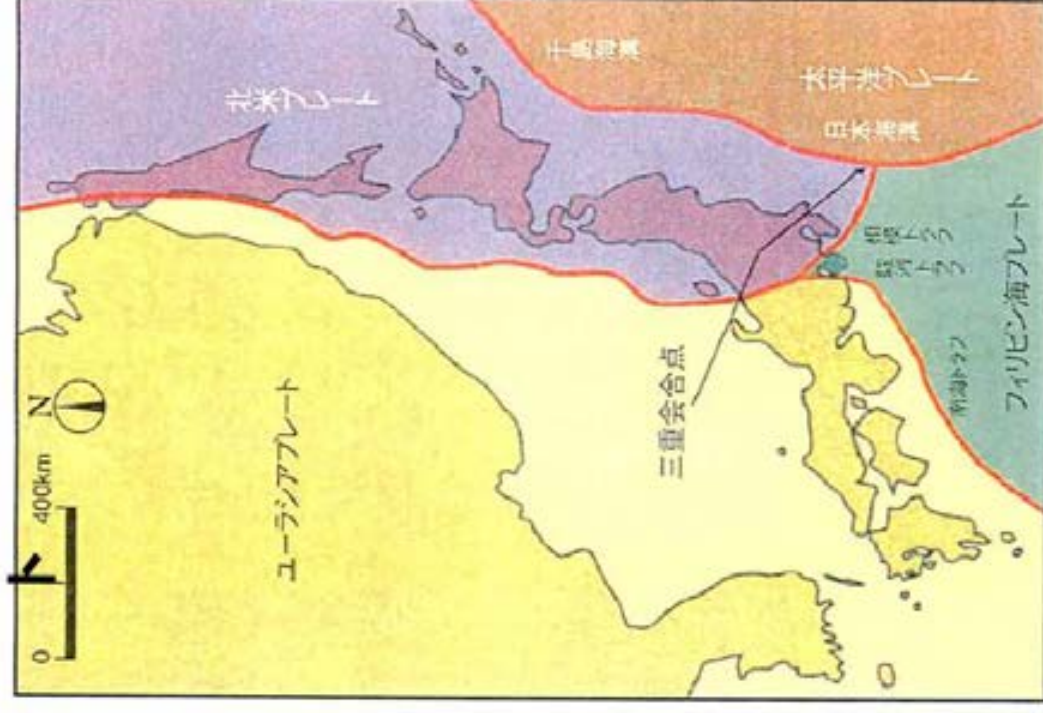
東海地震の想定震源域

「東海地震」の想定震源域



(気象庁による)

日本付近のプレート



(瀬野徹三氏による)

東海地震は 「都市直下型の海溝型巨大地震」

静岡県民の生活圏の
ほぼ全域が
震度6強～7の大きな揺れに

本震直後から
激しい余震も多発

沿岸では地震直後から
大津波が襲来

静岡県内全域が
同時多発 広域激甚災害
に見舞われる

- ・ 内陸直下型の地震である阪神・淡路大震災では10数秒程度の短時間の激しい揺れであった。

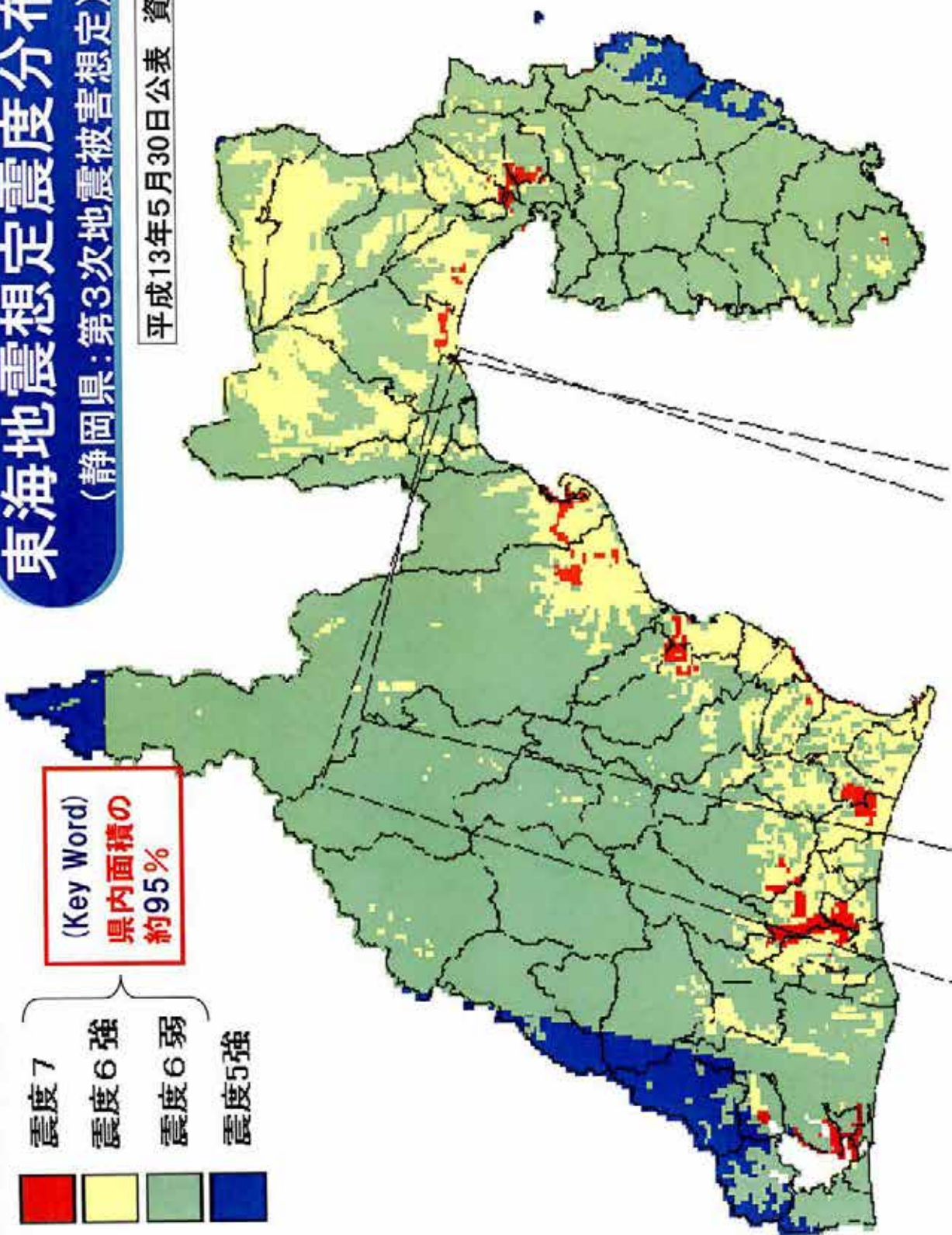
- ・ 海溝型の巨大地震である東海地震では、激しい揺れは1分程度(地盤が軟弱であればそれ以上)続く。

備える習慣、めざそう減災。静岡県危機管理部

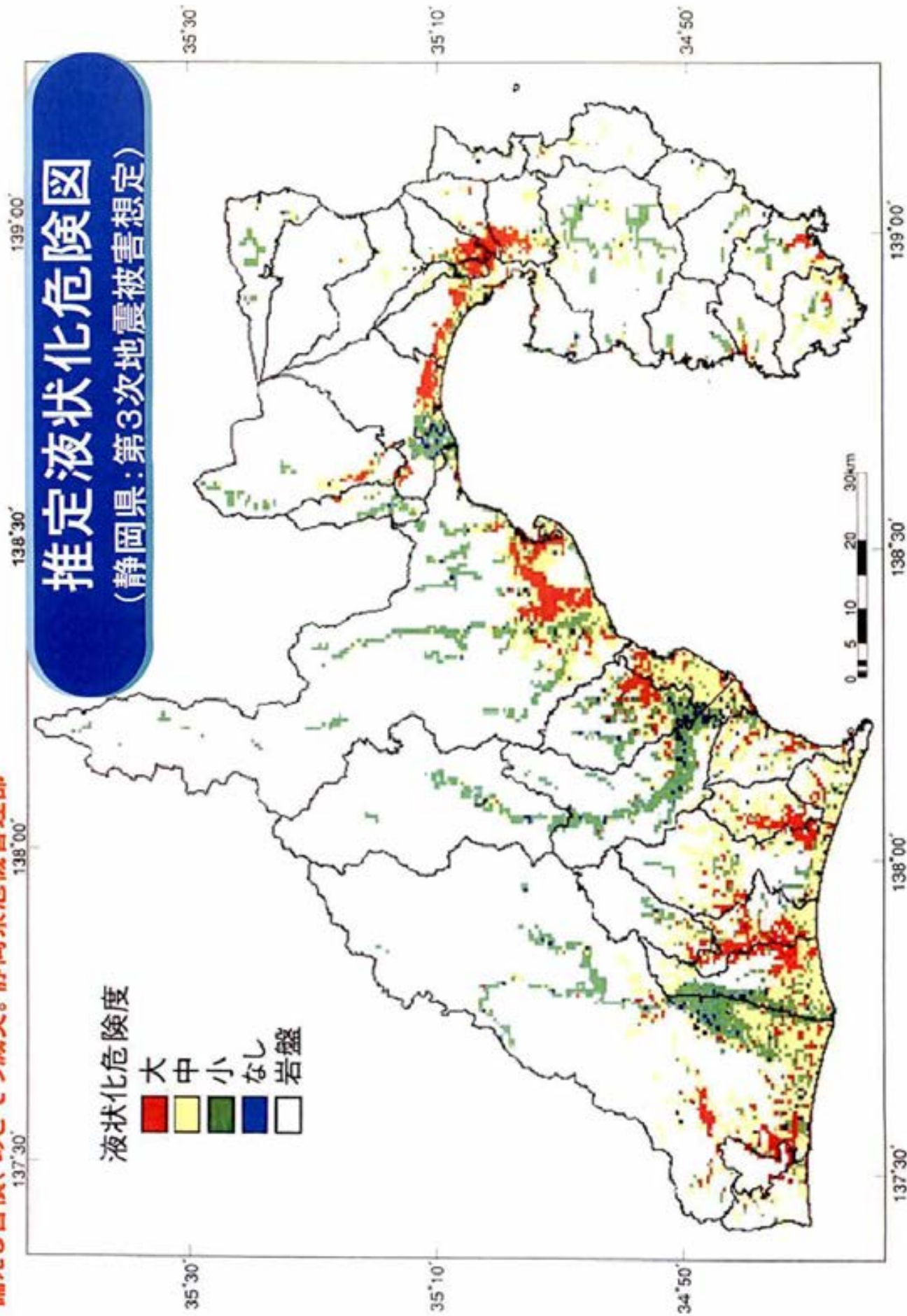
東海地震想定震度分布図

(静岡県: 第3次地震被害想定)

平成13年5月30日公表 資料



備える習慣、めざそう減災。静岡県危機管理部



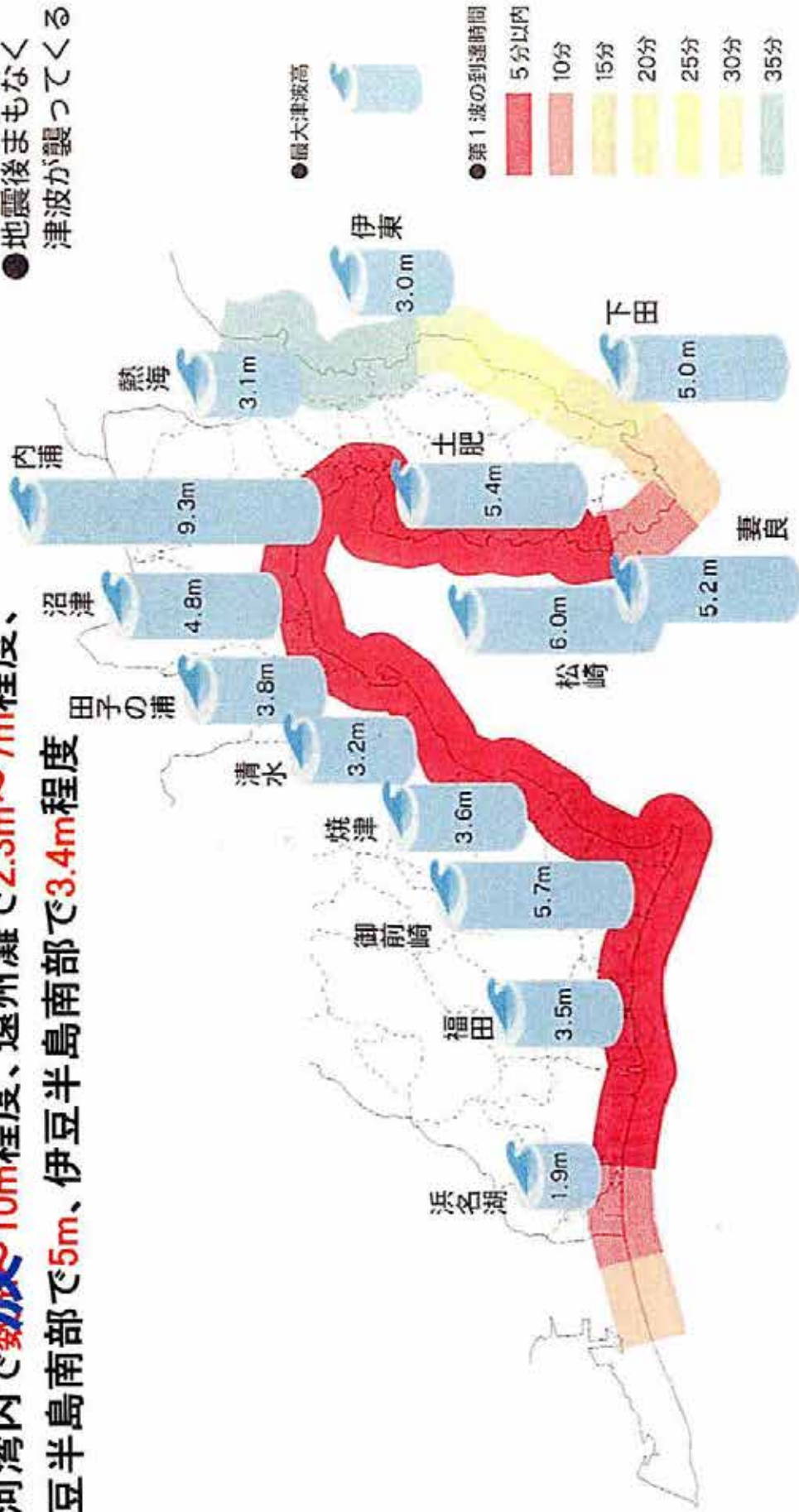
備える習慣、めざそう減災。静岡県危機管理部

東海地震で想定される津

駿河湾内で**波**10m程度、遠州灘で**2.3m~7m**程度、

伊豆半島南部で**5m**、伊豆半島南部で**3.4m**程度

●地震後まもなく
津波が襲ってくる



東海地震で想定される山・崖崩れ

- ・山・崖崩れは、ほぼ全県に分布、地震時には崩壊の危険性あり
- ・地すべりの危険箇所、大規模崩壊危険箇所は山間部に多く分布
- ・急傾斜地危険箇所は市街地近くにも多く分布
- ・山・崖危険箇所(約6,450箇所)のうち、崩壊の危険性の高い箇所(Aランク)は約1,950箇所であり、全体の約30%

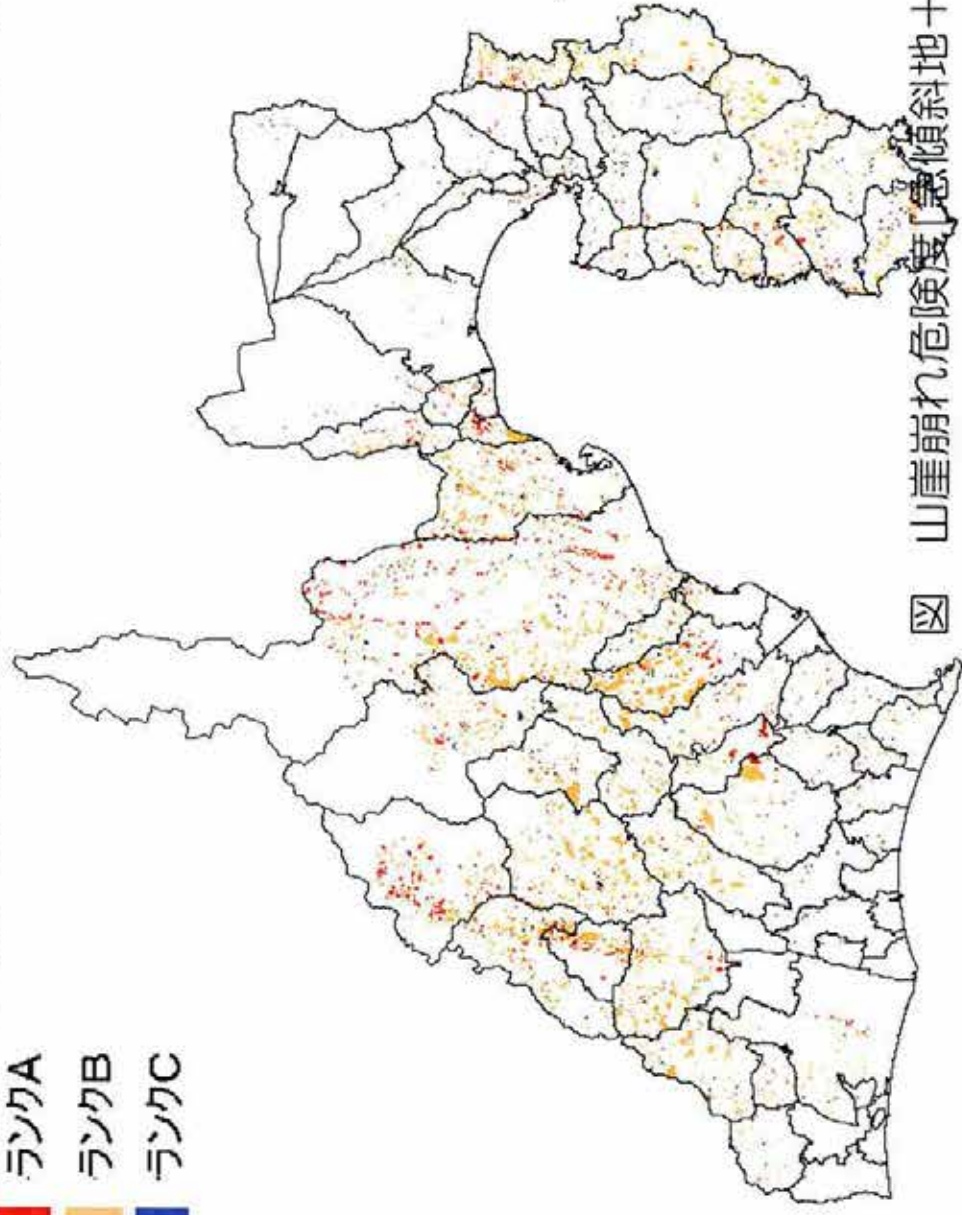


図 山崖崩れ危険度[急傾斜地+地すべり+大規模]

備える習慣、めざそう減災。静岡県危機管理部

東海地震の被害想定

平成13年5月に発表した第3次被害想定

地震の規模：マグニチュード8程度

対象人口：3,737,360人

対象建築：1,528,349棟

| | 被害区分 | 予知なし | 予知あり |
|------|------|----------|----------|
| 人的被害 | 死者 | 5,851人 | 1,470人 |
| | 重傷者 | 18,654人 | 3,122人 |
| 建物被害 | 大破 | 192,450棟 | 140,801棟 |
| | 中破 | 294,846棟 | 309,174棟 |

人的被害：被害が最大となる冬朝5時

建物被害：被害が最大となる冬18時

8月11日に発生した駿河湾の地震(M6.5)

- 最大震度 震度6弱 ・ 震源地 駿河湾
 - 発生日時 平成21年8月11日 ・ 深さ 23km
- 午前 5時7分

• 被害の概要

【人的被害】

- 死者 1名
- 負傷者 311名(うち重症者18名)

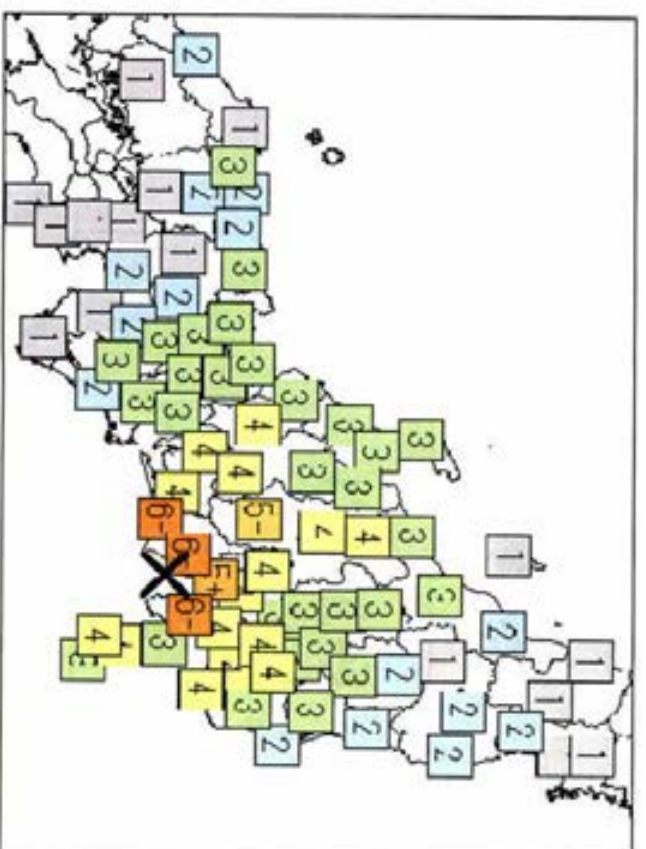
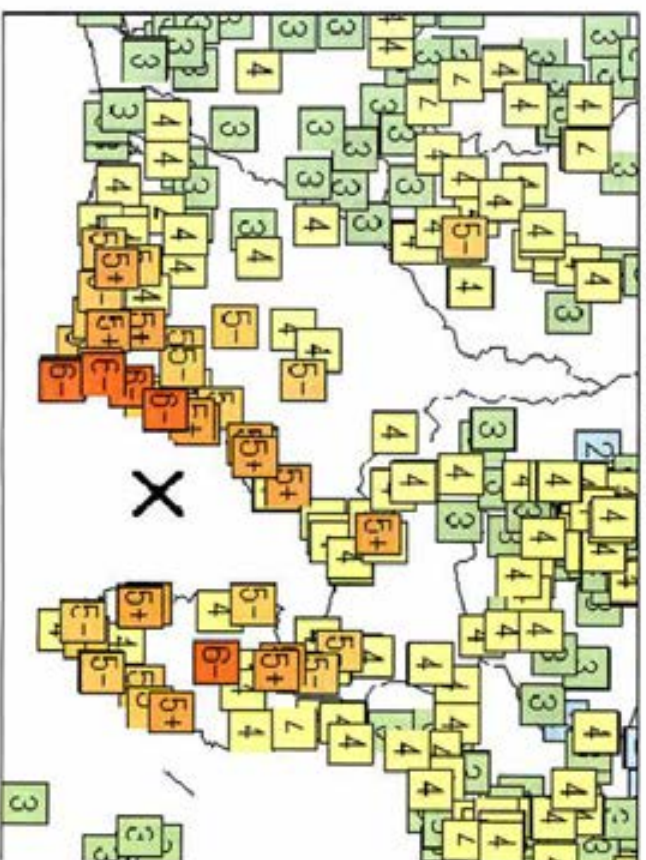
【住家被害】

- 半壊 6棟
- 一部損壊 8,451棟
- ブロック塀 207箇所



震度分布図

焼津市宗高、伊豆市市山、牧之原市相良、牧之原市静波、御前崎市御前崎及び御前崎市白羽で震度6弱を観測したほか、東北地方から中国・四国地方の広い範囲で震度5強から1を観測。県内では全域で震度3以上を観測



※9月11日静岡地方気象台発表

被害の概要（ライフライン）

| 機 関 | 被 害（最大時） | 復旧の状況 |
|------|---------------------|----------------|
| 上水道 | 11市町2団体 約72,000戸で断水 | 8/13 13時00分 復旧 |
| 電 気 | 約9,500戸で停電 | 8/11 13時00分 解消 |
| 都市ガス | 静岡ガス管内でガス漏れ4世帯 | 8/11 09時30分 解消 |
| 携帯電話 | 通話規制50%、7局停電 | 8/11 17時50分 復旧 |

被害の概要（鉄道・道路）

・鉄道被害

| 機関 | 被害（最大時） | 復旧の状況 |
|------|--------------------------|-------------|
| JR東海 | 新幹線、在来線で運行を中止、一部電車運 休 | 8月11日中に運転再開 |
| 私鉄各社 | 県内6社、一時運行を中止、一部電車運休 | 8月11日中に運転再開 |

・道路被害

| 区分 | 被害（最大時） | 復旧の状況 |
|-----------------------|--|--|
| 東 高 速 道 路 | 地震直後、東京IC～豊川ICが通行止 上り 静岡IC～袋井IC 下り 静岡IC～菊川IC | 上り 8/16 0時 全線開通 下り 8/13 0時 全線開通 |
| 国 道 | ・136号 西伊豆町築地 落石 ・414号(旧道) 崩土 | 8/11 落石除去 復旧 8/11 崩土除去 現在通行止 |
| 県 道 | ・(主)伊東西伊豆線 伊豆市国士峠 路肩決壊 ・(主)沼津土肥線 伊豆市小土肥 斜面崩壊 ・(一)浜岡菊川線 御前崎市朝比奈 路面クラック ・(一)御前崎港堀野新田線 御前崎市上岬 路面に亀裂 ・(一)椋原金谷線 島田市切山 路肩損傷 | 8/11 全面通行止 8/11 片側交互通行 8/12 片側交互通行 8/11 片側交互通行 8/11 片側交互通行 |

※ 県管理道路は最大14路線17箇所で通行止、現在1路線で通行止、5路線で片側交互通行

被害の概要（港湾・漁港）

| 名称 | 主な被害（最大時） | 復旧状況 |
|------------------|-----------------------|------------------------------|
| 相良港 | 南物揚場 エプロン沈下 害 | 他2施設被 南物揚場は使用不可 |
| 土肥港 | 大藪第2物揚場 エプロン沈下 | |
| 御前崎港 | 西埠頭1・2号岸壁 エプロン沈下 害 | 他2施設被 |
| 田子港 | -5mエプロン部 沈下 害 | 他1施設被 |
| 焼津漁港 | 外港北岸壁 エプロン沈下 | 他16施設被害 応急復旧及び安全対策を講じて使用可 |
| 大井川港 (焼津市管理) | 前浜3号物揚場 エプロン沈下 害 | 他1施設被 |
| 吉佐美漁港 (下田市管理) | 臨港道路 山側法面前壊 | |

台風9号に伴う集中豪雨災害による小山町災害

ライフライン被害状況

電力：一時、一部地域で停電

水道：一時1500世帯で断水、その後孤立地域で数日断水

鉄道：御殿場線で運休、一時運転見合わせ

東名高速道路：9/8 14:00過ぎから大井松田IC～沼津ICの上下線で大雨により通行止。9/9 11:00過ぎ復旧。

国道246号：上下線で土砂崩れの為、9/15 24:00まで

国道138号：大雨により通行止。その後土砂流出の応急復旧の為一時通行止
町道の交通規制 最大24箇所

台風9号に伴う集中豪雨災害による小山町災害

被害状況

平成22年10月8日(金)15:00現在

| | | | | | |
|---------|----|-------|----|------|------|
| 住宅全壊 | 6 | その他床上 | 11 | 河川被害 | 12 |
| 大規模半壊 | 7 | 床下浸水 | 94 | 倒木 | 6 |
| 半壊 | 18 | その他床下 | 13 | 土嚢要請 | 24 |
| 床上浸水 | 14 | 土砂崩れ | 92 | 通行止 | 21箇所 |
| その他全壊 | 8 | 水路被害 | 32 | | |
| その他大模半壊 | 2 | 護岸決壊 | 14 | | |
| その他半壊 | 6 | 道路崩落 | 29 | | |

市町担当者用

被害総括

被害即報一覧 (SBS)

市町向けメインメニュー

・被害報告

被害報告一覧

被害報告入力

被害即報一覧 (4号様式その1)

被害即報入力 (4号様式その1)

被害総括情報一覧 (4号様式その2)

被害総括情報入力 (4号様式その2)

・支援要請

支援要請一覧

支援要請入力

・道路状況報告

道路状況報告一覧

・避難所、救助所、ヘリポート

ヘリポート報告一覧

ヘリポート報告入力

避難所報告一覧

避難所報告入力

被害総括一覧

Force.com Sandbox: Dev 静岡県防災システム

静岡県 ユーザヘルプ & トレーニング

すべて検索... 検索 オプション...

静岡県 市町アドミン向けメインメニュー 通報所履歴 被害監視モニタ 被害確定入力 本部設置・通報結合監視

被害総括情報 (1ページ目) 新規被害総括情報 所有者の変更

新規ビューの作成 | 更新 A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 | すべて

| アクション | 被害総括情報 | 人的-死者 | 人的-不明者 | 人的-負傷... | 人的-負傷... | 火災発生... | 火災発生... | 火災発生-そ... |
|----------------------------------|--------|-------|--------|----------|----------|---------|---------|-----------|
| <input type="checkbox"/> 編集 削除 | 沼津市 | 10 | 3 | 1,005 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| <input type="checkbox"/> 編集 削除 | 沼津市 | 2 | 20 | 30 | 40 | 245 | 250 | 255 |
| <input type="checkbox"/> 編集 削除 | 熱海市 | 2 | 5 | 1 | 101 | | | |

自分の担当市町名を選択してください

1-3 / 3 0 選択済み

前へ次へ

ページ 1 / 1

被害総括入力

被害総括情報の編集

保存 保存 & 新規 キャンセル

共通情報

被害総括情報名
報告市町
報告日時 [2011/02/15 14:11]
災害情報
確定報フラグ
確定報バージョン

※ : 必須情報

被害状況(人的被害)

人的-死者
人的-不明者
人的-負傷者(重傷)
人的-負傷者(軽傷)

被害情報の数値を入力、修正してください

被害状況(住家被害)

住家-全壊
住家-半壊
住家-一部破損
住家-床上浸水
住家-全壊(世帯)
住家-全壊(人)
住家-半壊(世帯)
住家-半壊(人)
住家-一部破損(世帯)
住家-一部破損(人)
住家-床上浸水(世帯)
住家-床上浸水(人)

支援要請

被害報告

被害報告一覧

被害即報一覧(4号様式その1)

被害総括情報一覧(4号様式その2)

支援要請

支援要請一覧

支援要請入力

道路状況報告

道路状況報告一覧

支援要請一覧画面へ

支援要請入力画面へ

救助所報告一覧

救助所公開一覧

救助所報告入力

SBS_VF_CPMaintMenu SBS_CL_CPMaintMenu Controller

支援要請入力

支援要請の編集
新規支援要請

このページのヘルプ

保存 保存 & 印刷 キャンセル

支援要請の編集

支援要請

| | | | |
|------------|--------------------------|------------------|----------------------|
| 支援要請区分 | 市町名 | 市役 (空欄) | 選択 |
| 支援要請事業名 | 選択 | | |
| その他の場合の名称 | 選択 | | |
| 事業が発生した地域等 | 発生日時 | 2011/02/18 15:44 | { 2011/02/18 15:44 } |
| 確認済(教員氏) | <input type="checkbox"/> | | |

支援回答

| | | |
|-----------|----|----|
| 市町担当者！ | 選択 | 選択 |
| 方面交付金！ | 選択 | 選択 |
| 方面対応！ | なし | なし |
| 方面本部回答！ | 選択 | 選択 |
| 県本部交付金！ | 選択 | 選択 |
| 県対応！ | なし | なし |
| 総務結果！ | 選択 | 選択 |
| 方面本部への回答！ | 選択 | 選択 |

支援要請一覧

salesforce ヘルプ & トレーニング 時間外勤務システム

ホーム 市町アトランナインメニュー 運営監視モニター **新規支援要請** 所有者の変更

新規メニューの作成 | 編集 | 削除 | 再入力更新

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | その他 | **すべて**

アクション 支援No. 支援要請区分 支援要請専業名 事業が発生した... 確認済(未償元) 市町発信者1 方面対応1 方面本部回書1
 編集 | 削除 SHEN-0000000001 物資(食料) 食料を20人分くら... 藤枝市青島 藤枝 太郎 中部 商部 県本部対応 失行で10人分を

1-1/1 0 選択済み

市町前へ戻す

ページ 1 / 1

市町支援要請(全て)を選択

支援要請確認

The screenshot shows a Salesforce interface with a confirmation dialog box. The dialog box is titled "編集 確認済(免償元)" and contains a text input field with the value "確認済(免償元)" and a checked checkbox. Below the input field are two buttons: "保存" and "キャンセル".

The background interface includes a navigation bar with the Salesforce logo, a search bar, and a top menu with items like "ホーム", "市場アテンションセンター", and "ヘルプ". The main content area shows a list of support requests with columns for "支店", "支店名", "支店種別", "支店種別", "支店種別", and "支店種別". The current record is "支店種別" with a value of "支店種別".

方面本部担当者用

被害総括

110 大田区

大田区土曜祭

170614

1 (実災害)土曜テスト災害20110215

2011/02/15 14:59

[災害再選択](#)

県本部メニュー

・監視・確定報

被害状況監視画面

本部改訂・避難経路監視画面

被害情報確定(確定報)

・一覧

被害即報一覧

被害即報一覧(SBS)

市町向けメインメニュー

・被害報告

被害報告一覧

被害即報一覧(4号様式その1)

被害報告入力

被害即報入力(4号様式その1)

被害監視モニタ-

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------|----|------|----|------|----|----|----|----|------|------|------|---|---|---|---|---|------------------------|
| 4 | 南伊豆町 | 買渡 | 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前方更新日時(上) 最終更新日時(下) |
| | | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 5 | 松崎町 | 買渡 | 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前方更新日時(上) 最終更新日時(下) |
| | | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 6 | 西伊豆町 | 買渡 | 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前方更新日時(上) 最終更新日時(下) |
| | | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 7 | 沼津市 | 東部 | 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前方更新日時(上) 最終更新日時(下) |
| | | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | 2011/02/15 15:48 |
| 8 | 熱海市 | 東部 | 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前方更新日時(上) 最終更新日時(下) |
| | | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 9 | 三島市 | 東部 | 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前方更新日時(上) 最終更新日時(下) |
| | | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 10 | 富士宮市 | 東部 | 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前方更新日時(上) 最終更新日時(下) |
| | | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |

報告のあった市町の被害数値が変わったことを確認して下さい

支援要請

被害報告

被害報告一覧

被害即報入力(4号様式その1)

被害総括情報入力(4号様式その2)

支援要請

支援要請一覧

支援要請入力

道路状況報告

道路状況報告一覧

支援要請一覧画面へ

支援要請入力画面へ

避難所公開一覧

救護所報告一覧

SBS_VF_CPFMainMenu SBS_CL_CPFMainMenuController

支援要請一次回答

| | |
|-----------------------------------|--|
| 市町名 | <input type="text"/> |
| 支援要請事業名 | <input type="text" value="支料を20人分ください。"/> |
| その他の場合の名称 | <input type="text"/> |
| 事業が発生した地域等 | <input type="text" value="津波被害者"/> |
| 発症日時 | <input type="text" value="2011/02/18 15:45"/> [2011/02/18 15:45] |
| 確認済(教団元) <input type="checkbox"/> | |

支援回答

| | |
|-----------|--|
| 市町発信者！ | 返信支援 |
| 方面受付者！ | 中西 真野 |
| 方面対応！ | 県本部対応 |
| 方面本部回答！ | <input type="text" value="先方で10人分を送ります。預りは県本部生増室に要請中。"/> |
| 県本部対応者！ | |
| 県対応！ | --なし--- |
| 期望結果！ | <input type="text"/> |
| 方面本部への回答！ | <input type="text"/> |
| 市町への回答！ | <input type="text"/> |

支援要請二次回答

| | |
|-----------------------------------|---|
| 市町名 | <input type="text" value="青島"/> |
| 支援要請事案名 | <input type="text" value="食料を20人分ください。"/> |
| その他の場合の名称 申請が発生した地域等 | <input type="text"/> |
| 受理日時 | 2011/02/18 15:48 [2011/02/18 15:53] |
| 確認済(受信元) <input type="checkbox"/> | |

支援回答

| | |
|-----------|--|
| 市町発信者↓ | <input type="text" value="青島本部"/> |
| 方面受付者↓ | <input type="text" value="中部 飯野"/> |
| 方面対応↓ | <input type="text" value="対応 (印刷) 済み :"/> |
| 方面本部回答↓ | <input type="text" value="先行で10人分を送ります。残りは県本 部生活用品に要請中。"/> |
| 県本部受付者↓ | <input type="text" value="県本部 生活課 米田"/> |
| 県対応↓ | <input type="text" value="対応 (印刷) 済み :"/> |
| 処理結果↓ | <input type="text" value="アルファ米10人分出庫"/> |
| 方面本部への回答↓ | <input type="text" value="アルファ米10人分送ります。"/> |
| 市町への回答↓ | <input type="text" value="アルファ米10人分を青島地区に送りま す。"/> |

保存 保存 & 印刷 キャンセル

県本部担当者用

被害総括

10 大田区

大田区工務部

10000

1 (実災害)土屋テスタ災害20110215

2011/02/15 14:59

災害再選択

県本部メニュー

・監視・確定報

被害状況監視画面

本部設置・監視開始監視画面

被害情報確定(確定報)

・一覧

被害即報一覧

被害即報一覧(SBS)

市町向けメインメニュー

・被害報告

被害報告一覧

被害即報一覧(4号様式その1)

被害報告入力

被害即報入力(4号様式その1)

被害監視七二タ

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------|---------|----|------|----|----|----|----|------|------|------|---|---|---|---|---|------------------------|
| 4 | 南伊豆町 | 被災 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前回更新日時(上) 最新更新日時(下) |
| | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 5 | 松崎町 | 被災 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前回更新日時(上) 最新更新日時(下) |
| | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 6 | 西伊豆町 | 被災 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前回更新日時(上) 最新更新日時(下) |
| | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 7 | 沼津市 | 東部 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前回更新日時(上) 最新更新日時(下) |
| | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | 2011/02/15 15:48 |
| 8 | 熱海市 | 東部 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前回更新日時(上) 最新更新日時(下) |
| | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 9 | 三島市 | 東部 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前回更新日時(上) 最新更新日時(下) |
| | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |
| 10 | 富士宮市 | 東部 更新あり | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 前回更新日時(上) 最新更新日時(下) |
| | | | 死者 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | - | - | - | - | - | - |

報告のあった市町の被害数値が変更されたことを確認して下さい

支援要請

被害報告

- 被害報告一覧
- 被害即報一覧(4号様式その1)
- 被害総括情報一覧(4号様式その2)

支援要請

- 支援要請一覧
- 支援要請入力

道路状況報告

- 道路状況報告一覧

遊園所、教護所

- 遊園所公園一覧
- 教護所報告一覧

支援要請一覧画面へ

支援要請入力画面へ


585_VF_CPMaintMenu 585_CL_CPMaintMenuController

支援要請入力

| | |
|-------------------------|---|
| 市町名 | <input type="text" value="高知県"/> |
| 支援要請事業名 | <input type="text" value="食料を20人分ください。"/> |
| その他の場合の名称 事業が発生した地域等 | <input type="text"/> |
| 発信日時 | 2011/02/18 15:48 |
| 確認済(受信元) | <input type="checkbox"/> 【2011/02/18 15:56】 |

| | |
|-----------|--|
| 市町発信者↓ | <input type="text" value="高知県"/> |
| 方面受付者↓ | <input type="text" value="中野 国彦"/> |
| 方面対応↓ | <input type="text" value="県本部対応"/> |
| 方面本部回答↓ | <input type="text" value="先行で10人分を送ります。残りは県本部対応します。"/> |
| 県本部受付者↓ | <input type="text" value="県本部 佐藤 米田"/> |
| 県対応↓ | <input type="text" value="対応中"/> |
| 処理結果↓ | <input type="text" value="アルファ米10人分出庫"/> |
| 方面本部への回答↓ | <input type="text" value="アルファ米10人分送ります。"/> |
| 市町への回答↓ | <input type="text"/> |

支援要請一覧

salesforce  すべて検索 ヘルプ & トレーニング 時間稼働システム

ホーム 市町アドミン向けメインメニュー 検索監視モニター 検索

県本部支援要請 (要請依頼) 新規支援要請 所有者の変更

ABC|D|E|F|G|H|I|J|K|L|M|N|O|P|Q|R|S|T|U|V|W|X|Y|Z|ア|カ|ク|キ|サ|タ|ナ|ハ|マ|ヤ|ラ|ワ|その他|すべて

| アクション | 支援No. | 市町名 | 支援要請区分 | 支援要請事案名 | 事案が発生した... | 確認済(発信元) | 市町発信者 | 方面受付者 | 方面対応 |
|--------------------------|-------|-----|--------|--------------|------------|----------|-------|-------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 青島 | 物資(食料) | 食料を20人分くだ... | 青島市青島 | 青島 | 中部 西部 | 中部 西部 | 県本部対応 |

1-1/1 | 0 選択済み

県本部支援要請 (要請依頼)

県本部支援要請 (要請依頼) を選択

静岡県防災システム 操作説明書

2011/02/18

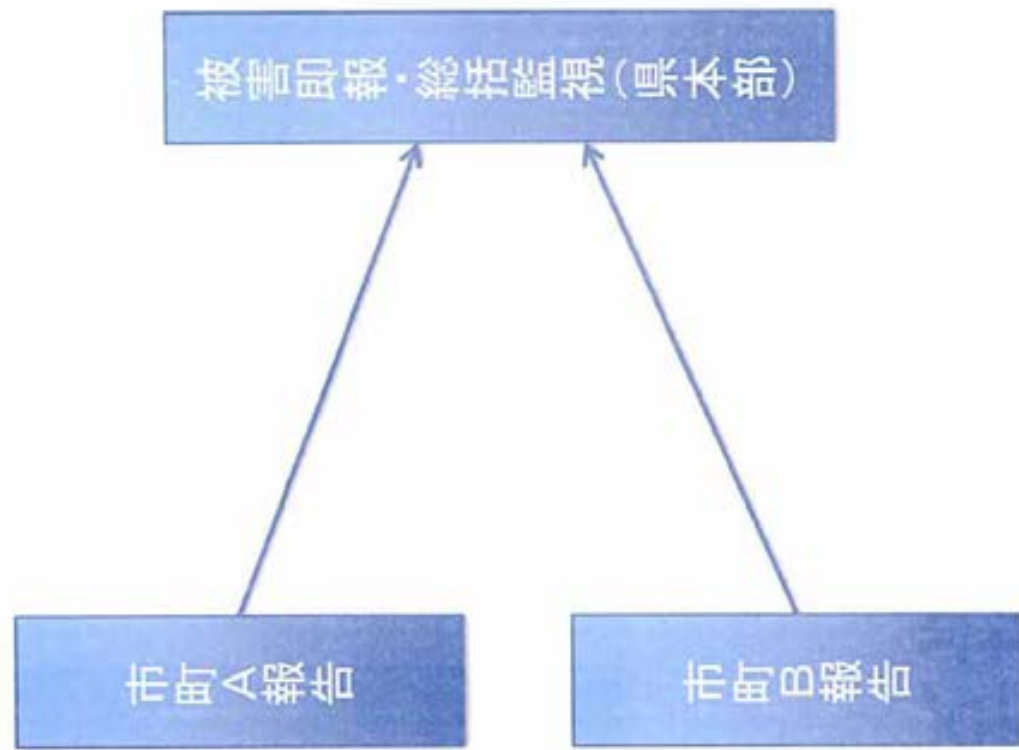
ログイン情報

URL <https://test.salesforce.com/>

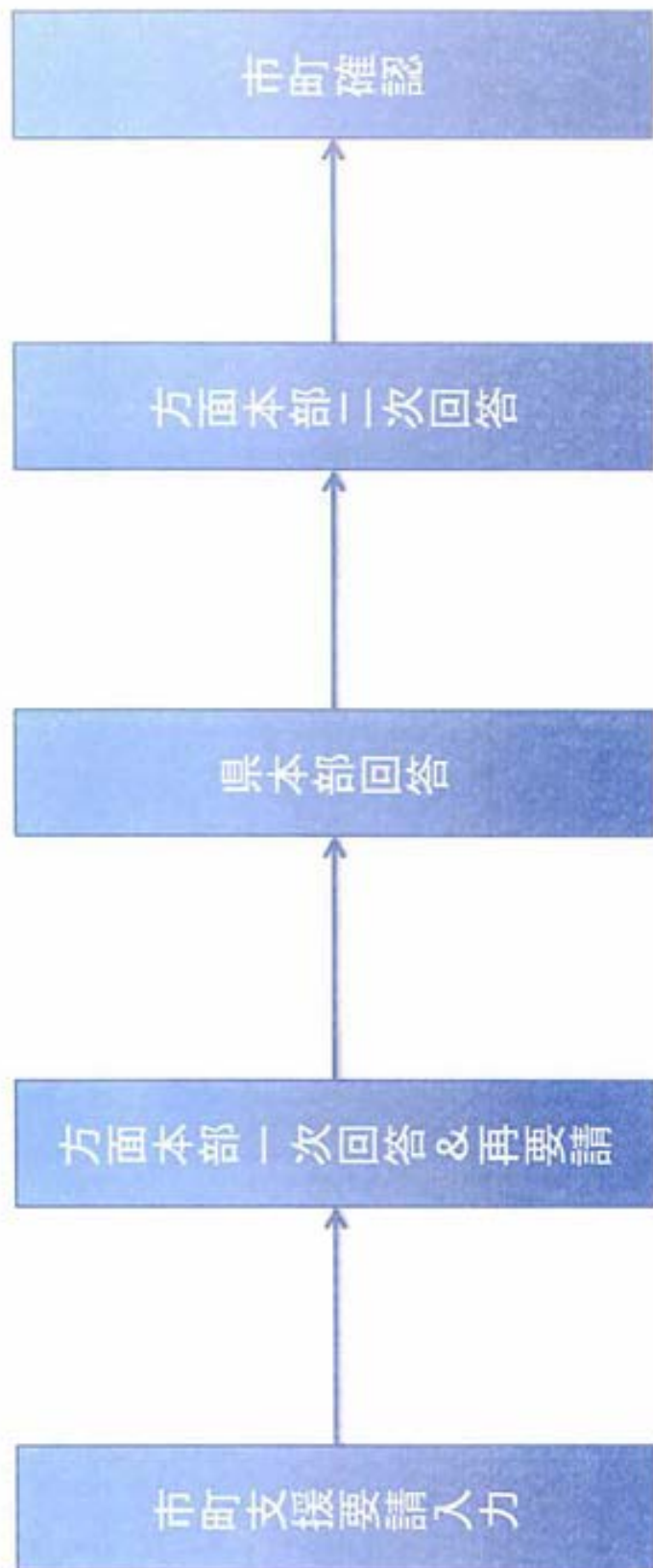
ログインID `test@shizuoka.bousai.demo2`
パスワード `bousai1234`



被害総括の流れ



支援要請の流れ



B

静岡大学操作シナリオ 市町

2011/02/18

被害総括入力 D

| | |
|------------|------------------|
| 報告市町 | 下田市 |
| 報告日時 | 2011/02/18 11:15 |
| 被害状況(人の被害) | |
| 人の-死者 | 3 |
| 人の-不明者 | 20 |
| 人の-負傷者(重傷) | 6 |
| 人の-負傷者(軽傷) | 53 |
| 被害状況(住家被害) | |
| 住家-全壊 | 6 |
| 住家-半壊 | 287 |
| 住家-一部破損 | 20 |
| 住家-床上浸水 | 3 |
| 住家-床下浸水 | 63 |

支援要請入力 D

| | |
|------------|---|
| 支援要請 | |
| 報告市町 | 下田市 |
| 支援要請区分 | 共通 |
| 支援要請事案名 | 津波により、300棟以上が家屋倒壊。沿岸部の被害は確認できていない。生き埋め者が数十名いる模様。また、十数名が津波に流され、20名程度が骨折等怪我をしている。救出救助要員を要請する。また、海上の搜索を要請する。 |
| その他の場合の名称 | 入力なし |
| 事案が発生した地域等 | 下田市東本郷、西本郷地区 |
| 発信日時 | 2011/02/18 11:00 |
| 市町発信者↓ | 下田 ペリー |
| 確認済(発信元) | チェックなし |

支援要請確認 D

| | |
|------------|------|
| 支援要請 | |
| 報告市町 | 変更なし |
| 支援要請区分 | 変更なし |
| 支援要請事案名 | 変更なし |
| その他の場合の名称 | 変更なし |
| 事案が発生した地域等 | 変更なし |
| 発信日時 | 変更なし |
| 市町発信者↓ | 変更なし |
| 確認済(発信元) | チェック |

静岡大学操作シナリオ 方面本部

2011/02/18

支援回答入力 中部方面本部 B

| 項目名 | |
|---------|----------------------------|
| 支援回答 | |
| 方面受付者↓ | 中部 二郎 |
| 方面対応↓ | 対応不可 |
| 方面本部対応↓ | 県本部へ要請する。 |
| 市町への回答↓ | 方面本部での対応が困難なため、県本部に支援要請する。 |

静岡大学操作シナリオ 方面本部

2011/02/18

中部

支援回答入力 東部方面本部 A (2)

| 項目名 | |
|---------|--------------------------|
| 支援回答 | |
| 方面受付者↓ | 東部 一郎 二郎 |
| 方面対応↓ | ガレキ対応として、重機を確保。 |
| 方面本部対応↓ | 救出救助要員は、県本部へ要請する。 |
| 市町への回答↓ | ガレキ対応については、方面本部で重機を確保する。 |

静岡大学操作シナリオ 県本部

2011/02/18

被害総括監視 A (F)

| | | | |
|------------|----------------------|--|-----|
| 種別 | 火災 | | 沼津市 |
| 報告市町 | 沼津市 | | |
| 報告日時 | 2011/02/18 11:00 (0) | | |
| 被害状況(人の被害) | | | |
| 人の-死者 | 0 | | |
| 人の-不明者 | 23 | | |
| 人の-負傷者(重傷) | 13 | | |
| 人の-負傷者(軽傷) | 53 | | |
| 被害状況(住家被害) | | | |
| 住家-全壊 | 4 | | |
| 住家-半壊 | 20 | | |
| 住家-一部破損 | 51 | | |
| 住家-床上浸水 | 0 | | |
| 住家-床下浸水 | 0 | | |

支援回答入力(県本部) A F

| 項目名 | |
|-----------|-----------------------|
| 支援回答 | |
| 県本部受付者↓ | 静岡 県太郎 |
| 県対応↓ | 対応(処理)済み |
| 処理結果↓ | 自衛隊へ要請。34連隊が対応する。 |
| 方面本部への回答↓ | 34連隊を派遣。現着予定時刻は、14:00 |

静岡大学操作シナリオ 県本部

2011/02/18

被害総括監視 B

| | |
|------------|------------------|
| 報告市町 | 静岡市 |
| 報告日時 | 2011/02/18 11:15 |
| 被害状況(人の被害) | |
| 人の-死者 | 2 |
| 人の-不明者 | 60 |
| 人の-負傷者(重傷) | 37 |
| 人の-負傷者(軽傷) | 51 |
| 被害状況(住家被害) | |
| 住家-全壊 | 5 |
| 住家-半壊 | 0 |
| 住家-一部破損 | 0 |
| 住家-床上浸水 | 0 |
| 住家-床下浸水 | 0 |

市・町の名称
↓

支援回答入力(県本部) **B**

| 項目名 | |
|------------|--|
| 支援回答 | 静岡 県次郎 |
| 県本部受付者 ↓ | |
| 県対応 ↓ | 対応(処理)済み |
| 処理結果 ↓ | 事故対応として、交通誘導員及び緊援隊へ派遣依頼。 救出救助対応として、自衛隊へ要請。 |
| 方面本部への回答 ↓ | 事故対応として、交通誘導員及び緊援隊へ派遣依頼。 救出救助対応として、自衛隊へ要請。 体制を検討中。 |

ICTを活用した防災システム検証Ⅱ

日 時：平成 23 年 3 月 9 日（水）
場 所：静岡大学大谷キャンパス内
共通教育L棟 1階情報端末室実習室5
共通教育L棟 3階 301 教室

次 第

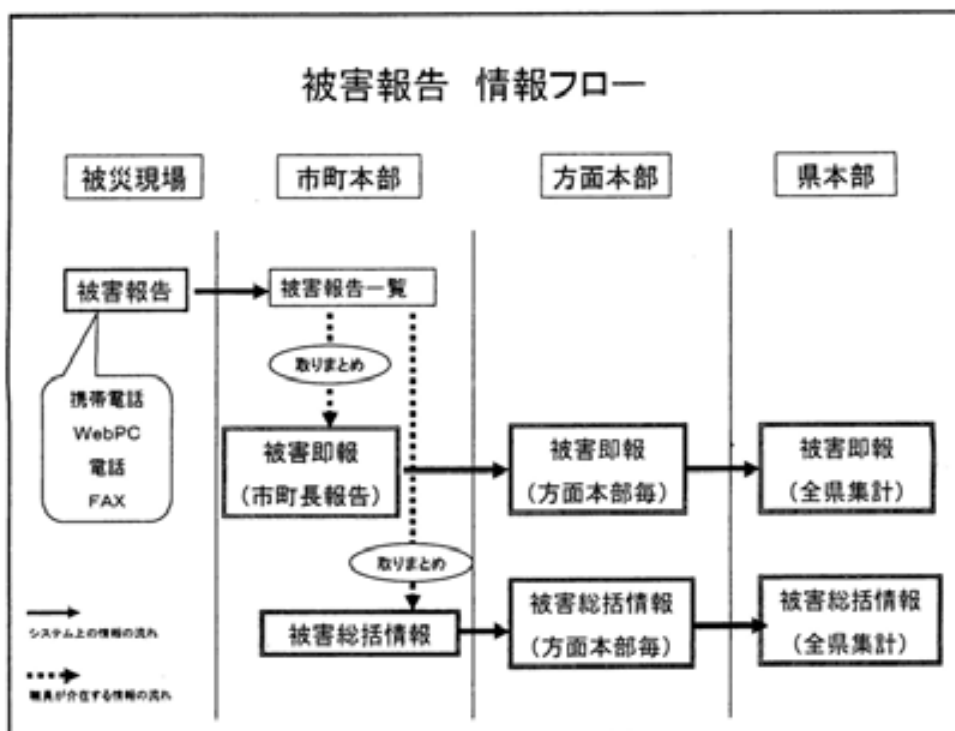
○ 主旨説明

- 1 防災システム操作演習 (13:00～14:30)
(共通教育L棟 1階情報端末室実習室5)

休 憩 (15分)

- 2 防災システム検証 (14:30～16:30)
グループワーク及びまとめ
(共通教育L棟 3階 301 教室)

(適宜休憩を入れる。)



ログイン

- URL : <https://test.salesforce.com>
- ID : test@shizuoka.bousai.drill
- Password: bousai1234

市町メインメニュー

市町

メニュー

本学図書・資料請求モニター 進級状況モニター 進級割合モニター 進級状況モニター

入力 メイン画面

入力 メイン画面

入力 進級 進級割合

入力 進級 進級割合

入力 進級 進級割合

入力 進級 進級割合

市町入力



市町入力

市町入力

市町入力

市町入力

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

新規登録状況報告

市町入力 2023

被害即報「入力」

被害即報入力画面

入力日: 2011/01/01 10:00

入力者: 山田太郎

システム番号: 10000000000000000000

入力番号: 00000000000000000000

検索条件

入力日: 2011/01/01

| 入力日 | 入力時刻 | 入力者 | 入力内容 | 入力種別 |
|------------|-------|------|------|------|
| 2011/01/01 | 10:00 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:05 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:10 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:15 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:20 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:25 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:30 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:35 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:40 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:45 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |

検索条件

入力日: 2011/01/01

| 入力日 | 入力時刻 | 入力者 | 入力内容 | 入力種別 |
|------------|-------|------|------|------|
| 2011/01/01 | 10:00 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:05 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:10 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:15 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:20 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:25 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:30 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:35 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:40 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:45 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |

Copyright © 2011 山田太郎. All rights reserved. 被害即報入力画面

被害即報「4の1作成」

検索条件

入力日: 2011/01/01

| 入力日 | 入力時刻 | 入力者 | 入力内容 | 入力種別 |
|------------|-------|------|------|------|
| 2011/01/01 | 10:00 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:05 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:10 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:15 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:20 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:25 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:30 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:35 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:40 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:45 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |


検索条件

入力日: 2011/01/01

| 入力日 | 入力時刻 | 入力者 | 入力内容 | 入力種別 |
|------------|-------|------|------|------|
| 2011/01/01 | 10:00 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:05 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:10 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:15 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:20 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:25 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:30 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:35 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:40 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |
| 2011/01/01 | 10:45 | 山田太郎 | 被害発生 | 被害発生 |

Copyright © 2011 山田太郎. All rights reserved. 被害即報入力画面

被害即報「4の1(続き)」

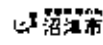


TEL 027-262-1111

119

緊急通報専用ダイヤル

027-262-1111


沼津市
027-262-1111

被害即報の種類 027-262-1111

火災通報 119

| | |
|--|--|
| <p>被害者氏名 <input type="text"/></p> <p>住所 <input type="text"/></p> <p>電話番号 <input type="text"/></p> <p>性別 <input type="text"/></p> | <p>火災原因 <input type="text"/></p> <p>火災発生時刻 <input type="text"/></p> <p>火災発生場所 <input type="text"/></p> |
|--|--|

火災の種類

火災原因


火災発生時刻

火災発生場所

被害の状況

| | |
|---|---|
| <p>被害者氏名 <input type="text"/></p> <p>性別 <input type="text"/></p> <p>年齢 <input type="text"/></p> <p>職業 <input type="text"/></p> <p>備考 <input type="text"/></p> | <p>被害者氏名 <input type="text"/></p> <p>性別 <input type="text"/></p> <p>年齢 <input type="text"/></p> <p>職業 <input type="text"/></p> <p>備考 <input type="text"/></p> |
|---|---|

被害即報「メイン画面」



TEL 027-262-1111

119

緊急通報専用ダイヤル

027-262-1111


沼津市
027-262-1111

被害即報の種類 027-262-1111

火災通報(その他)

火災原因

火災発生時刻

火災発生場所

火災の種類(その他)の119の番号

火災原因

火災発生時刻

火災発生場所

火災の種類

火災原因

火災発生時刻

火災発生場所

被害の状況

| | |
|---|---|
| <p>被害者氏名 <input type="text"/></p> <p>性別 <input type="text"/></p> <p>年齢 <input type="text"/></p> <p>職業 <input type="text"/></p> <p>備考 <input type="text"/></p> | <p>被害者氏名 <input type="text"/></p> <p>性別 <input type="text"/></p> <p>年齢 <input type="text"/></p> <p>職業 <input type="text"/></p> <p>備考 <input type="text"/></p> |
|---|---|

被害即報完成

- 報告書をPDF化して印刷する
- 問題なければ県へ報告を上げる

県「メインメニュー」

| 本県次期・若狭総合モニター | 若狭県民モニター | 若狭総合モニター | 本県民モニター |
|---------------|----------|----------|---------|
| 入力 | メイン画面 | 印刷 | 設定画面 |
| 一覧(4号様式その1作成) | | | |
| 入力 | | 印刷 | 設定欄 |
| 入力 | | 印刷 | 設定欄 |
| 入力 | | 一覧 | 設定 |

I C Tを活用した防災システム操作演習

日 時：平成 23 年 3 月 2 5 日（金）

場 所：静岡県庁別館 5 階

危機管理センター西側

次 第

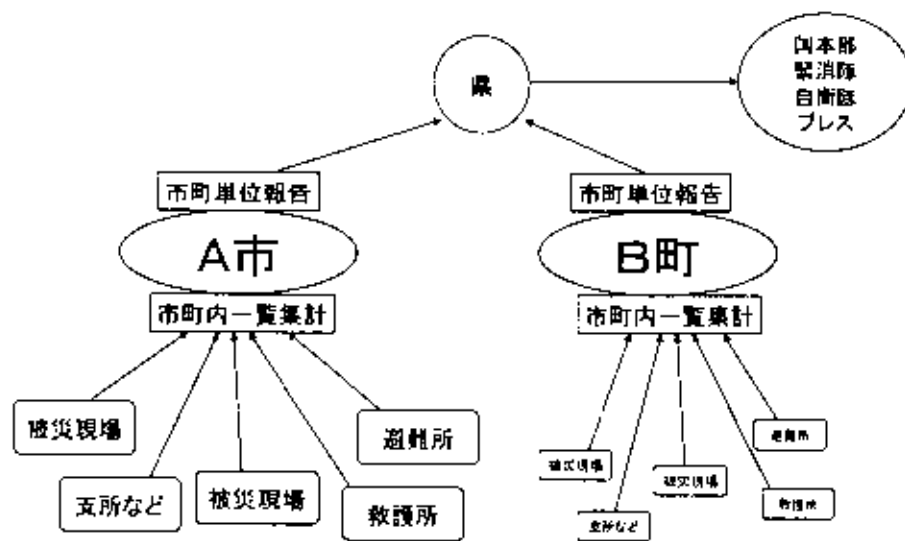
- | | | |
|---|------|---------------|
| 1 | 主旨説明 | (13:30~13:45) |
| 2 | 操作説明 | (13:45~14:30) |
| 3 | 操作演習 | (14:30~15:30) |
| 4 | まとめ | (15:30~16:00) |

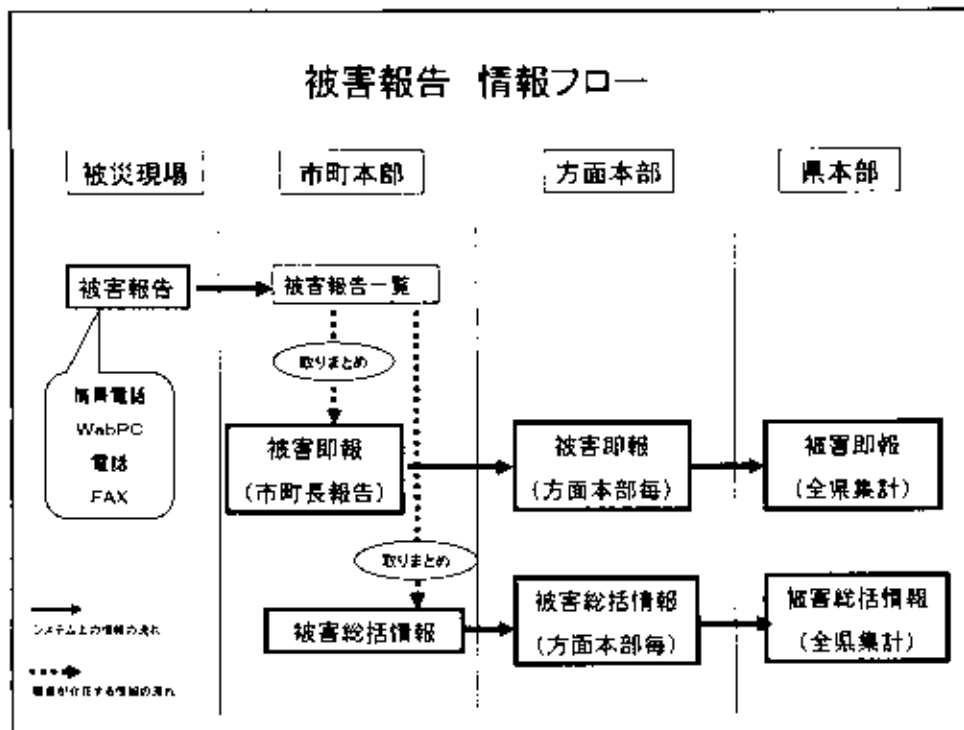
(適宜休憩を入れる。)

被害報告手順書 α 版

危機管理部

情報の流れ





ログイン

- URL : <https://test.salesforce.com>

ログインID

- 静岡県ID: shizuokaken@shizuoka.bousai.drill
- 静岡県PW: bousai1234

- 静岡市ID: test.shizuoka@shizuoka.bousai.drill
- 静岡市PW: bousai1234

- 沼津市ID: test.numazu@shizuoka.bousai.drill
- 沼津市PW: bousai1234

- 下田市ID: test.shimoda@shizuoka.bousai.drill
- 下田市PW: bousai1234

- 浜松市ID: test.hamamatsu@shizuoka.bousai.drill
- 浜松市PW: bousai1234

市町メインメニュー

| 市町 | メニュー | パスワード |
|-----|------|------------|
| 静岡県 | 静岡県 | bousai1234 |
| 静岡市 | 静岡市 | bousai1234 |
| 沼津市 | 沼津市 | bousai1234 |
| 下田市 | 下田市 | bousai1234 |
| 浜松市 | 浜松市 | bousai1234 |

広報の流れ

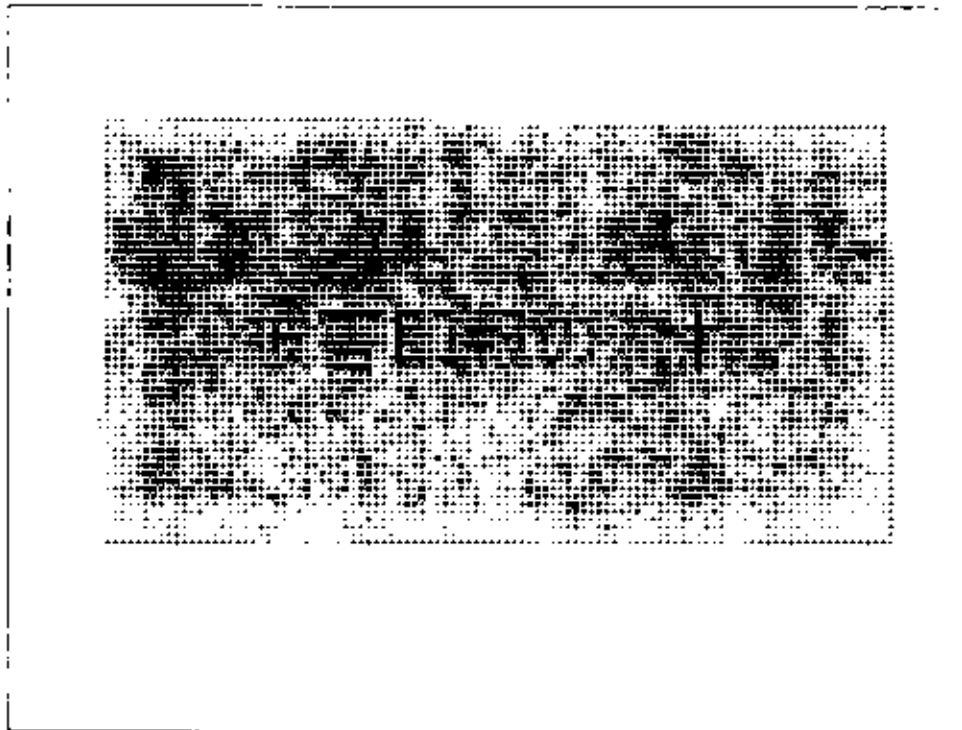
広報で資料作成

県：メイン画面から「確定報登録」後、広報から資料作成可能

現場被害報告「メイン画面」

現場被害報告「メイン画面」のスクリーンショット。画面上部には「PDF」というボタンがあり、その右側には「印刷」のボタンがある。画面中央には、被害状況に関する詳細なデータが表形式で表示されている。この表には、被害の種類、発生時刻、発生場所、被害規模、および対応状況などの項目が含まれている。また、画面下部には、被害現場の写真や動画のサムネイルが表示されている。

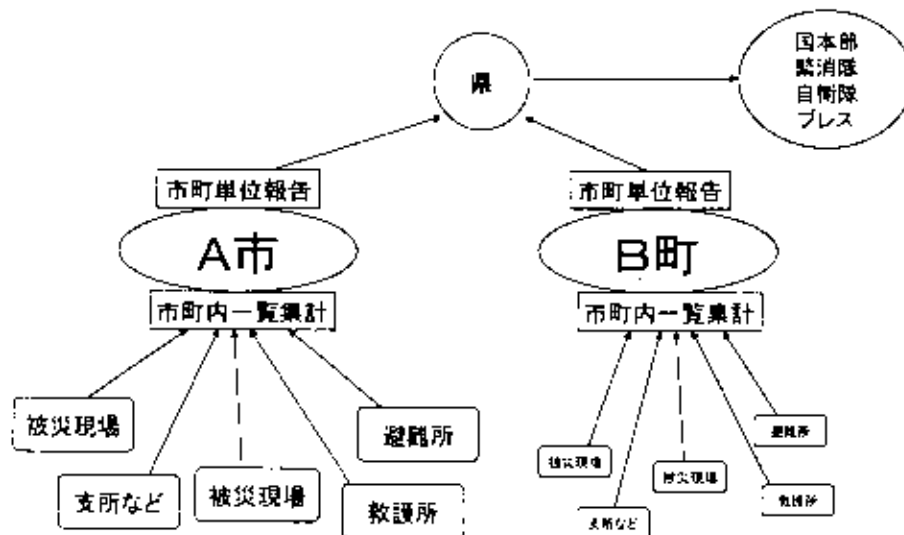
| 被害種類 | 発生時刻 | 発生場所 | 被害規模 | 対応状況 |
|------|-------|------|------|------|
| 火災 | 10:00 | 1F | 軽微 | 完了 |
| 水害 | 10:05 | 2F | 軽微 | 完了 |
| 地震 | 10:10 | 全館 | 軽微 | 完了 |
| その他 | 10:15 | 3F | 軽微 | 完了 |



避難所手順書 α 版

危機管理部

情報の流れ



市町メインメニュー

| メニュー名 | メニューID | メニュー名 | メニューID |
|-------|--------|-------|--------|
| 市町情報 | 001 | 市町情報 | 001 |
| 市町情報 | 002 | 市町情報 | 002 |
| 市町情報 | 003 | 市町情報 | 003 |
| 市町情報 | 004 | 市町情報 | 004 |
| 市町情報 | 005 | 市町情報 | 005 |
| 市町情報 | 006 | 市町情報 | 006 |
| 市町情報 | 007 | 市町情報 | 007 |
| 市町情報 | 008 | 市町情報 | 008 |
| 市町情報 | 009 | 市町情報 | 009 |
| 市町情報 | 010 | 市町情報 | 010 |
| 市町情報 | 011 | 市町情報 | 011 |
| 市町情報 | 012 | 市町情報 | 012 |
| 市町情報 | 013 | 市町情報 | 013 |
| 市町情報 | 014 | 市町情報 | 014 |
| 市町情報 | 015 | 市町情報 | 015 |
| 市町情報 | 016 | 市町情報 | 016 |
| 市町情報 | 017 | 市町情報 | 017 |
| 市町情報 | 018 | 市町情報 | 018 |
| 市町情報 | 019 | 市町情報 | 019 |
| 市町情報 | 020 | 市町情報 | 020 |

避難所「入力」

| 避難所ID | 避難所名 | 住所 | 電話番号 | 備考 | 入力 | 確認 | 印刷 | 削除 | 更新 | 検索 | 戻る |
|-------|------|----------------------|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 避難所A | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5678 | | 1 | | | | | | |
| 2 | 避難所B | 〒100-0002 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5679 | | 1 | | | | | | |
| 3 | 避難所C | 〒100-0003 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5680 | | 1 | | | | | | |
| 4 | 避難所D | 〒100-0004 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5681 | | 1 | | | | | | |
| 5 | 避難所E | 〒100-0005 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5682 | | 1 | | | | | | |
| 6 | 避難所F | 〒100-0006 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5683 | | 1 | | | | | | |
| 7 | 避難所G | 〒100-0007 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5684 | | 1 | | | | | | |
| 8 | 避難所H | 〒100-0008 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5685 | | 1 | | | | | | |
| 9 | 避難所I | 〒100-0009 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5686 | | 1 | | | | | | |
| 10 | 避難所J | 〒100-0010 東京都千代田区千代田 | 03-1234-5687 | | 1 | | | | | | |

避難所「入力」

避難所情報

避難所名称

| | |
|-------------|--------------|
| 避難所名称 | 避難所名称 |
| 住所 | 〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒 |
| 電話番号 | 〒〒〒 |
| 避難所名称(漢字) | 〒 |
| 避難所名称(カタカナ) | 〒 |
| 避難所名称(ローマ字) | 〒 |
| 住所(漢字) | 〒 |
| 住所(カタカナ) | 〒 |
| 住所(ローマ字) | 〒 |
| 電話番号 | 〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒 |
| 電話番号 | 〒〒〒 |
| 避難所名称 | 〒 |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 | 〒〒〒 |
| 避難所名称(漢字) | 〒 |
| 避難所名称(カタカナ) | 〒 |
| 避難所名称(ローマ字) | 〒 |

〒〒〒 避難所入力システム 避難 頁

避難所「入力(臨時避難所)」

避難所情報

避難所名称

| | |
|-------------|--------------|
| 避難所名称 | 避難所名称 |
| 住所 | 〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒 |
| 電話番号 | 〒〒〒 |
| 避難所名称(漢字) | 〒 |
| 避難所名称(カタカナ) | 〒 |
| 避難所名称(ローマ字) | 〒 |
| 住所(漢字) | 〒 |
| 住所(カタカナ) | 〒 |
| 住所(ローマ字) | 〒 |
| 電話番号 | 〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒〒 |
| 電話番号 | 〒〒〒 |
| 避難所名称 | 〒 |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 | 〒〒〒 |
| 避難所名称(漢字) | 〒 |
| 避難所名称(カタカナ) | 〒 |
| 避難所名称(ローマ字) | 〒 |

〒〒〒 避難所入力システム 避難 頁

避難所「メイン画面」

検索 印刷 戻る

避難所「メイン画面」

検索条件: 避難所名: _____

検索結果: _____

| 避難所名 | 住所 | 避難人数 | 避難所長 | 避難所員 | 避難所員 | 避難所員 | 避難所員 | 避難所員 | 避難所員 |
|------|----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 避難所1 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | 100 | 山田太郎 | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 |
| 避難所2 | 〒100-0002 東京都千代田区千代田 | 200 | 山田太郎 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 | 120 |

避難所名: _____ 住所: _____ 避難人数: _____

避難所「履歴」

検索 印刷 戻る

避難所「履歴」

検索条件: 避難所名: _____

検索結果: _____

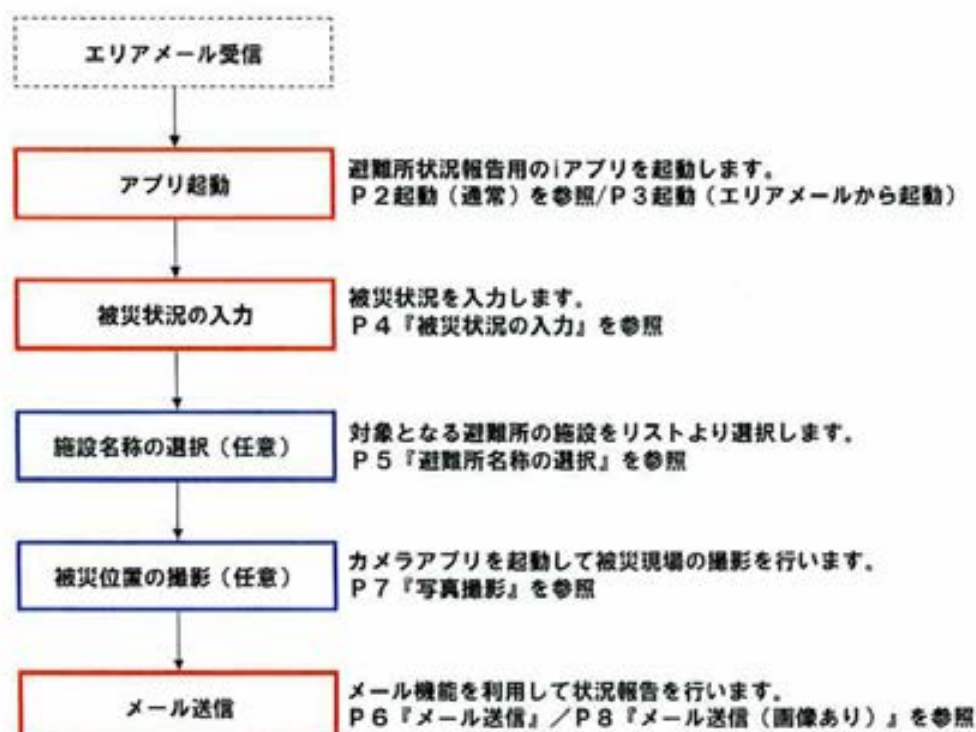
| 避難所名 | 住所 | 避難人数 | 避難所長 | 避難所員 | 避難所員 | 避難所員 | 避難所員 | 避難所員 | 避難所員 |
|------|----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 避難所1 | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 | 100 | 山田太郎 | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 |
| 避難所2 | 〒100-0002 東京都千代田区千代田 | 200 | 山田太郎 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 | 120 |

避難所名: _____ 住所: _____ 避難人数: _____

災害報告用アプリ（避難所） 操作説明書 第1.0版

2011年3月18日(金)
NTTドコモ 法人事業部
ソリューションビジネス部

操作の流れ



- アプリの起動方法です。
- アプリのソフト一覧から「災害報告アプリ」を選択して起動します。



アプリのソフト一覧から「災害状況報告アプリ」を選択します。

※利用機種により画面及び操作方法が異なります。

※初回起動時は、マスターデータのダウンロードとユーザ情報設定を行います。

※ユーザ情報設定で利用アプリを連絡、ヘリポートに設定した場合は、地区連携設定を行います。

利用モードを選択して下さい。

▼実災害モード
実際に災害が発生した際の報告用として使用します

▼訓練モード
訓練時に使用します。

メール受信BOX内の「災害報告アプリ」を選択することでも「災害報告アプリ」が起動します。



災害報告アプリを選択します。

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります。

アプリが起動後、最新のエリアメールの内容が表示されます。

災害状況を報告する場合は「状況報告へ」のボタンを押して下さい。

※マスターデータのダウンロードが行われていない場合は、アプリが強制終了します。その場合は、ソフト一覧よりアプリを起動して下さい。

利用モードを選択して下さい。

▼実災害モード
実際に災害が発生した際の報告用として使用します。

▼訓練モード
訓練時に使用します。

被災状況の入力を行います。
入力する項目は以下7項目です。



| 項目 | 区分 | 説明 |
|------------------------------------|------------------------------|---|
| ① 報告回数 | 必須入力 | 報告の回数を入力します。 例) 初回報告であれば1回目の「1」を入力 2回目の報告であれば「2」を入力 |
| ② 利用可否 開設日時 | 必須入力 | 利用可否を選択し、利用可能な場合は開設日時を入力します。 ※1 アプリを起動した時刻が表示されていますので変更がある場合は修正して下さい。 例) 開設日時が2011年1月17日10時20分の場合 201101171020 |
| ③ 避難者数 総数 うち自主避難 世帯数 | 「総数」は必須入力 「うち自主避難者数」は任意入力 | 避難者の人数を数字で入力します。 「総数」には避難者数の総数を入力します。 「うち自主避難者数」には自主避難者数を入力します。 ※「うち自主避難者数」は「総数」以下の数値を入力して下さい。 |
| ④ 市町議員参画状況 | 任意入力 | 市町議員の人数を数字で入力します。 |
| ⑤ 避難世帯数 総数 うち自主避難 世帯数 | 任意入力 | 避難世帯数を数字で入力します。 「総数」には避難者数の総数を入力します。 「うち自主避難世帯数」には自主避難世帯数を入力します。 ※「うち自主避難世帯数」は「総数」以下の数値を入力して下さい。 |
| ⑥ 市町災害対策本部への要請事項 市町災害対策本部への要請情報 | 任意入力 | 市町災害対策本部への要請事項の有無を選択し、要請有の場合は要請情報を入力します。 要請情報を300文字まで入力可能です。 未設定 有 無 |
| ⑦ コメント | 任意入力 | その他報告事項があればコメント欄に入力します。 300文字まで入力可能です。 |

避難所名称の選択

避難所名称を選択します。

測位した位置情報に最も近い避難所名称が自動的に表示されますが、他の候補から選択することも可能です。

注意 測位した位置情報より半径10km以内に避難所施設が存在しない場合は、「該当なし」と表示されます。



被災状況の報告方法です。
注意）メールの内容は変更しないで下さい。

「送信画面へ」ボタンを押します。

(メール画面)

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります

送信ボタンを押してメールを送信します。

| ボタン表示 | 説明 |
|------------|--|
| 送信画面へ(実災害) | 実災害モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(訓練) | 訓練モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(実災害) | 位置情報の取得がされていない場合は送信ボタンが押せない状態になります。 |
| | 位置情報の確認 位置情報が取得されているかを確認して下さい。 |
| | 位置情報が取得されていない状態 ・位置情報がまだ測位中の場合 ▼被災位置 位置取得中 位置測位中 |
| | ・位置情報の測位に失敗した場合 ▼被災位置 未取得 被災位置取得 |
| | ・位置情報が取得された状態 ▼被災位置 2011/12/12:12:成功 被災位置取得 |

被災現場の画像を取得する方法です。

「撮影」ボタンを押してカメラを起動させます。

(カメラ画面)

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります

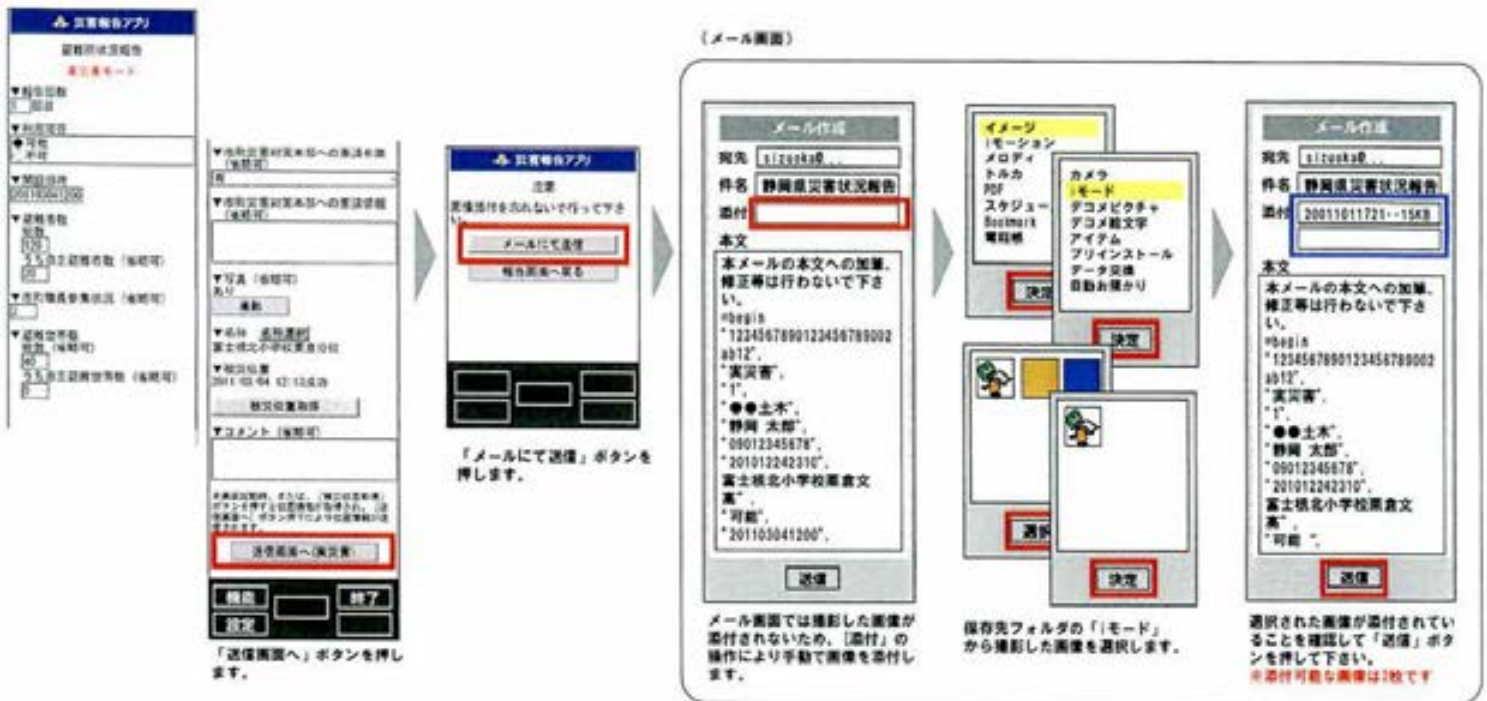
災害現場を撮影します。

撮影した画像の確認をします。

画像の保存先を「モード」に選択します。

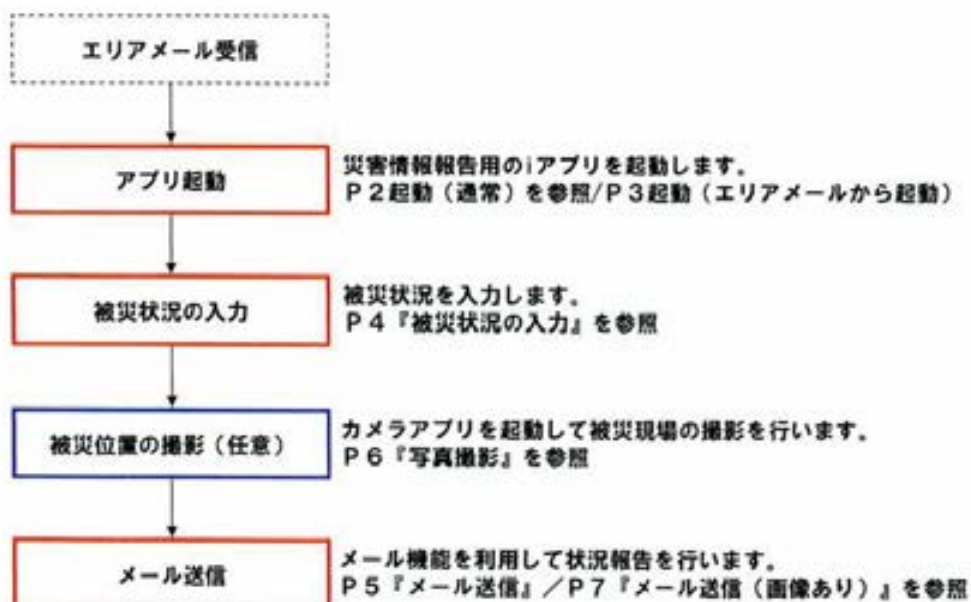
▼写真欄の表示が「あり」と表記されます。

被災現場の写真を添付してメールを送信する場合の操作方法です。
注意）メールに添付する画像は2枚までとして下さい。



災害報告用アプリ（災害） 操作説明書 第1.0版

2011年3月18日（金）
NTTドコモ 法人事業部
ソリューションビジネス部



アプリの起動方法です。
 アプリのソフト一覧から「災害報告アプリ」を選択して起動します。



アプリのソフト一覧から「災害状況報告アプリ」を選択します。

※利用機種により画面及び操作方法が異なります。

※起動時、マスターデータのダウンロードとユーザ情報設定を行います。

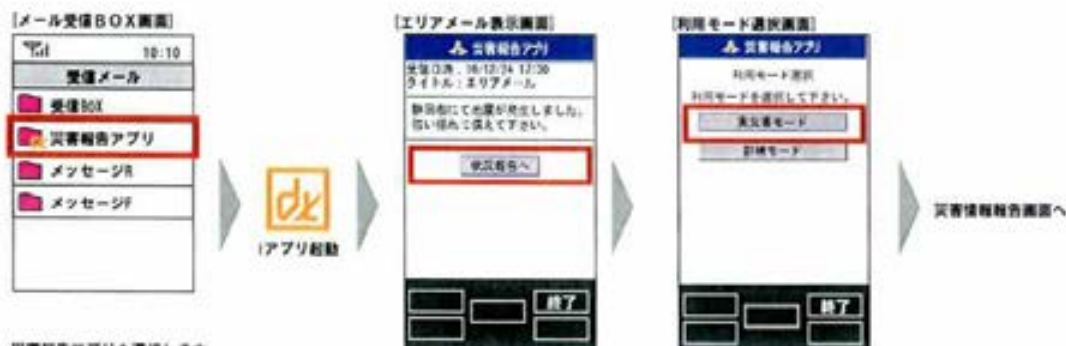
※ユーザ情報設定で利用アプリを通称、ヘリポートに設定した場合は、地図環境設定を行います。

利用モードを選択して下さい。

▼実災害モード
 実際に災害が発生した際の報告用として使用します

▼訓練モード
 訓練時に使用します。

メール受信BOX内の「災害報告アプリ」を選択することでも「災害報告アプリ」が起動します。



災害報告アプリを選択します。

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります

アプリが起動後に、最新のエリアメールの内容が表示されます。

災害状況を報告する場合は「状況報告へ」のボタンを押して下さい。

※マスターデータのダウンロードが行われていない場合は、アプリが強制終了します。その場合は、ソフト一覧よりアプリを起動して下さい。

利用モードを選択して下さい。

▼実災害モード
 実際に災害が発生した際の報告用として使用します。

▼訓練モード
 訓練時に使用します。

被災状況の入力を行います。
入力する項目は以下3項目です。



| 項目 | 区分 | 説明 |
|----------|------|---|
| ① 報告回数 | 必須入力 | 報告の回数を入力します。 例) 初回報告であれば1回目の「1」を入力 2回目の報告であれば「2」を入力 |
| ② 対応要請有無 | 必須入力 | 対応要請の有無を選択します。 |
| ③ コメント | 任意入力 | その他報告事項があればコメント欄に入力します。 300文字まで入力可能です。 |

メール送信

被災状況の報告方法です。
注意）メールの内容は変更しないで下さい。



「送信画面へ」ボタンを押します。

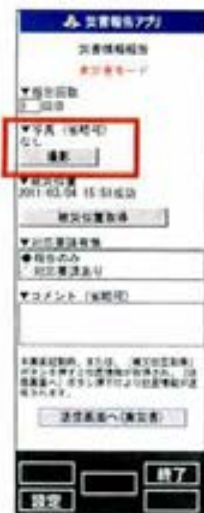
（メール画面）



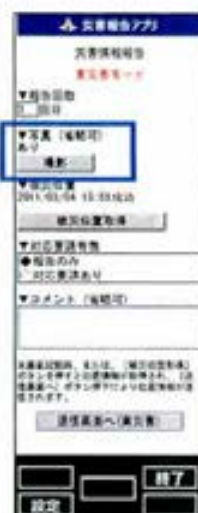
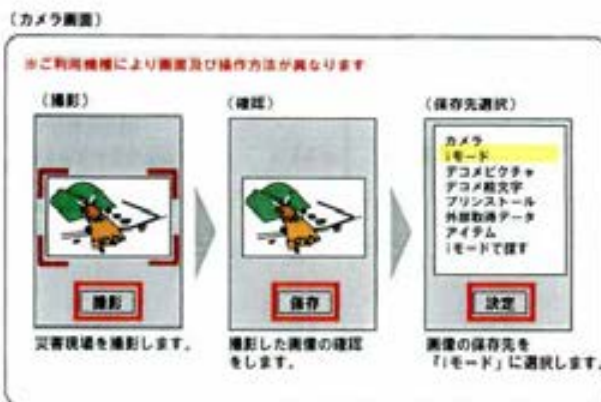
送信ボタンを押してメールを送信します。

| ボタン表示 | 説明 |
|-----------|--|
| 送信画面へ(災害) | 実災害モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(訓練) | 訓練モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(災害) | 位置情報の取得がされていない場合は送信ボタンが押せない状態になります。 位置情報の確認 位置情報が取得されているかを確認して下さい。 位置情報が取得されていない状態 ・位置情報がまだ測定中の場合 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content;"> ▼被災位置 位置取得中 位置測定中... </div> |
| | ・位置情報の測定に失敗した場合 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content;"> ▼被災位置 未取得 被災位置取得 </div> |
| | ・位置情報が取得された状態 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content;"> ▼被災位置 2011/12/12/12:12成功 被災位置取得 </div> |

被災現場の画像を取得する方法です。



「撮影」ボタンを押してカメラを起動させます。

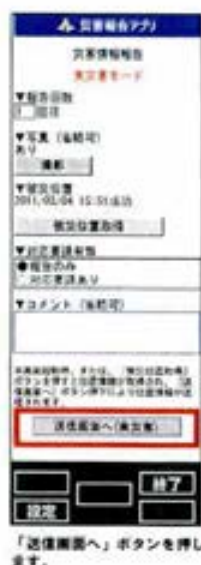


▼写真欄の表示が「あり」と表記されます。

メール送信（画像あり）

被災現場の写真を添付してメールを送信する場合の操作方法です。

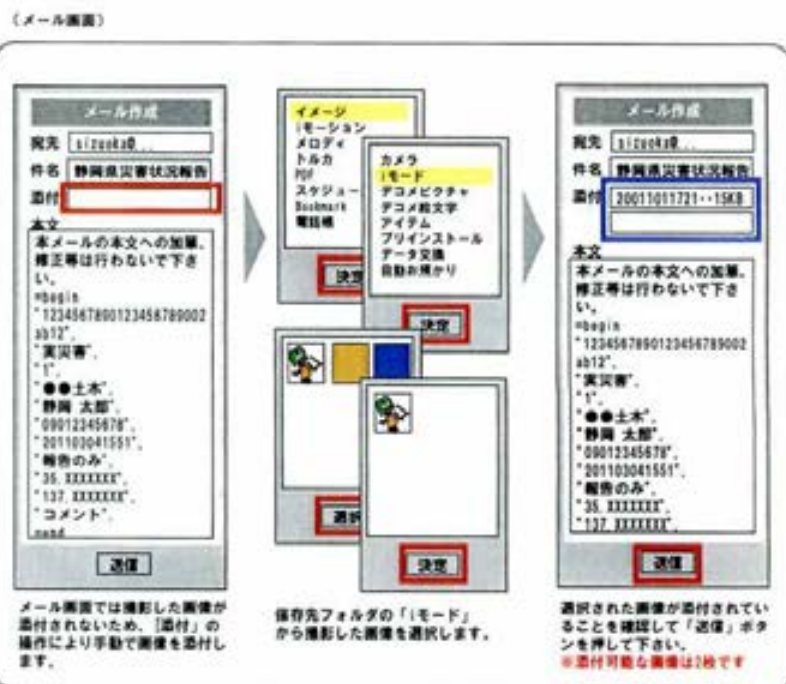
注意 メールに添付する画像は2枚までとして下さい。



「送信画面へ」ボタンを押します。



「メールにて送信」ボタンを押します。



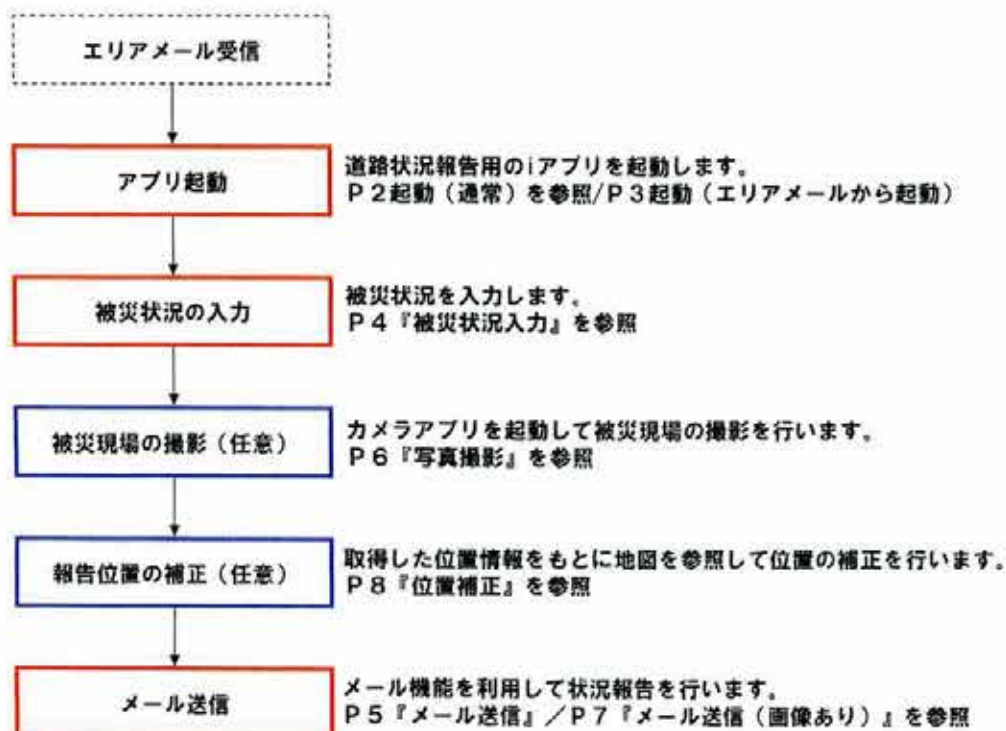
災害報告用アプリ（道路） 操作説明書 第1.0版

2011年3月18日（金）
NTTドコモ 法人事業部
ソリューションビジネス部

操作の流れ

災害報告アプリ（道路）操作説明書（Ver1.0）

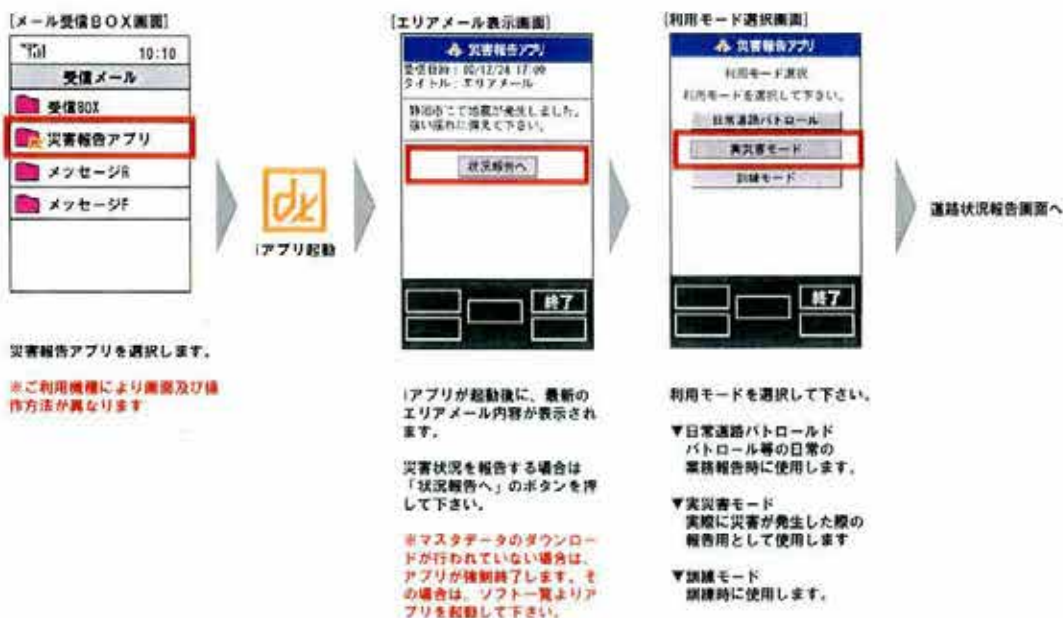
docomo



- アプリの起動方法です。
- アプリのソフト一覧から「災害報告アプリ」を選択して起動します。



- メール受信BOX内の「災害報告アプリ」を選択することでも「災害報告アプリ」が起動します。



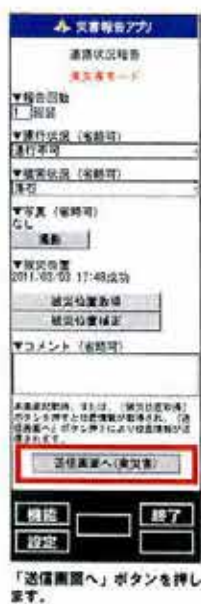
被災状況の入力を行います。
入力する内容は以下4項目です。



| 項目 | 区分 | 説明 |
|--------|------|--|
| ① 報告回数 | 必須入力 | 報告の回数を入力します。 例) 初回報告であれば1回目の「1」を入力 2回目の報告であれば「2」を入力 |
| ② 運行状況 | 任意入力 | 運行状況を候補から選択します。 未設定 通行可能 通行不可 |
| ③ 被害状況 | 任意入力 | 被害状況を候補から選択します。 未設定 被害なし 方面閉鎖 落石 道路冠水 踏面陥没 道路閉鎖 倒木 橋梁破損 踏面決壊 沿道障害 |
| ④ コメント | 任意入力 | その他報告事項があればコメント欄に入力します。 300文字まで入力可能です。 |

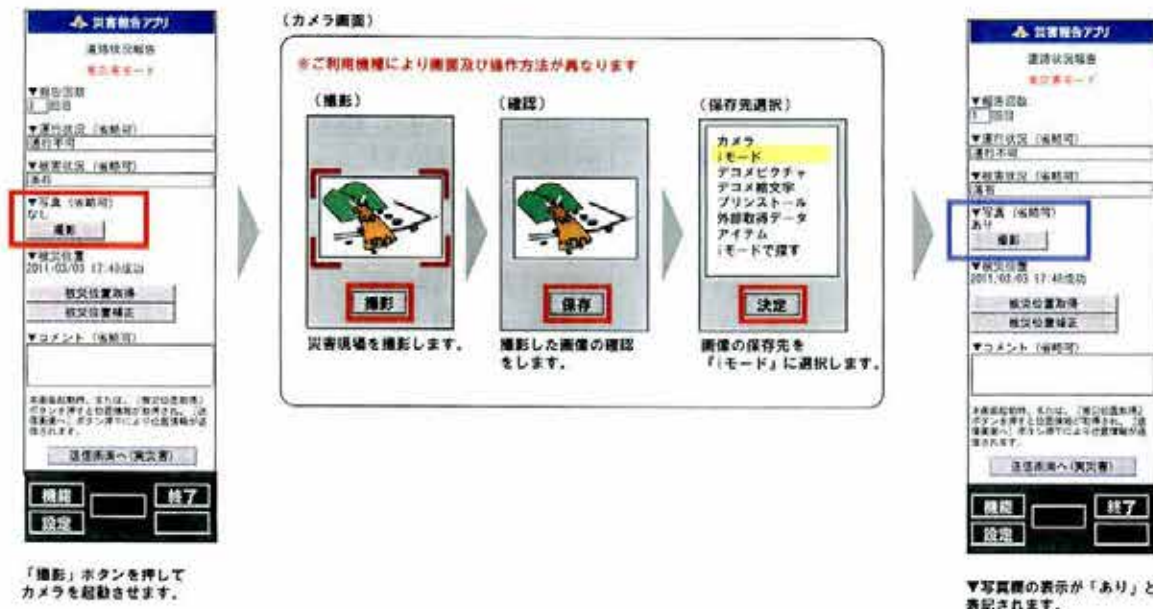
メール送信

被災状況の報告方法です。
注意）メールの内容は変更しないで下さい。



| ボタン表示 | 説明 |
|-----------|---|
| 送信画面へ(災害) | 災害モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(日常) | 日常道路パトロールを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(訓練) | 訓練モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(災害) | 位置情報の取得がされていない場合は送信ボタンが押せない状態になります。 |
| | 位置情報の確認 位置情報が取得されているかを確認して下さい。 |
| | 位置情報が取得されていない状態 位置情報がまだ測位中の場合 ▼被災位置 位置取得中 位置測位中 |
| | 位置情報の測位に失敗した場合 ▼被災位置 未取得 被災位置取得 |
| | 位置情報が取得された状態 ▼被災位置 2011/12/12 12:12成功 被災位置取得 |

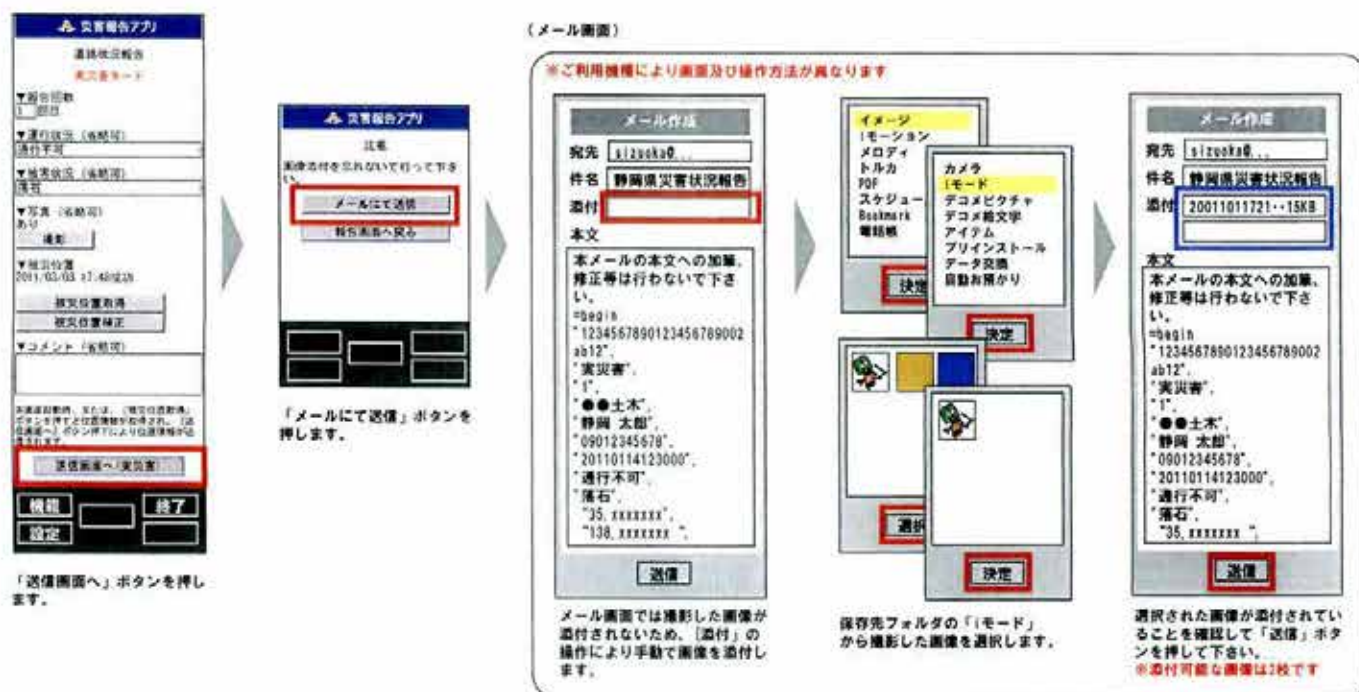
被災現場の画像を取得する方法です。



メール送信（画像あり）

被災現場の写真を添付してメールを送信する場合の操作方法です。

注意）メールに添付する画像は2枚までとして下さい。



取得した位置情報の場所を補正する場合に使用します。

注意）位置補正を行うためには、マイクロSDカードが必要です。



「被災位置補正」ボタンを押します。

※マイクロSDカードが挿入されていない場合は、エラーダイアログが表示され、被災位置補正画面に遷移できません。



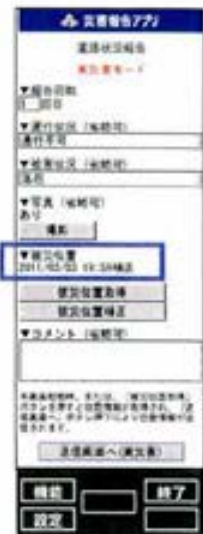
補正前の報告場所

補正するときは、ズームキーで地図拡大することをお勧めします。

測定した位置情報は「被災位置補正」ボタンを押下することにより地図上で確認することができます。さらに矢印キー（↑↓←→）により地図を移動し、「決定」ボタンを押下することにより、表示された地図の中心（「+」表示）を報告位置として補正することが可能です。本機能を利用するにはマイクロSDカードが必須となります。



補正後の報告場所



被災位置の日に「補正」と表記されます。

位置補正（地図のダウンロード）

位置補正で表示される地図はマイクロSDカードに格納されていますが、県内の全ての地図が格納されていない場合があります。

地図の存在しないエリアは以下の画面に示すように地図の無い状態が表示されます。該当エリアの地図が必要な場合は、「地図取得」キーの操作によりセンターからダウンロードすることが可能です。

※ ダウンロードした地図ファイルはマイクロSDカードに保存され、次回からは自動的に表示されます。

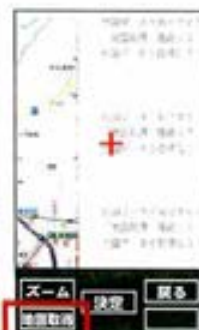
※ 地図初期化設定を実行していない場合、地図ファイルがマイクロSDカードに保存されませんので、ご注意ください。



地図が表示された画面から矢印キーで移動します。



地図が格納されていないエリアは図のように表示されます。



地図の存在しないエリアを画面の中心に移動し、「地図取得」キーを押下します。



内容を確認し、「はい」ボタンを押下します。

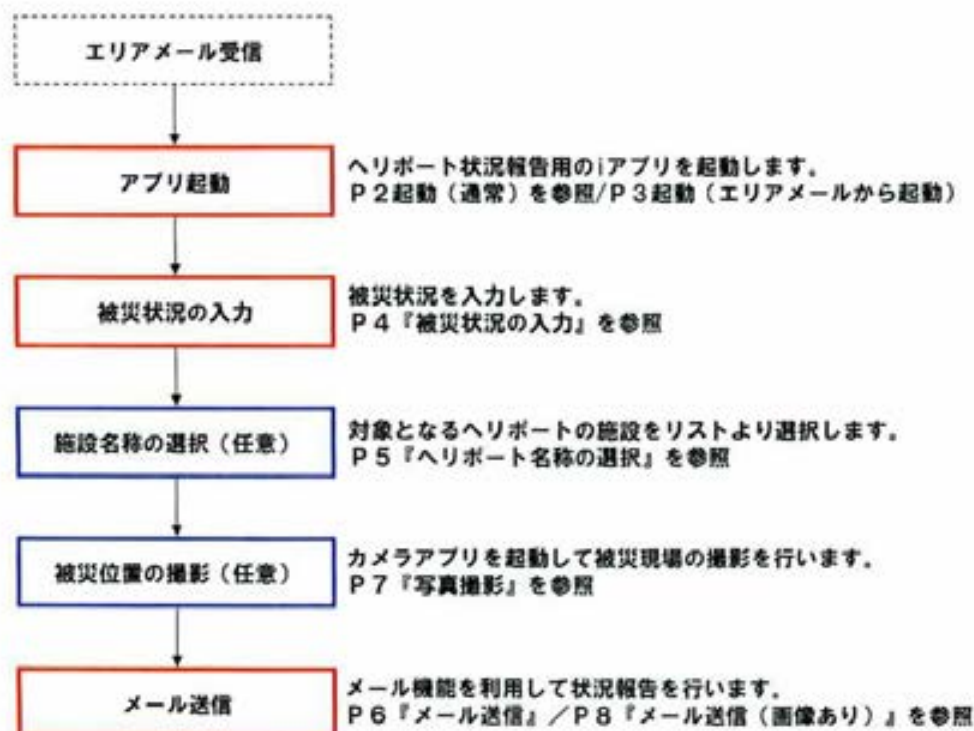


センターから該当エリアの地図がダウンロードされ、画面に表示されます。

災害報告用アプリ（ヘリポート） 操作説明書 第1.0版

2011年3月18日(金)
NTTドコモ 法人事業部
ソリューションビジネス部

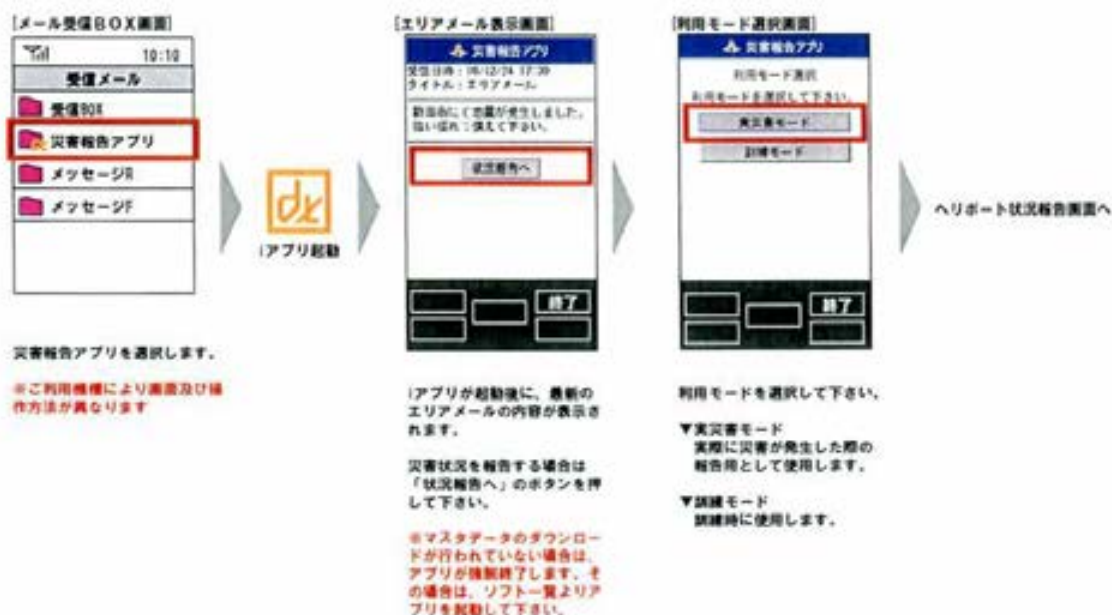
操作の流れ



- アプリの起動方法です。
- アプリのソフト一覧から「災害報告アプリ」を選択して起動します。



メール受信BOX内の「災害報告アプリ」を選択することでも「災害報告アプリ」が起動します。



被災状況の入力を行います。
入力する項目は以下6項目です。

| # | 項目 | 区分 | 説明 |
|---|----------------|------|---|
| ① | 報告回数 | 必須入力 | 報告の回数を入力します。 例) 初回報告であれば1回目の「1」を入力 2回目の報告であれば「2」を入力 |
| ② | 利用可否 確認日時 | 必須入力 | 利用可否を選択し、確認日時を入力します。 ※1 アプリを起動した時刻が表示されていますので変更がある場合は修正して下さい。 例) 確認日時が2011年1月17日10時20分の場合 201101171020 |
| ③ | 面積 | 任意入力 | 面積を候補から選択します。 未設定 大型(100×100)以上 中型(50×50) 小型(30×30) |
| ④ | 誘導要員 | 任意入力 | 誘導要員の有無を選択します。 未設定 ○ × |
| ⑤ | 通信手段 コールサイン | 任意入力 | 通信手段を候補から選択します。 未設定 移動無線 消防無線 携帯電話 コールサインには、無線の場合はコールサインを、携帯電話の場合は電話番号を入力します。 |
| ⑥ | コメント | 任意入力 | その他報告事項があればコメント欄に入力します。 300文字まで入力可能です。 |

ヘリポート名称の選択

ヘリポート名称を選択します。
測位した位置情報に最も近いヘリポート名称が自動的に表示されますが、他の候補から選択することも可能です。
注意) 測位した位置情報より半径10km以内にヘリポート施設が存在しない場合は、「該当なし」と表示されます。

図の例では測位した位置に最も近い「第二中学校 グラウンド」が自動的に表示されています。
「名称選択」ボタンを押すと、名称リストが表示されます。

名称リストから該当する名称を選択します。
リストには、測位した位置情報から近い順に10件の施設が表示されます。
該当する施設がない場合は、リスト最終行の「該当なし」を選択して下さい。

選択した施設名称が表示されます。

被災状況の報告方法です。

注意）メールの内容は変更しないで下さい。



「送信画面へ」ボタンを押します。

（メール画面）

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります



送信ボタンを押してメールを送信します。

| ボタン表示 | 説明 |
|------------|--|
| 送信画面へ（実災害） | 実災害モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ（訓練） | 訓練モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ（被災者） | 位置情報の取得がされていない場合は送信ボタンが押せない状態になります。 位置情報の確認 位置情報が取得されているかを確認して下さい。 位置情報が取得されていない状態 ・位置情報がまだ測定中の場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ▼被災位置 位置取得中 位置測定中時 </div> ・位置情報の測定に失敗した場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ▼被災位置 未取得 被災位置取得 </div> ・位置情報が取得された状態 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ▼被災位置 2011/02/04 10:22成功 被災位置取得 </div> |

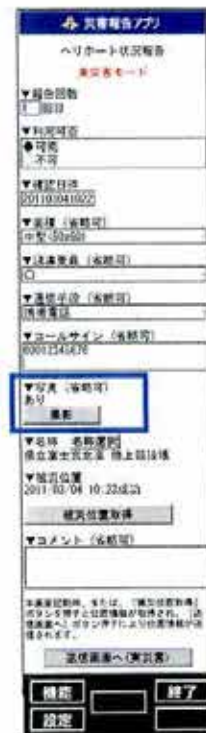
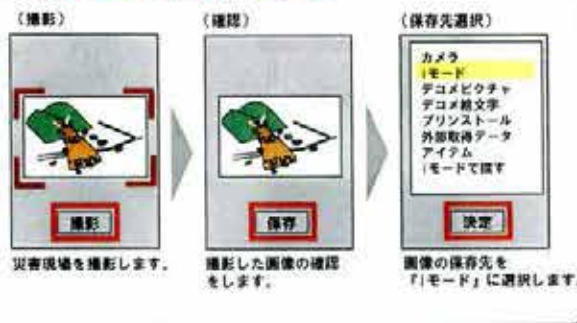
被災現場の画像を取得する方法です。



「撮影」ボタンを押してカメラを起動させます。

（カメラ画面）

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります



▼写真の表示が「あり」と表記されます。

被災現場の写真を添付してメールを送信する場合の操作方法です。

注意）メールに添付する画像は2枚までとして下さい。



「送信画面へ」ボタンを押します。



「メールにて送信」ボタンを押します。

（メール画面）

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります



メール画面では撮影した画像が添付されないため、「添付」の操作により手動で画像を添付します。



保存先フォルダの「モード」から撮影した画像を選択します。



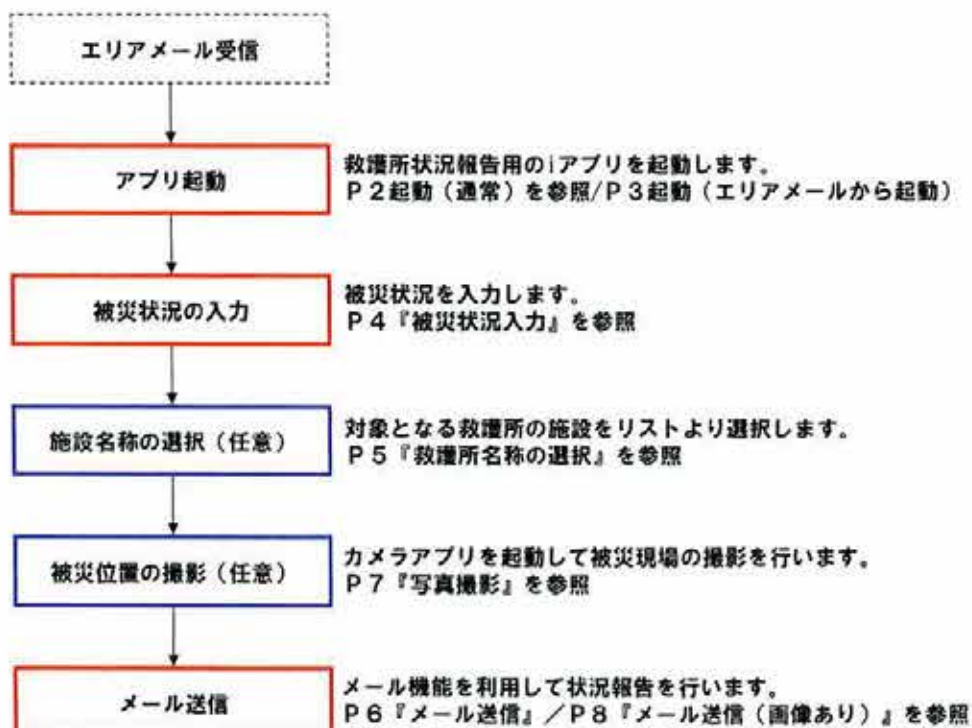
選択された画像が添付されていることを確認して「送信」ボタンを押して下さい。

※添付可能な画像は2枚です

災害報告用アプリ（救護所） 操作説明書 第1.0版

2011年3月18日（金）
NTTドコモ 法人事業部
ソリューションビジネス部

操作の流れ



「アプリの起動方法です。」
「アプリのソフト一覧から「災害報告アプリ」を選択して起動します。」



「アプリのソフト一覧から「災害状況報告アプリ」を選択します。」

※利用機種により画面及び操作方法が異なります。

※初期起動時は、マスターデータのダウンロードとユーザー情報設定を行います。

※ユーザー情報設定で利用アプリを連絡、ヘリポートに設定した場合は、地図環境設定を行います。

利用モードを選択して下さい。

- ▼実災害モード
実際に災害が発生した際の報告用として使用します
- ▼訓練モード
訓練時に使用します。

メール受信BOX内の「災害報告アプリ」を選択することでも「災害報告アプリ」が起動します。



災害報告アプリを選択します。

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります。

「アプリが起動後に、最新のエリアメールの内容が表示されます。」

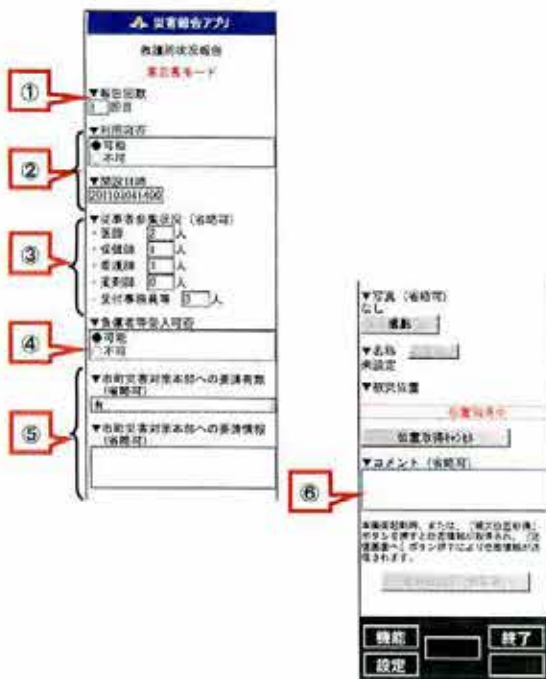
災害状況を報告する場合は「状況報告へ」のボタンを押して下さい。

※マスターデータのダウンロードが行われていない場合は、アプリが強制終了します。その場合は、ソフト一覧よりアプリを起動して下さい。

利用モードを選択して下さい。

- ▼実災害モード
実際に災害が発生した際の報告用として使用します
- ▼訓練モード
訓練時に使用します。

被災状況の入力を行います。
入力する項目は以下6項目です。



| 項目 | 区分 | 説明 |
|--|------|--|
| ① 報告回数 | 必須入力 | 報告の回数を入力します。 例) 初回報告であれば1回目の「1」を入力 2回目の報告であれば「2」を入力 |
| ② 利用可否 開設日時 | 必須入力 | 利用可否を選択し、利用可能な場合は開設日時を入力します。 ※：アプリを起動した時刻が表示されていますので変更がある場合は修正して下さい。 例) 開設日時が2011年1月17日10時20分の場合 201101171020 |
| ③ 従事者参集情報 医師 保健師 看護師 薬剤師 受付事務員等 | 任意入力 | 救護所従事者の人数を項目毎に数字で入力します。 |
| ④ 負傷者等受入可否 | 任意入力 | 負傷者等を受入可否を選択します。 |
| ⑤ 市町災害対策本部への要請事項 市町災害対策本部への要請情報 | 任意入力 | 市町災害対策本部への要請事項の有無を選択し、要請有の場合は要請情報を入力します。 要請情報を300文字まで入力可能です。 未設定 有 無 |
| ⑥ コメント | 任意入力 | その他報告事項があればコメント欄に入力します。 300文字まで入力可能です。 |

救護所名称の選択

救護所名称を選択します。
測位した位置情報に最も近い救護所名称が自動的に表示されますが、他の候補から選択することも可能です。
注意）測位した位置情報より半径10km以内に救護所施設が存在しない場合は、「該当なし」と表示されます。



被災状況の報告方法です。

注意）メールの内容は変更しないで下さい。

「送信画面へ」ボタンを押します。

(メール画面)

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります

メール作成

宛先 1/201202

件名 静岡県災害状況報告

添付

本文

本メールの本文への加筆、修正等は行わないで下さい。

"beeline"
"1234567890123456789004"
"4012".
"災害害".
"1".
"●●土木".
"静岡 太郎".
"09012345678".
"201103041430".
"後藤外科医院".
"開設".
"201103041400".
"2".
"1".
"3".

送信

送信ボタンを押してメールを送信します。

| ボタン表示 | 説明 |
|------------|---|
| 送信画面へ(災害害) | 災害害モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(訓練) | 訓練モードを選択した場合の表示 |
| 送信画面へ(高経度) | 位置情報の取得がされていない場合は送信ボタンが押せない状態になります。 |
| | 位置情報の確認 位置情報が取得されているか確認して下さい。 |
| | 位置情報が取得されていない状態 ・位置情報がまだ測位中の場合 ▼被災位置 位置取得中 位置測位待ち |
| | ・位置情報の測位に失敗した場合 ▼被災位置 未取得 被災位置取得 |
| | ・位置情報が取得された状態 ▼被災位置 2011/12/12:12:12成功 被災位置取得 |

被災現場の画像を取得する方法です。

「撮影」ボタンを押してカメラを起動させます。

(カメラ画面)

※ご利用機種により画面及び操作方法が異なります

(撮影)

撮影

災害現場を撮影します。

(確認)

保存

撮影した画像の確認をします。

(保存先選択)

カメラ
iモード
デコメビクタ
デコメ純文字
プリインストール
外部取得データ
アイテム
iモードで探す

決定

画像の保存先を「iモード」に選択します。

▼写真(撮影)ありと表示されます。

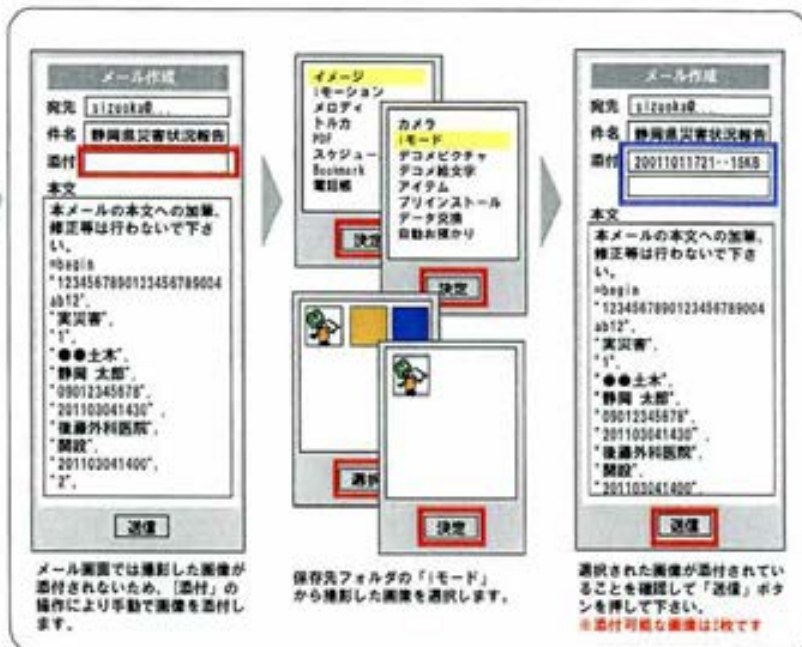
被災現場の写真を添付してメールを送信する場合の操作方法です。

注意）メールに添付する画像は2枚までとして下さい。



「メールにて送信」ボタンを押します。

（メール画面）



災害報告用アプリ（その他操作） 操作説明書 第1.0版

2011年3月18日（金）
NTTドコモ 法人事業部
ソリューションビジネス部

その他の操作（位置情報の再取得）

災害報告アプリ（その他操作）操作説明書（Ver1.0） dōcocomo

各報告画面起動時に自動的に位置情報が取得されますが、位置情報の取得が失敗した場合や、再度位置情報の取得を行う場合は以下の方法にて位置情報の再取得が可能です。

※ 下図は災害情報報告画面での例ですが、各報告画面共通の操作です。

位置情報取得が失敗すると上記のように「未取得」と表示されます。「被災位置取得」ボタンを押下することにより、位置情報の再取得を開始します。

位置の再取得中は、「位置取得中」と画面表示され、ボタンが「位置取得をキャンセル」に変化します。

位置の再取得が完了すると、取得日時が更新され、ボタンが「被災位置取得」に戻ります。

位置が取得できると「送信画面へ」ボタンが押せるようになります。

ユーザが利用する報告種別（道路、ヘリポート、避難所、救護所、災害報告）は後述する「ユーザ設定」にて設定しますが、「機能」キーを操作することにより他の報告画面を利用することも可能です。切り替えを実施した場合、元の画面に入力した情報は破棄されます。

※ 下図は道路状況報告画面での例ですが、各報告画面共通の操作です。



その他の操作（ユーザ設定）

ユーザ設定の変更を行う場合に使用します。

ユーザ設定はユーザの氏名、所属、電話番号、および利用アプリ（通常利用する報告の種別～道路、ヘリポート、避難所、救護所、災害報告）を設定します。

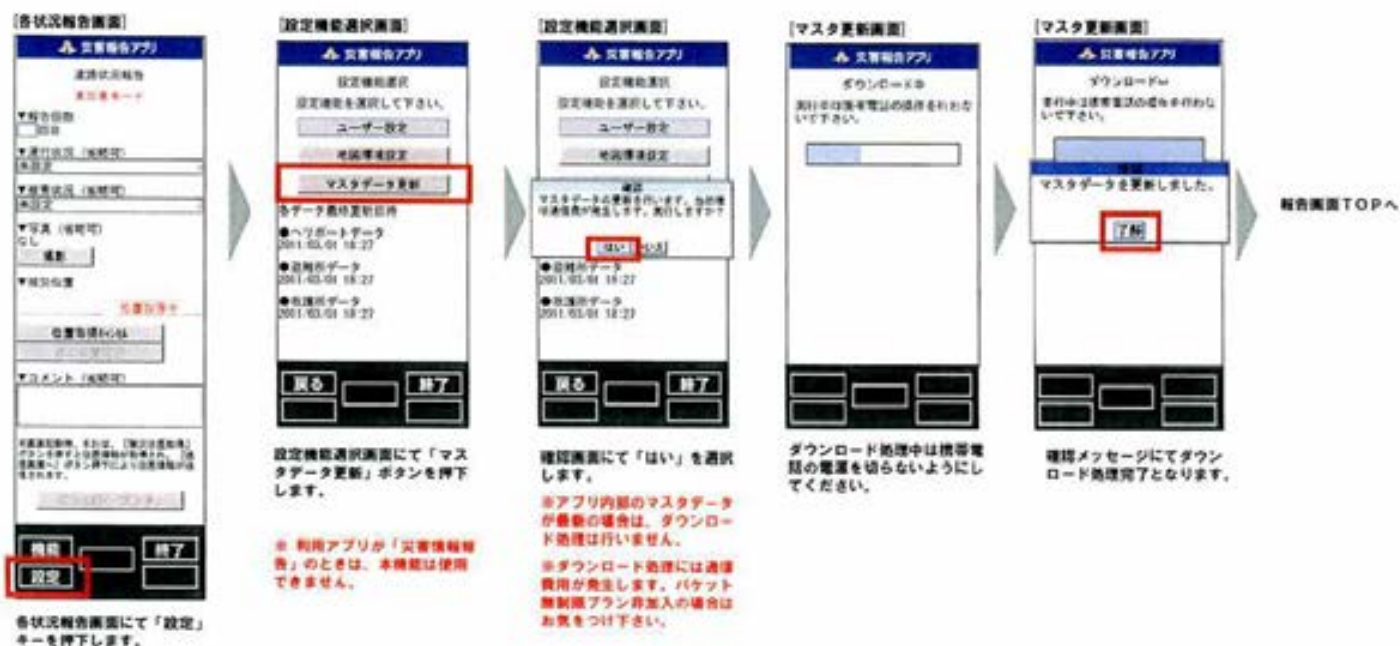
| 項目 | 区分 | 説明 |
|----------|------|---------------------------------------|
| ① 自局電話番号 | 必須入力 | ユーザの携帯電話番号を半角数字11文字以内（ハイフンなし）にて入力します。 |
| ② 所属 | 必須入力 | ユーザの所属組織を入力します。全角最大32文字 |
| ③ 氏名 | 必須入力 | ユーザの氏名を入力します。全角最大32文字 |
| ④ 利用アプリ | 必須入力 | 通常利用する報告の種別を候補から選択します。 |

各状況報告画面にて「設定」キーを押下します。

設定機能選択画面にて「ユーザー設定」ボタンを押下します。

上記それぞれの項目を設定し、「登録」ボタンを押下することによりユーザ情報の設定が完了します。

マスターデータ更新は、携帯内で管理するヘリポート情報、避難所情報、救護所情報の最新化を行います。サーバより最新のマスターデータをダウンロードし、携帯端末に保存します。



地図環境設定は、補正機能で使用する地図の初期化、および修復を行います。通常の利用では実施する必要はありません。



災害報告用アプリ 運用引継資料 第1.0版

2011年3月22日(火)
NTTドコモ 法人事業部
ソリューションビジネス部

はじめに

本資料は災害報告アプリ（携帯アプリ）における運用上の注意事項、説明資料として、以下の内容を記載しています。

1. 携帯電話の登録 ビジネスiαサイトより、アプリを利用する携帯電話の登録を行います。
2. アプリのダウンロード 登録した携帯電話より災害報告アプリをダウンロードします。
3. MicroSDの設定 MicroSDに対して地図環境を利用するための設定を行います。

1-1 ビジネス iα サイトへのログイン

災害報告アプリを利用する携帯電話は、事前に電話番号、マイボックスコードを登録する必要があります。それぞれの登録は法人向け i アプリ DX の管理者用サイトであるビジネス iα サイトより行います。

ビジネス iα サイトはブラウザより以下の URL にアクセスすることにより利用します。

https://iapplidx.docomo.biz/

ログイン画面が表示されるので、ID/パスワードを入力してログインします。

[ログイン画面]



ビジネス iα サイトの ID/パスワードを入力してログインします。

[トップページ]



トップページが表示されます。

1. 携帯電話の登録 ②

1-2 端末情報の登録

ユーザのサービス情報を表示し、利用する端末情報を登録します。

[トップページ]



トップページから「サービス情報管理」を選択します。

[サービス情報 一覧画面]



検索結果一覧から「災害報告アプリ」を選択し、「詳細」をクリックします。

[サービス情報 詳細画面]



基本情報から「利用者端末」の「登録」をクリックします。

[利用者端末 登録画面]



端末情報から「適用」の「利用者端末」にある「申込」をクリックします。

[利用者端末申込画面]



利用者端末申込画面が表示されるので、登録する端末情報（電話番号、マイボックスコード、および内部管理者の IP 側ユーザ番号）を入力します。

[サービス情報 一覧画面]



入力完了後、「確認」をクリックします。

[利用者端末申込確認画面]



表示された「登録端末情報」の内容を確認し、「実行」をクリックします。

[利用者端末申込完了画面]



端末情報の申込が完了します。
※端末情報の登録が完了しても、即時には反映されません。
センター側での承認を経て、該当の端末のマイボックス登録通知が送信されます。

「1. 携帯電話の登録」が完了すると、該当端末にマイボックス登録完了の通知が送付されます。利用者は受信したメッセージを選択することによりアプリのダウンロードを行います。

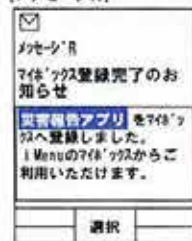
(※ 利用機種により画面および操作方法が異なります)

【メッセージ受信】

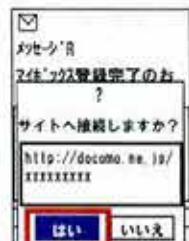


メッセージRにマイボックス登録完了通知が送付されます。

【メッセージR】

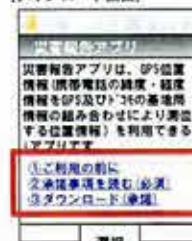


メッセージRにマイボックス登録完了通知が送付されます。

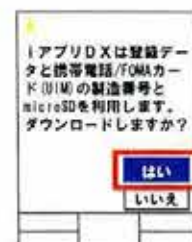


メッセージRにマイボックス登録完了通知が送付されます。

【ダウンロード画面】



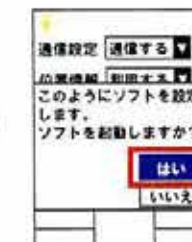
承諾事項を確認した後にダウンロードを実行します。



メッセージRにマイボックス登録完了通知が送付されます。



ダウンロードを行います。



メッセージRにマイボックス登録完了通知が送付されます。

※この段階で「いいえ」を選択し、起動しなかった場合は、手動により起動し、初期起動時の設定を実施する必要があります。

アプリの初期起動画面へ

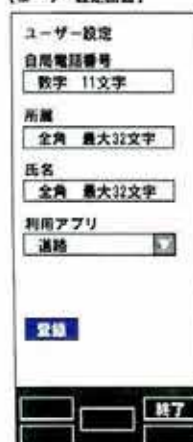
3. MicroSDの設定 ①

3-1 地図環境の設定

「2. アプリのダウンロード」実行後、初回起動時にユーザ情報の設定を行います。ユーザ情報の設定にて「利用アプリ」に道路またはヘリポートを選択した場合は、地図環境の設定を促すメッセージが表示されます。

地図環境の設定は、iアプリが利用可能な形式で擬似的な地図のファイルをmicroSDに作成する処理であり、実行することにより、実際の地図が無い状態でも位置補正機能を利用可能となります。画面の指示に従って設定を行って下さい。

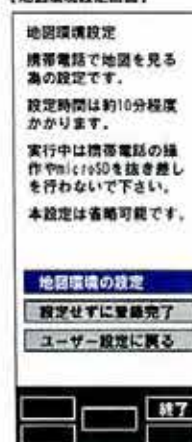
【ユーザー設定画面】



「利用アプリ」にて道路(またはヘリポート)を選択すると地図環境設定画面に遷移します。

※ヘリポート状況報告では地図を利用しませんが、機種の切替により道路状況報告機能も利用可能となるため地図環境設定画面に遷移します。

【地図環境設定画面】



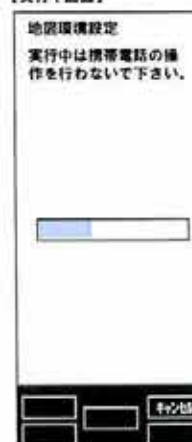
「利用アプリ」にて道路(またはヘリポート)を選択すると地図環境設定画面に遷移します。

【確認画面】



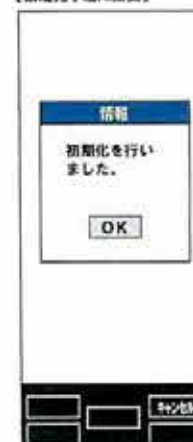
確認し、「Yes」をクリックします。

【実行中画面】



実行中画面。10分程度かかる場合があります。

【設定完了通知画面】

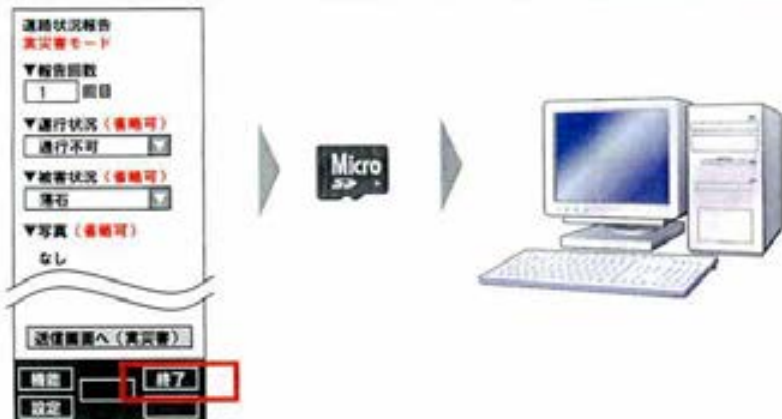


「OK」をクリックして完了します。

3-2 地図データのインストール

地図環境の設定を実施したMicroSDカードに実際の地図データをインストールします。
インストールは携帯電話からMicroSDカードを一旦取り出し、MicroSDを読み書き可能なパソコンから実施します。

「終了」をクリックしてアプリケーションを終了し、MicroSDを取り出して読み書き可能なパソコンに挿入します。



続いてMicroSDを挿入したパソコンにてCD-R等から地図のインストーラ (DisasterMapSetup.exe) を起動します。

【地図のインストーラ】 CD等インストーラのドライブ : Y:\DisasterMapSetup.exe

3.MicroSDの設定③

3-2 地図データのインストール (続き)

インストーラの画面表示に従い、地図データをMicroSDカードにインストールします。

【地図インストーラの実行画面】



初期化したMicroSD内は以下のような構成となっています。

```

MicroSD
├── $0_01NO
│   └── SYCXXXXX
│       └── XXXXXXXX
│           ├── 0_0_0.GIF
│           ├── 0_0_1.GIF
│           ├── 0_0_2.GIF
│           └── ...
├── 0_7_2.GIF
├── 0_7_3.GIF
└── INITMARK.GIF
    
```

注: 「XXXXXX」は不定
注: 「XXXXXX」は不定

これらが地図ファイルとなります。

上記の「XXXXXX」に該当するフォルダ (フォルダ名は初期化ごとに異なります) を選択します。



上記メッセージが表示されますが、そのまま「はい」をクリックします。



インストール先フォルダを確認し、「インストール」をクリックします。



実行中画面。MicroSDの書き込み速度によっては1時間以上かかる場合があります。



「完了」をクリックして完了します。

インストールしたMicroSDを再度携帯電話に挿入することにより、アプリケーションで全ての地図が利用可能となります。

資料 2 : 検証時の写真



写真1. 研修・検証Iの際の様子
事業概要説明時の様子（上図）
システム操作説明時の様子（下図）



写真 2. 研修・検証 I の際の様子

システム入力中の様子（上図）

「市町」役から支援要請がなされるのを待つ「方面本部」役の学生（下図）



写真 3. 研修・検証 I の際の様子

グループディスカッションの準備として各自のアイデアの書き出しを行う様子



写真 3. 研修・検証 I の際の様子

議論をしながらグループの意見を
集約・分類している様子
の準備として各自のアイデアの書き出しを行う





写真 5. 研修・検証 I の際の様子
発表時の様子



写真6. 検証IIの際の様子

システムの説明を受けている様子（上図）

グループディスカッションの様子（下図）



写真 7. 検証 II の際の様子

グループディスカッションの様子 (上図)

発表の様子 (下図)



写真8. 操作演習・職員への指導の際の様子
大画面で操作説明を受ける学生と職員（上図）
GIS 上に表示された携帯電話のデータ（下図）



写真 9. 操作演習・職員への指導の際の様子
職員にシステム操作のアドバイスを行う学生



写真10. 操作演習・職員への指導の際の様子

職員にシステム操作のアドバイスを行う学生



写真 1 1. 操作演習・職員への指導の際の様子

大会議室で GIS システムの画面表示のデモを見る様子（上図）

職員の演習終了後にレポートを作成する様子（下図）